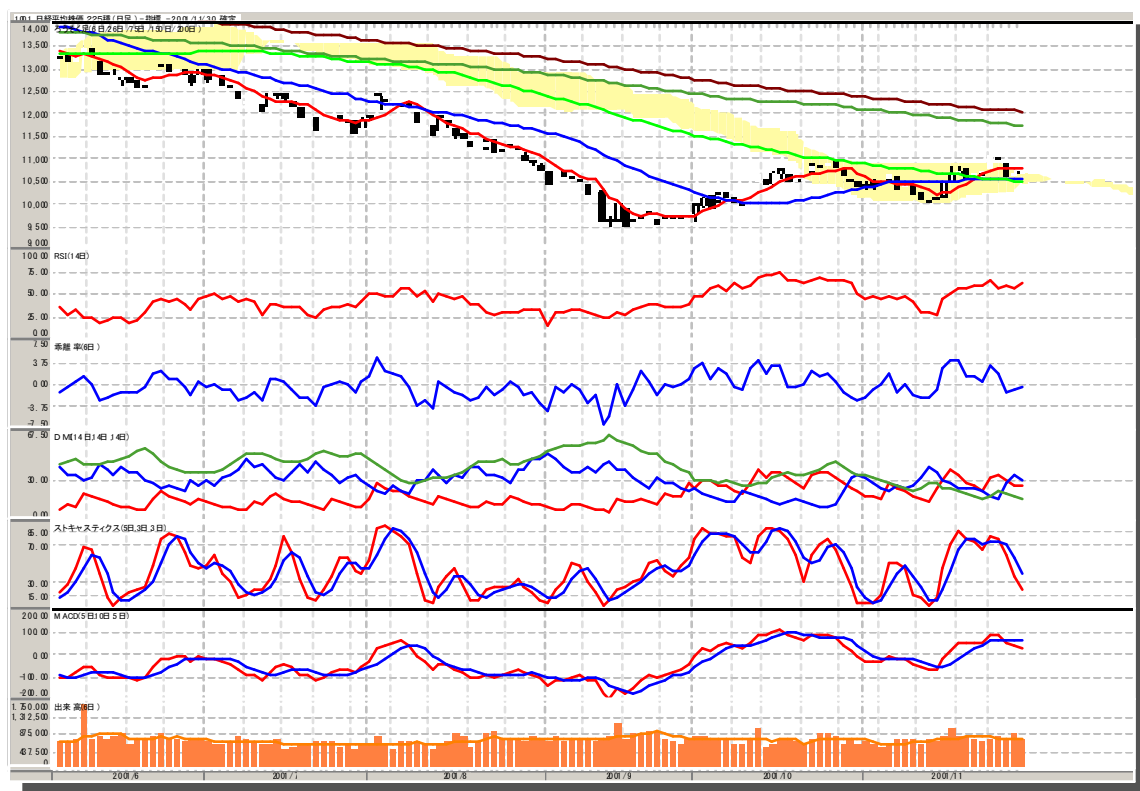


# チャートカ学 2002

[導入/基本操作編]

ChartDynamics 2002 Version 1.0



---

# CONTENTS

■はじめに■	4
■1■ セット内容の確認	6
【1】セット内容の確認	6
【2】シリアルナンバーの確認	7
【3】ユーザー登録について	8
【4】起動制限／プロテクトについて	8
【5】サポートについて	8
■2■ インストール前の準備と確認	9
【1】インストールの手順の確認	9
【2】先行発売版をお使いの方へ	11
【3】インストール前の準備	14
■3■ 「チャート力学2002」のインストール	21
【1】文字放送を受信する準備	21
▼USBドライバのインストール	23
▼ウインドウズXPの場合	25
▼ウインドウズ2000の場合	29
▼文字放送受信ソフトのインストール	34
【2】「チャート力学2002」のインストール	40
【3】株価データの読み込みと補充	44
【4】インストール終了時のテスト	50
■4■ 「チャート力学2002」の基本操作	56
【1】起動／終了	56
【2】グループリストの操作	59
【3】銘柄の検索／切り替え	64
【4】詳細リスト／詳細ウインドウ	69
【5】カーソルの種類	73
【6】ろうそく足チャート	75

【7】	チャート画面のアレンジ	77
【8】	指標のアレンジ	91
【9】	日足／週足／月足	94
【10】	やや複雑なチャート表示①	98
【11】	やや複雑なチャート表示②	102
【12】	銘柄リンクとタイムリンク	107
【13】	画面パターン機能	111
【14】	チャートの固定表示	117
■5■	「チャートカ学2002」のやや高度な操作	120
【1】	インテリジェント・トレンドライン	120
▼	斜めトレンドライン	121
▼	水平トレンドライン	126
▼	垂直トレンドライン	130
【2】	監視線機能	133
【3】	グループ設定変更と銘柄絞り込み	136
▼	グループの設定変更	136
▼	グループ名の変更	136
▼	グループ名の表示色の変更	138
▼	条件の追加	142
▼	売買シグナルの設定	145
▼	ソート条件	146
▼	グループの移動とコピー	148
【4】	売買シグナル	150
【5】	タイムバック機能と予想足	154
■6■	そのほか	160
【1】	文字放送の受信	160
【2】	日々のデータ更新	160
【3】	サポート	161
【4】	データゲットから「アクセス権」を購入する方法	162

---

# はじめに

「チャート力学2002」をお買いあげいただきまして、ありがとうございます。

「チャート力学2002」は、従来のものとは発想を異にする、まったく新しいタイプの株価チャートソフトです。

「チャート力学2002」は、従来のチャートソフトのように、単に、「チャートブック(紙の本)で見ていたチャートをパソコンで見られるようにする」ことを主目的にした株価チャートソフトではありません。

柔軟かつ多彩なチャート表示、タイムバック機能や予想足機能を駆使してのシミュレーション、強力かつ簡単な「銘柄絞り込み機能」など、これまで多くのトレーダーが望んでいるのに実現できなかった、実用的、実戦的な数々の機能を搭載した画期的なチャートソフトです。

だからこそ私は、「チャート力学2002」を「チャートソフト」ではなく、あえて「株価テクニカル分析ツール」と呼ぶのです。

チャートソフトはトレーダーにとっての「レーダー」にあたるものだと言えます。レーダーを持たない飛行機に安全な航行が不可能であるのと同様、チャートソフトを使わないトレーダーに安全なトレードは不可能です。

チャートは、まず「自分がどこにいるか」という現在地を教えてください。

トレードにおける現在地の把握とは、すなわち、今が「上昇相場なのか」「下落相場なのか」「もちあい相場なのか」という「相場の現状(地合)の把握」です。

また、チャートを見れば、自分が今狙っている「獲物」の状態もわかります。

つまり、これからトレードしようとしている銘柄の株価が、今、天井圏にあるのか、底値圏にあるのかがわかるのです。

チャートソフトを使いこなし、相場の地合と狙った銘柄の状態を正確に把握してはじめて、理想的なトレードが可能になります。

つまり、買いポイント、売りポイント、損切ポイントについて、それぞれ客観的で冷静、かつ適切な判断が可能になるわけです。

従来のチャートソフトには、数多くの不満がありました。

「なぜ、チャート表示がこんなに汚いのか？」

「なぜ、日足が、わずか半年分しか表示されないのか？」

「なぜ、トレンドラインが引けないのか？ また、引いたトレンドラインが残せないのか？」

「なぜ、目的の銘柄を選ぶのに、銘柄コードでしか検索ができないのか？」

「なぜ、テクニカル指標の数値や色が変わられないのか？」

「なぜ、銘柄絞り込み機能が実用的でないのか？」

「なぜ、平均線がたった2本しか表示されず、日数も変わらないのか？」

「……………」

従来のソフトを使っていてキリがないほど出てくる、これらの「不満」を「すべて解消するんだ」という決意のもとに、「チャート力学2002」の開発はスタートしました。

しかし、プログラム開発の工程は非常に複雑です。

ユーザーから見たら、とても簡単に見える機能でも、開発者が途方もない苦労を強いられる場合があります。ある機能を盛り込もうとするために、開発を最初からやりなおさなければならないケースもでてきます。

プログラムを開発する「プログラム言語」に起因する制約やトラブル、OSに起因する制約やトラブルなど、開発者側からは解決が難しい問題も乗り越えていかなければなりません。

そんな中で、通常、どうしても「妥協」が生まれます。そして、開発者側の「妥協」は、そのままユーザー(利用者)の「不満」となるのです。

厳しいトレードの現場で使われるチャートソフトに「妥協」は許されません。「妥協」を許せば、従来のチャートソフトと、何ら変わりのないレベルのソフトしかできないのです。

「チャート力学2002」の設計、開発は、厳しいトレードの現場を知り尽くした開発スタッフが、一切の「妥協」を排除して、現在考えられる極限の技術を結集して進められました。

その結果、ようやくトレードの現場での実用に耐える、チャートソフトが完成しました。それが、株価テクニカル分析ツール「チャート力学2002」です。

「チャート力学2002」に搭載されている、およそ300種類の検索条件の組み合わせだけでも天文学的数字になります。

「チャート力学2002」のポテンシャル(潜在能力)には、実ははかりしれないものがあるのです。

ユーザーの皆様が、「チャート力学2002」の底力を十分に引き出され、日々のトレードの現場で積極的に、また、適切に活用され、大きな戦果を得られることを願ってやみません。

2002年7月1日

株式会社プレコオンライン 代表 長谷川 雅一

---

## ■「チャート力学2002」ユーザーズマニュアル(基本操作編)

### 1 セット内容の確認：

お届けしました「チャート力学2002」(先行発売版)のパッケージ中に、以下のものが揃っているかどうか、ご確認ください。

#### 1：「チャート力学2002」プログラムディスク(CD-ROM 1枚)

「チャート力学2002」のプログラムが入っています。  
これがいわば「チャート力学」の「本体」です。

#### 2：「チャート力学2002」マニュアル①[導入／基本操作編]

本マニュアルです。  
「チャート力学」の導入と基本操作を説明しています。  
まずは、このマニュアル(導入／基礎操作編)をお読みになり、「チャート力学」の導入を行い、基礎的な操作をマスターしてください。

#### 3：「チャート力学2002」マニュアル②[応用／トレーニング編]

もう1冊のマニュアル(応用／トレーニング編)です。  
「チャート力学」の応用的、実戦的な使い方、および、「チャート力学」を使ったチャート読解のトレーニング法について説明しています。

#### 4：10年株価データCD-ROM(必須オプション品)

「チャート力学2002」では、過去10年分の株価データを扱うことができます。  
このCD-ROMに、株価データが入っています。  
インストール終了後、最初の起動時に、株価データを読み込みます。

#### 5：オプション品(システック社「文字ビジョン2000」)

文字放送を受信するためのオプション品です。  
株式会社システック社の製品です。(プレコオンラインの製品ではありません。)

箱の中には、「文字ビジョン」のマニュアルや保証書などが入っています。

なお、文字放送によるリアルタイム情報をご利用にならないセットの場合、本品は付属していません。

◆メモ◆-----

「文字ビジョン2000」は、文字放送を受信するための機械です。  
「文字ビジョン2000」に付属しているソフトが「MVマスター」です。  
「文字ビジョン2000」が受信したデータを整形して、使いやすい形にしてくれるのが「MVマスター」です。  
「チャート力学2002」は、この「MVマスター」から文字放送のデータを受け取り、チャートとして描画します。

オプション品である「文字ビジョン2000」をインストールする場合も、本マニュアル(「チャート力学2002」のユーザーズマニュアル)を中心にお読みになりながら、作業を進めてください。トラブルが少なくなります。

## 2 シリアルナンバーの確認：

本マニュアルの表紙の裏の部分、およびパッケージ(箱)に、下のような(まったく同じではありません)シリアルナンバー・シールが貼られていますので、ご確認ください。

ここに記載されているシリアルナンバーは、「チャート力学2002」をインストールするのに必要です。

なお、シリアルナンバーを紛失してしまった場合は、弊社サポートにご連絡ください。再発行させていただきます。

チャート力学2002 Versio 1.0

- 
- ・ユーザー名：長谷川 雅一 様
  - ・シリアルナンバー：123456789
- ※本プログラムは、1台のパソコンでのみご利用いただけます。  
開発・販売：株式会社プレコオンライン  
サポート：0573-25-6033

---

### **3 ユーザー登録について：**

弊社では、お客様の手間を省くため、ユーザー登録ハガキを出していただくなくても、ご購入と同時に、自動的にユーザー登録させていただくシステムを採っております。

購入された方と利用者が異なる場合は、弊社サポートまでご連絡ください。

### **4 起動制限／プロテクトについて：**

本プログラムは、1台のパソコンでのみご利用いただけます。

本プログラムには、特殊なプロテクトがかかっており、複数台での使用を試みましても正常動作しません。

また、本プログラムのCD-ROMをコピーして、他のマシンにインストールした場合にも、プロテクト機能が働き、元のプログラム、コピーされたプログラム、ともに正常動作しなくなりますので、ご注意ください。

2台以上のパソコンでのご利用をご希望の方は、ご相談ください。

### **5 サポートについて：**

「チャート力学2002」の導入、操作についてのご質問がおありの場合、弊社サポートにお電話ください。

なお、サポートは、メール、またはファックスでも承っております。

サポート専用電話は 0573-25-6033 です。

サポート受付時間は、土日祭日含む、毎日朝10時～夜10時までです。

## ■2■ インストール前の準備と確認：

### 1 インストールの手順の確認：

最初にインストールの手順を確認します。

なお、「リアルタイムデータ」を利用されない方につきましては、「手順1」、つまり「文字放送受信の準備」は不要になります。

-----  
◇手順1◇ インストール前の準備を行います。  
-----

- 1：インストールするパソコンの確認をします。
- 2：パソコンがインターネットに接続されているか、確認します。
- 2：「アクセス権」の準備ができているか、確認します。
- 3：「チャート力学2002」に使う、テレビアンテナの端子があるか、確認します。また、「NHK総合テレビ」が正常に受信できるかどうか、確認します。

-----  
◇手順2◇ 文字放送を受信する準備をします。(20～30分程度)  
-----

- 1：オプション品である「システック社」の「文字ビジョン2000」で文字放送を受信するために「文字ビジョン2000」の「ドライバ」をインストールします。
- 2：「文字ビジョン2000」のアプリケーションをインストールし、文字放送の受信設定を行います。

---

-----  
◇手順3◇「チャート力学2002」のインストール(30分程度)  
-----

- 1：「チャート力学2002」のインストールを行います。
- 2：過去10年間の株価データを読み込み、最新の株価データを補充します。  
(チャート力学が自動で行います。)

以上の準備が終われば「運用開始」となります。  
インストールに必要な時間は、パソコンの性能によって多少異なります。

**◆ご注意◆ 先行発売版をお使いのお客様へ…**

- ※「チャート力学2002」の先行発売版をご利用で、本品(Version 1.0)にアップグレードされる場合は、まず、先行発売版の「アンインストール(削除)」が必要になります。(次項参照)
- ※「文字ビジョン2000」のUSBドライバ、文字放送アプリケーション「MVマスター」の削除、再インストールは必要ありません。  
また、必要がない限り、行わないでください。  
予期せぬトラブルの原因になります。

## 2 「チャート力学2002」先行発売版をお使いの方へ：

このページで説明している作業は、「チャート力学2002・先行発売版」をお使いの方がアップグレードする場合のみ必要です。  
必要のない方は次項(14ページ)へお進みください。

「チャート力学2002(先行発売版)から本プログラムへのアップグレードの際には、最初に必ず、「チャート力学2002(先行発売版)」のアンインストール(消去)を行ってください。

「チャート力学2002(先行発売版)」のアンインストールを行わずに、製品版のインストールを行いますと、障害が起こる可能性があります。

-----

### ◆アンインストール(削除)の手順◆

-----

先行発売版のアンインストール(削除)には、パソコンの[コントロールパネル]→[アプリケーション(プログラム)の追加と削除]を使って削除する方法と、先行発売版のCD-ROMを使って削除する方法の2つがあります。

#### ◆方法1：先行発売版のCD-ROMを使って削除する

1：先行発売版の「チャート力学2002・CD-ROM」をパソコンにセットします。(Version 1.0の新しいCD-ROMは使いません。)

2：CD-ROMが自動的に立ち上がって、

「ようこそ プログラムを修正、変更、または削除します」

というダイアログが表示されます。

ここで、一番下の、

「すべてのインストールされている機能を削除します」

にチェックを入れて、[次へ]ボタン をクリックします。

確認のダイアログが表示されますので[OK]を押します。

---

「メンテナンスの完了」

という画面になります。  
ここで [完了] をクリックします。  
以上で、アンインストールは完了です。

◆方法2：コントロールパネルから削除する

[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]  
→[アプリケーションの追加と削除]  
と進み、  
「チャート力学2002」を選んで、削除します。

---

◆先行発売版からのアップグレード方法◆

---

先行発売版からのアップグレード(移行)は簡単です。

- 1：先行発売版を削除します。
  - 2：「チャート力学2002 Version 1.0(本品)」をインストールします。
  - 3：「チャート力学」を立ち上げ、株価データを読み込みます。
- 以上で、基本的な作業は完了です。

※先行発売版のアンインストールをCDロムで行う場合は、かならず先行発売版を使ってください。誤って、Version 1.0 のCDロムをしまいますと、障害が発生する可能性があります。

「チャート力学2002・先行発売版」をお使いの方は、先行発売版の削除と、Version 1.0(本品)のインストール作業を行っていただければ、すぐに「チャート力学2002」をお使いいただけます。

文字放送受信機の再接続、および、文字放送受信機付属の「MVマスター」など、アプリケーションの再インストールは必要ありませんし、基本的におやりにならないよう、お願いします。

◆！重要！◆-----

いったんインストールした「文字ビジョン2000」用のUSBドライバの削除を行いますと、

- ドライバの再インストールができず「文字ビジョン2000」がUSBポートで使えなくなる
- 突然文字放送が受信できなくなる

などの障害が発生するケースが確認されています。

いったんインストールしたUSBドライバは、必要のない限り、削除しないでください。

※文字放送受信機「文字ビジョン2000」は、システック社の製品です。  
弊社製品ではありません。

---

### 3 インストール前の準備：

-----  
◇1◇ インストールを行うパソコンの確認：  
-----

「チャート力学2002」をインストールする前に、インストールの準備ができているかどうかをご確認ください。

<1> ディスクの空き容量 … 500MB程度の空き容量が必要です

確認のためには、デスクトップ上、あるいは「スタート」をクリックして表示される「スタートメニュー」の中にある「マイコンピュータ」をダブルクリック、またはクリックして、これから「チャート力学2002」をインストールしようとするドライブ(通常はCドライブです)の空き容量を確認します。

インストールを行うドライブが標準的なドライブ(Cドライブ)であれば、「ローカルディスクC」というアイコンの上で、マウスの右ボタンをクリックして、表示されるメニューの中の「プロパティ」をクリックしますと、空き容量が表示されます。

たとえば、「最近パソコンを買ったばかりである」というような場合であれば、ほとんど空き容量が足りないという心配はありません。

一般的に、確認不要であると思われます。

ただし、いろいろなアプリケーション(ソフト)を数多くインストールしておられる場合、デジカメの写真などの大きなデータを多く保存しておられる場合には、ディスクの空き容量が不足している場合がありますので、不安な方は、お確かめになられることをお勧めします。

<2> OSの確認 … WindowsXPかWindows2000が理想的です

パソコンを動かす基本ソフトのことを「OS(オーエス)」と言います。

「チャート力学2002」では、WindowsXP(ウインドウズ・エクスピー)、および、Windows2000(ウインドウズ・にせん)での動作を保証しています。

このほかのOSをお使いの場合、予期せぬ不具合が発生する可能性がありますし、弊社では、その不具合に対処できない可能性があります。

できるだけ、弊社が推奨するOSがインストールされているパソコンをお使い

になられることをお勧めします。

「チャート力学2002」は「ウィンドウズXP」および「ウィンドウズ2000」で動作保証しています。

### ◆ご注意◆ 動作保証と無償サポートの範囲について

「チャート力学2002」の動作保証は、OSがプリインストールされたパソコンに工場出荷時の状態でインストールした場合を基準にしています。

その他の状態のパソコン、つまり、ご自身で、他のプログラムのインストール、ファイル操作、新しいハードウェアの追加などをされた後の状態のパソコンでは、何らかの原因で「チャート力学2002」が正常動作せず、その原因が判明しないことがあります。

こうしたケースでは、パソコンを、工場出荷時の状態に戻していただいた上で、「チャート力学2002」の再インストールをしていただかないと、「チャート力学2002」が正常動作しない場合があります。

また、お客様のパソコンに、何らかのソフト的、ハード的なトラブルが潜んでいる場合もあり得ます。

弊社では、「お客様のパソコン固有の不具合が原因での動作不良」とであると判断されるケースにつきましては、「チャート力学2002」の動作保証をいたしかねます。

また、弊社では、「お客様のパソコン固有のトラブル」につきましては、サポートを有償とさせていただきます。

たとえば、

- ある操作をしたら「チャート力学2002」が動作しなくなった。  
パソコンを初期化して「チャート力学2002」を再インストールして欲しい。

というようなサポートのご依頼は有償での対応となります。

また、お客様の不注意や過失によって発生したトラブルについての対処についても、有償での対応となります。

---

-----  
◇2◇「10年株価CDROM」「アクセス権」の確認：  
-----

「チャート力学2002」では、常に正確なデータを表示するため、「データゲット株式会社」より「株価データアクセス権」を購入して、常に最新の株価データを取り込む必要があります。

「チャート力学2002」のインストール前に、以下の準備ができているか、ご確認ください。

「アクセス権」とは、「データゲットコム株式会社」のホームページから、株価データをダウンロードする(パソコンに読み込む)「権利」です。

手続きの方法は、本マニュアル巻末の「付録(162ページ)」で説明しています。

「アクセス権」を購入しますと、

12345678

のような8桁のパスワードが発行されます。

このパスワードを使って、「データゲット株式会社」のホームページにアクセスし、最新の株価データを読み込みます。

なお、株価データの更新は自動処理されます。

お客様がホームページにアクセスする必要はなく、「チャート力学2002」が「内部的な処理」として、ホームページのアクセス、パスワードの認証、データの取り込みと更新などの作業を行います。

チャート力学のインストール時には、お客様のメールアドレスと、データゲットにアクセスする際のパスワードを入力する必要があり、「アクセス権」のパスワードがありませんとインストール作業を進めることができません。  
インストールの前に、かならずアクセス権を購入してください。

※「アクセス権」について、よくおわかりにならない方は、弊社サポートまでお問い合わせください。

---

◇3◇ インターネット接続の確認：

---

「チャート力学2002」は、インターネットに接続されているパソコンでお使いになることを前提に設計されたプログラムです。

「チャート力学2002」をインストールするパソコンは、インターネットに接続された状態になければなりません。

つまり、そのパソコンで、

- インターネットのホームページが見られる
- 電子メールの送受信ができる

ということが必要です。

「チャート力学2002」は、インターネット回線を使って、毎日、次のような作業を、クリック1つで自動的に行います。

- データゲットのホームページに接続して、新しい株価データを読み込み、データを更新する。  
さらに、全指標の再計算を行い、売買シグナルを表示する。
- プレコオンラインのホームページに接続して、株式分割、新規上場、上場廃止などの最新情報を取得して、データを更新する。

◆！重要！◆

---

「チャート力学2002」をインストールするパソコンが、インターネットに接続されていない場合、インストールができません。

また、お使いのパソコンが(違法コピーされたものでない)正規のプログラムであるかどうかの確認もできないため、正常な起動も行われません。

LANであれ、ダイヤルアップであれ、接続の方式はどのようなものでもかまいませんが、インターネットに接続されていることは「チャート力学2002」をご利用になるための「必須条件」です。

---

-----  
◇4◇ アンテナ端子、および、NHK総合テレビの受信確認：  
-----

「チャート力学2002」でリアルタイムデータを扱いたい方は、文字放送チューナーを利用できる環境が、しっかり整っているかどうかをご確認ください。

「チャート力学2002」をリアルタイムで使うということは、要は「テレビを1台増やす」と同じ感覚です。

つまり、「チャート力学2002」用の文字放送チューナーは、画面は映らないのですが、テレビ放送の電波を受信して文字放送の情報を利用するので、結局はテレビと同じような機械であるということです。

ですから、「チャート力学2002」のリアルタイムでの運用のためには、

- ご自宅のパソコンの近くに空いているアンテナ端子が1つあること
- そのアンテナ端子にテレビをつないでテストした場合、「NHK総合テレビ」がきれいに映ること

が必要条件になります。

もしも、テレビアンテナの端子がない場合、また、あっても、NHK総合テレビがきれいに受信できない場合は、お近くの電器店などに、

「テレビをもう1台増やしたいのだが、アンテナ端子を増設してもらえないか」

とご相談いただき、NHK総合テレビが受信できる環境を整えてから、「チャート力学2002」のインストール作業にとりかかってください。

余分なアンテナ端子がない場合、ホームセンターなどで売られている「ディバイダー」(下写真参照)を取り付け、アンテナ端子を分岐することによって、文字放送の受信が可能になります。

◆ご注意◆-----

これから文字放送の受信に使おうとしているアンテナ端子については、かならず、一度テレビを接続して、NHK総合テレビが正常に受信できることをご確認ください。

見た目には「ちゃんと映っている」状態でも、受信状態が悪く文字放送の受信がうまくいかないケースがあります。

オプションの文字放送受信機「文字ビジョン」をセットアップする際に、「受

信レベル」が表示されます。

この「受信レベル」がAまたはBが理想的です。

もしも電波の状態が悪く、「文字ビジョン」の受信状態がC以下になる場合は、「ブースター(電波の増幅装置です)」(下写真参照)を取り付けることにより、受信状態が改善することがあります。。

ブースターを取り付けて調整を行っても、受信状態が改善しない場合は、文字放送用に新しくアンテナを設置するなど、「電波の取り込み口」の改善が必要になります。

### ◆参考◆「ブースター」と「ディバイダー」について

ご参考までに、弊社で使用中の「ブースター」と「ディバイダー」の写真を載せておきます。

写真下の長方形の黒い箱が「ブースター」です。

家電店やホームセンターの「テレビ/ビデオの部品コーナー」に、アンテナ線などといっしょに売られています。

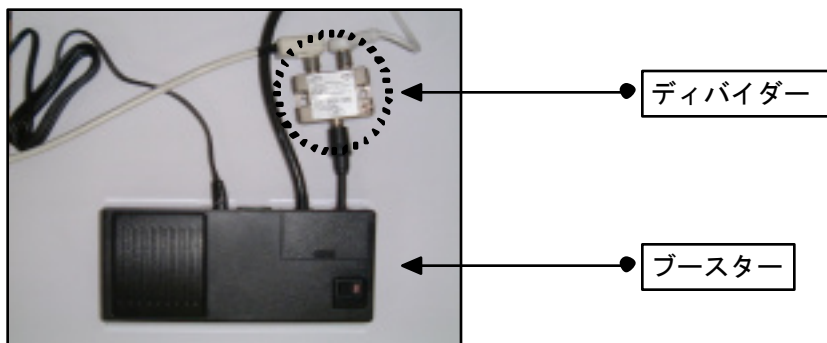
ブースターには多くの種類があり、価格も様々です。

価格は5,000円～10,000円程度のものが多いようです。

写真右上の部品が「ディバイダー」(分配機)です。

これも同様に、家電店やホームセンターで入手できます。

この配線では、外部アンテナ(屋根に立っています)からのアンテナ線を、いったんブースターに入れて電波を増幅し、それをディバイダーで2つに分けて、一方はテレビへ、他方は「文字ビジョン2000」(文字放送受信機)へ、というように接続しています。



---

-----  
◇まとめ◇ インストール前に以下の点をご確認ください。  
-----

1 : お使いのパソコンは「チャート力学2002」をインストールできる状態  
になっていますか？

→ ディスクの空き容量は500MB程度ありますか？

→ OSはウィンドウズXPかウィンドウズ2000になっていますか？

3 : お使いのパソコンは、インターネットに接続されていますか？

4 : 「データゲット株式会社」が提供する「アクセス権」の準備はできていま  
すか？

→ 「チャート力学2002」は、「アクセス権」がないと、「過去データ」を  
読み込むことができないため、正常動作しません。「アクセス権」を、ま  
だ購入されていらない場合、まず、「アクセス権」購入の手続き  
を行ってください。

5 : テレビアンテナ端子の準備は大丈夫ですか？

→ 「文字ビジョン2000」に接続するため、空いているアンテナ端子が1つ  
必要です。そのアンテナ端子にテレビを接続してテストした場合に、NK  
K総合テレビがきれいに映ることが、文字放送データを受信して利用する  
ための条件です。

※リアルタイムデータを利用されない方(文字放送受信機を使われない方)は、  
テレビアンテナ端子はなくても大丈夫です。

## ■3■「チャートカ学2002」のインストール：

### 1 文字放送受信機と文字放送受信ソフトのセットアップ：

文字放送を使って、リアルタイム株価情報を読み込まない方は、「文字放送を受信する準備」は必要ありません。

また、「先行発売版」からアップグレードされるお客様も、以下の手続きは不要です。

「チャートカ学2002」のインストール(40ページ)にお進みください。

-----  
◇手順の確認◇  
-----

文字放送を受信するために、次の作業を行います。

これらの作業はつまり、「チャートカ学2002」のオプション品である、システック社の「文字ビジョン2000」を使えるようにする準備です。

この段階では、「チャートカ学2002」のオプション品である、システック社の「文字ビジョン2000」に付属しているマニュアルを使用します。

ただ、本マニュアルをご覧いただきながら作業をしていただくと、よりわかりやすくインストール作業を行うことができます。

これから行う作業は、次の3つです。

#### 1 : USBドライバのインストール

「文字ビジョン2000」を使えるようにするための準備です。

→ システック「文字ビジョン2000」付属の「ユーザーズマニュアル①」を参考にしながら進めます。折り畳みになっている、ポスターのような大きなマニュアルです。

---

## 2 : 文字ビジョンアプリケーションのインストール

「文字ビジョン2000」(文字放送受信機)からデータを読み取り、パソコンで利用できるように加工してくれる「MVマスター」というアプリケーション(ソフト)をインストールします。

→ システック「文字ビジョン2000」付属の「ユーザーズマニュアル②」を参考にしながら進めます。A5サイズの(本書はB5サイズです。本書よりひと回り小さい)小さな本です。

## 3 : セットアップウィザードを使った受信機のセットアップ

→ やはり、システック「文字ビジョン2000」付属の「ユーザーズマニュアル②」の8ページ以降に、詳しい説明が記載されています。

### ◆ご注意◆-----

文字放送を受信する準備段階のトラブル、ご質問につきましては、弊社(プレコオンライン)ではなく、システック社にお問い合わせください。

システック社のユーザーサポートは、  
• 電話 : 052-601-6967  
• ファックス : 052-601-5789  
です。

どうしても解決できない場合は、弊社にお問い合わせください。

---

◇1◇ USBドライバのインストール：

---

「ドライバ」というのは、文字放送を受信するシステック社のソフト「MVマスター」などを動かすためのソフトです。

「チャート力学2002」は、「文字ビジョン2000」がテレビ放送から読み込んだデータを「MVマスター」を経由して利用します。

システック社の「文字ビジョン」用のUSBドライバがインストールされていない状態ですと、「チャート力学2002」は正常動作しません。

では、「文字ビジョン2000」を動作させるために、USBドライバをインストールします。

システック社の「ユーザーズマニュアル①」、つまり、折り置まれたポスターのようになっているマニュアルに、ドライバのインストールについての説明があります。

この作業については、基本的に、このマニュアルに従います。

◆ご注意(1)◆

---

システック社のマニュアルには、ウィンドウズXPを使っているパソコンへのインストール方法が書かれていませんが、基本的にウィンドウズ2000にインストールする方法と同様です。

ただ、途中で「警告メッセージ」が表示されますので、本マニュアルを参考に対処してください。

◆ご注意(1)◆

---

できるだけ、最初につないだUSBポートは「文字ビジョン」専用として、つなぎかえないようにしてください。

最初につないだUSBポートから「文字ビジョン」を外して、違うポートにつなぎかえますと、「文字ビジョン」のCD-ROMを挿入するように要求してくる場合があります。

この場合、指示に従えば、通常問題ありませんが、トラブルにつながる可能性があります。

---

◆ご注意(2)◆-----

弊社でテストした結果、Windows2000で、いったんインストールしたドライバを削除して、再度インストールしようとした時、「再インストールができない」という問題が発生しました。

いったんインストールした「文字ビジョン」のドライバは削除しないよう、注意してください。

◆メモ◆-----

どうしてもUSBドライバがインストールできない場合、「シリアル接続」を行うことにより、「文字ビジョン」の利用が可能になります。「シリアル接続」のためのケーブルは特殊なものです。

弊社にて販売しておりますので、ご連絡ください。

システック社に直接問い合わせさせていただいても結構です。

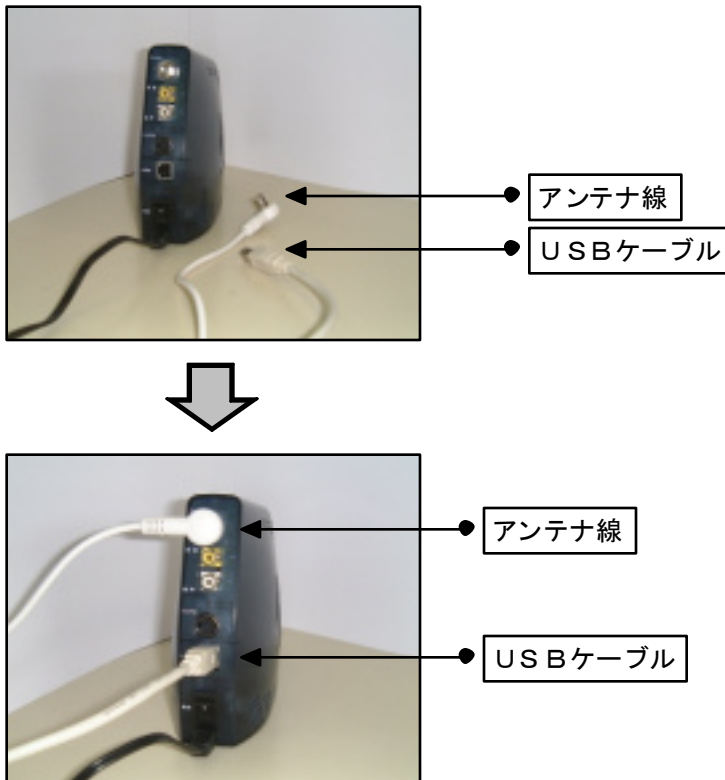
## ◆1◆ ドライバのインストール(ウィンドウズXPの場合)：

OSがウィンドウズXPのマシンで「文字ビジョン2000」(文字放送受信機)が使えるようにするための準備について、説明します。

- 【1】①「文字ビジョン2000」にアンテナを接続します。  
 ②文字ビジョンの電源プラグをコンセントにつなぎます。  
 ③「文字ビジョン2000」とパソコンを、文字ビジョンの電源スイッチがOFFになっていることを確認してUSBケーブルで接続します。  
 ④USBケーブル接続後に「文字ビジョン2000」の電源を入れます。

※USBケーブルは「文字ビジョン2000」に付属しています。

※接続方法は「文字ビジョン2000」付属マニュアルの図解を参考にしてください。



---

【2】「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」ウインドウが表示されま  
す。

最初、画面の右下に、マンガの吹き出しのような表示で、  
「新しいハードウェアが見つかりました」  
という表示が出ます。

この「吹き出し」の右上の×をクリックすると、しばらくして、  
「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」ウインドウが表示されます。

※表示されるまでに、少し時間がかかる場合があります。

画面の真ん中やや下に、

インストール方法を選んでください。

- ソフトウェアを自動的にインストールする(推奨)
- 一覧または特定の場所からインストールする

という表示があり、

上の「ソフトウェアを自動的にインストールする」にチェックが入っています。

※ここで「文字ビジョン2000」添付(紙の袋に入っています)のCD-ROM  
(ブルーに白抜き文字で「文字ビジョン」と記されています)をパソコンにセッ  
トします。

【3】「検索しています。お待ちください」というウインドウが表示されます。

【4】「ソフトウェアをインストールしています。お待ちください」というウィンドウが表示されます。

◆ご注意◆-----

ここで、「！」マークが付いたウィンドウが表示され、

このハードウェア  
文字ビジョン2000データ放送受信ユニット

... ..

ロゴテストに合格していません。

... ..

インストールを続行した場合、システムの動作が損なわれたり...

という警告が出てきますが、[続行]ボタンをクリックします。  
つまり「警告」を無視して、インストールを続行します。

※「文字ビジョン2000」はウィンドウズXPで、問題なく使用することができます。

【5】「新しいハードウェア検索ウィザードの完了」

というメッセージが表示されます。  
[完了]ボタンをクリックします。

これで、「ドライバ」のインストールが完了しました。

【6】念のため、ちゃんと「ドライバ」がインストールできたか、チェックするには、以下のようにします。(チェックせず、次の「文字放送受信ソフトのインストール」に進んでも、問題ありません。

- ①：[スタート]→[コントロールパネル](右側中ほどにあります)に進んで、左  
↓ 上の「クラシック表示に切り替える」をクリックします。  
↓
- ②：[システム]というパソコンの絵のついたアイコンをダブルクリックします。  
↓

- 
- ③：「システムのプロパティ」というウィンドウが表示されます。  
↓ 上に「全般」「コンピュータ名」「ハードウェア」…  
↓ などの見出(タブ)が並んでいます。  
↓ この中の「ハードウェア」のタブをクリックします。  
↓
- ④：「システムのプロパティ」のウィンドウが表示されます。  
↓ 真ん中の段の「デバイスマネージャ」というところに  
↓ [ドライバの署名] [デバイスマネージャ]  
↓ という2つのボタンが並んでいます。この右側の[デバイスマネージャ]を  
↓ クリックします。  
↓
- ⑤：+マークの付いたアイコンが並んでいます。  
↓ 上の方に「USB……コントローラ」  
↓ というアイコンがあります。これをダブルクリックします。  
↓
- ⑥：同じ絵文字がずらずらと現れ、一番下の方に、  
↓ 「文字ビジョン2000データ放送受信ユニット」  
↓ という項目が表示されればOK。「ドライバ」は無事インストールされま  
↓ した。  
↓
- ⑦：確認が終わったら、「デバイスマネージャ」ウィンドウの、右上の×をク  
↓ リックします。  
↓
- ⑧：「システムのプロパティ」ウィンドウの、右上の×をクリックします。  
↓
- ⑨：「コントロールパネル」の右上の×をクリックします。

以上で、確認終了です。  
次のステップ(34ページ)に進みましょう。

## ◆2◆ ドライバのインストール(ウィンドウズ2000の場合) :

OSがウィンドウズ2000のマシンで「文字ビジョン2000」(文字放送受信機)が使えるようにするための準備について、説明します。

- 【1】①文字ビジョンにアンテナを接続します。  
②文字ビジョンの電源プラグをコンセントにつなぎます。  
③「文字ビジョン2000」とパソコンを、文字ビジョンの電源スイッチがOFFになっていることを確認してUSBケーブルで接続します。  
④USBケーブル接続後に「文字ビジョン2000」の電源を入れます。

※USBケーブルは「文字ビジョン2000」に付属しています。

※接続方法は「文字ビジョン2000」付属マニュアルの図解を参考にしてください。(本マニュアル23ページの写真も参考になると思います。)

- 【2】「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」ウィンドウが表示されず。

最初、小さめのウィンドウが表示され、

「新しいハードウェアが見つかりました。」

USB Device  
インストール中です。

と表示されます。

しばらくして、  
「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」という、もう1つのウィンドウが表示されます。

2つめのウィンドウが表示されるまでに、少し時間がかかる場合があります。

2つめのウィンドウには、

「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」

「このウィザードでは…」

---

という表示があります。

[次へ]というボタンがありますので、[次へ]をクリックします。

【3】「ハードウェアデバイスドライバのインストール」というウィンドウが表示されます。

「デバイスドライバは…」

「検索方法を選択してください」

●デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)

○このデバイスの既知のドライバを表示して…

という表示があり、

上の「デバイスに最適なドライバを検索する」にチェックが入っています。

[次へ]ボタンをクリックします。

【4】「ドライバファイルの特定」というウィンドウが表示されます。

「ドライバファイルをどこで検索しますか？」

「次のハードウェアデバイスのドライバファイルの検索」

「? USB Device」

「このコンピュータ上のドライバデータベース…」

フロッピーディスクドライブ

CD-ROMドライブ

場所を指定

Microsoft Windows Update

という表示が出てきます。

ここで、2番目の、

CD-ROMドライブ

にチェック v が入っている状態にします。

そのほかのところにチェック v が入っていたらクリックして外してください。

※ここで「文字ビジョン2000」添付(紙の袋に入っています)のCD-ROM (ブルーに白抜き文字で「文字ビジョン」と記されています)をパソコンにセットします。

CD-ROMをセットしたら、[次へ]をクリックします。

◆**ご注意**◆-----

CD-ROMをセットしたところで、

「文字ビジョン2000 セットアッププログラム」  
「Welcome!」

というウィンドウが開いて、「文字ビジョン2000」のセットアッププログラムが開始されてしまう場合があります。

このプログラムが開始されてしまった場合、[次へ]をクリックしてはいけません。かならず[キャンセル]をクリックして、「文字ビジョン2000セットアッププログラム」を終了させてください。

[キャンセル]をクリックすると、  
「インストールを中止しますか？」

というダイアログが表示されますので[はい]をクリックすれば、セットアッププログラムを終了させることができ、元の画面に戻ります。

※「文字ビジョン2000セットアッププログラム」が表示されなければ、そのまま次に進みます。

**【5】「次のデバイスのドライバが検索されました」**

というウィンドウが表示されます。

「? USB Device」  
「このドライバが見つかりました。このドライバをインストールするには…」

という説明があります。  
[次へ]ボタンをクリックします。

---

**【6】 「ソフトウェアをインストールしています。お待ちください」**

というウィンドウが表示されます。

このウィンドウの表示は一瞬で、確認できないこともありますが、問題ありません。

**【7】 「新しいハードウェア検索ウィザードの完了」**

「文字ビジョン2000 データ放送受信ユニット」

「このデバイスに対するソフトウェアのインストールが終了しました」

というメッセージが表示されます。

[完了] ボタンをクリックします。

これで、「ドライバ」のインストールが完了しました。

**【8】 念のため、ちゃんと「ドライバ」がインストールできたか、チェックするには、次のようにします。（チェックせず、次の「文字放送受信ソフトのインストール」に進んでも、問題ありません。）**

①： [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]に進みます。

↓

②： [システム]というパソコンの絵のついたアイコンをダブルクリックします。

↓

③： 「システムのプロパティ」というウィンドウが表示されます。

↓ 上に「全般」「ネットワークID」「ハードウェア」…

↓ などの見出し(タブ)が並んでいます。

↓ この中の「ハードウェア」のタブをクリックします。

↓

④： 「システムのプロパティ」のウィンドウが表示されます。

↓ 真ん中の段の「デバイスマネージャ」というところに

↓ [ドライバの署名] [デバイスマネージャ]

↓ という2つのボタンが並んでいます。この右側の[デバイスマネージャ]を

↓ クリックします。

↓

- ⑤：+マークの付いたアイコンが並んでいます。
  - ↓ 上の方に「USB……コントローラ」
  - ↓ というアイコンがあります。これをダブルクリックします。
  - ↓
- ⑥：同じ絵文字がずらずらと現れ、一番下の方に、
  - ↓ 「文字ビジョン2000データ放送受信ユニット」
  - ↓ という項目が表示されればOK。「ドライバ」は無事インストールされました。
  - ↓
- ⑦：確認が終わったら、「デバイスマネージャ」ウインドウの、右上の×をクリックします。
- ⑧：「システムのプロパティ」ウインドウの、右上の×をクリックします。
- ↓
- ⑨：「コントロールパネル」の右上の×をクリックします。

以上で、確認終了です。  
次のステップ(次ページ)に進みましょう。

---

### ◆3◆ 文字放送受信ソフトのインストール(各OS共通) :

【1】「ドライバ」のインストールが終わったところで、いったん、「USBドライバ」のインストールの時に使った、システック社「文字ビジョン」のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブから取りだし、再度入れ直します。

【2】「文字ビジョン2000セットアッププログラム」というウィンドウが表示されます。

説明文を読み[次へ]ボタンをクリックします。

【3】「ソフトウェア使用許諾契約」のウィンドウが表示されます。

説明文を読み、同意する場合は[同意する]のボタンをクリックします。  
※[同意しない]のボタンをクリックするとインストールは先に進みません。

【4】「インストール先フォルダの選択」というウィンドウが表示されます。

このまま[次へ]をクリックします。  
※[参照]などのボタンをクリックする必要はありません。

パソコンに詳しい方で、自分でフォルダを指定したい方は、フォルダを指定してください。

【5】「プログラムマネージャグループ」のウィンドウが表示されます。

なにもせず、そのまま[次へ]のボタンをクリックします。

【6】「インストールの準備を完了しました」のウィンドウが表示されます。

そのまま[次へ]のボタンをクリックします。

【7】「インストール中」のウィンドウが表示されます。

インストール作業が終了するのを待ちます。

【8】「インストールを完了しました」というウインドウが表示されます。

「セットアップウィザードの起動」にチェック v マークが入っていることを確認して、[完了]ボタンをクリックします。

【9】「セットアップウィザード」のウインドウが表示されます。

「作業を進める前に、受信機の接続が完了していることを確認してください。」というメッセージが表示されます。

もう、接続は完了しているはずなので、[次へ]ボタンをクリックします。

【10】「ユーザー登録番号を入力してください」というウインドウになります。

ここで、ユーザー登録番号を入力します。

S-12\*4\*6

というような形式の登録番号を入力します。

ユーザー登録番号は、「文字ビジョン2000」に付属している、「ユーザーズマニュアル②」（A5サイズの小さなマニュアル）の表紙に表示されています。（シールになっています）

S-12\*4\*6

の最初のアルファベットは、大文字でも小文字でも大丈夫です。

※ユーザー登録番号は、「文字ビジョン2000」本体の下側（ゴム足が付いている面）にも表示されています。

【11】「受信機を選択してください」というウインドウが表示されます。

左上の「2000/USB」を選択（クリック）します。

表示がカラーになります。

[次へ]ボタンをクリックします。

---

◆ご注意◆-----

ここで、エラーメッセージが表示されて、次の段階に進めない場合があります。その場合、USBドライバがうまくインストールされていないのが原因です。もう一度、USBドライバのインストールを行ってください。

どうしてもエラーが出てしまう場合、まずは、システック社のユーザーサポートに相談してください。

システック社のユーザーサポートは、  
• 電話：052-601-6967  
です。

それでも解決しない場合は弊社にご相談ください。

【12】「文字放送を受信可能なチャンネルをサーチします」というウインドウが表示されます。

[サーチ開始]という大きめのボタンがあります。  
これをクリックします。

1chチェック中…  
2chチェック中…

という表示が出て、チェックが進みます。

この作業の目的は「NHK総合テレビ」のチャンネルを見つけることです。受信可能なチャンネルのらんに、「NHK総合テレビ」のチャンネルが表示されれば、[サーチ停止]ボタンを押して、サーチを停止してかまいません。

たとえば、ご自分の地域のNHK総合テレビのチャンネルが4chなら、4chが出れば[サーチ停止]を押してサーチを停止します。

文字放送を行っているチャンネルが複数ありますと、複数のチャンネルが表示されることがありますが、目的は「NHK総合テレビ」のチャンネルを表示させることです。

「NHK総合テレビ」のチャンネルが表示され、[サーチ停止]ボタンを押したら[次へ]ボタンを押します。

【13】「NHKチャンネルを選択し正常に受信できることを確認します」というウインドウが表示されます。

ここで、表示されている、ご自分の地域の「NHK総合テレビ」のチャンネル、たとえば4chをクリックします。

右側の小さな窓に「4ch」と表示され、  
[受信確認]のボタンが濃い色で表示されます。  
この[受信確認]のボタンをクリックします。

右側の窓に「NHK確認中…」と表示され、受信確認が行われます。

やがて、

■4ch 受信レベルA ■NHKを確認しました  
パケット 60  
エラー 0

という表示が出て、上の窓には、「ニュース」「スポーツ」「天気」など、文字放送の内容が表示されます。

[次へ]ボタンをクリックします。

※ここで、受信レベルがC以下だと、このあとの作業が正常に進まない可能性があります。とりあえず、インストール作業をやってみますが、うまく行かない場合は、電波が弱いせいであることが考えられます。  
「ブースター」を取り付ける、アンテナを増設するなど、対策を講じてください。

※解決策が見つからない場合、弊社にご相談ください。

途中でエラーが出て止まった場合、前の画面に戻ってやりなおすと、うまくいく場合があります。試してみてください。

---

【14】「NHKチャンネルの目次情報を取得します」というウィンドウが表示されます。

[目次情報取得]ボタンをクリックします。

NHKチャンネル：4ch

受信レベル：A

NHK確認：確認しました

目次番組受信：#898受信中 ※数分かかることがあります

目次情報作成：(ここは空欄です)

というような表示が出れば、正常に作業が進行しています。

3分ほどで作業が終了し、空欄だった、「目次情報作成」のらんが

目次情報作成：作成完了

となれば、作業終了です。

[次へ]ボタンをクリックします。

【15】「データの保存先を設定します」というウィンドウが表示されます。

そのまま[次へ]ボタンをクリックします。

パソコンに詳しい方で、保存先のフォルダを指定したい方は、フォルダを指定します。

【16】「設定を完了しました」というウィンドウが表示されます。

[完了]ボタンを押します。

これで、設定完了です。

◆以上の作業がうまくいかない場合◆-----

文字放送を受信する準備段階のトラブルにつきましては、弊社(プレコオンライン)ではなく、システック社にお問い合わせください。

どうしても解決しない場合、弊社(プレコオンライン)にご相談ください。  
弊社サポートの電話番号は、巻末にあります。

---

## 2 「チャート力学2002」のインストール：

文字放送の準備が終わったところで、いよいよ「チャート力学2002」のインストールです。「チャート力学2002」のインストールは、文字ビジョンのインストールと比べると非常に簡単です。

---

### ◇インストールの手順◇

---

インストールの前に、起動しているすべてのプログラムを終了させます。

【1】「チャート力学2002」のディスクをCDドライブにセットします。

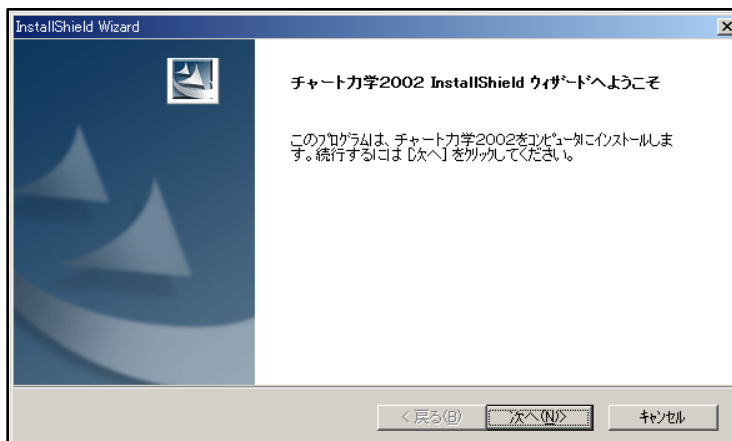
【2】「インストールの準備をしています」というウインドウが表示されます。

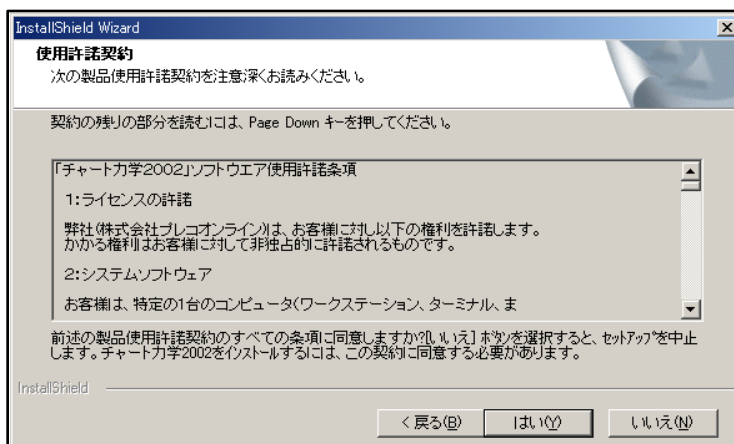
しばらくパソコンが自動的に作業をします。

【3】「チャート力学2002 InstallShield ウィザードへようこそ」というウインドウが表示されます。

このプログラムは、チャート力学2002をコンピュータにインストールします。続行するには…、という説明が表示されています。

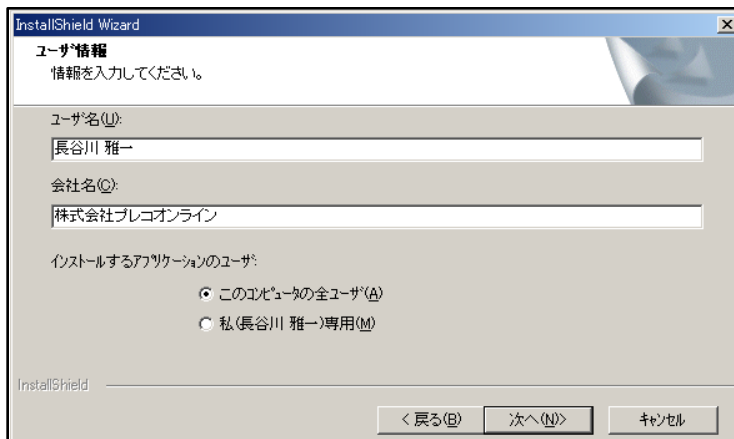
[次へ] をクリックします。



**【4】「使用許諾契約」の画面になります。**

「チャート力学2002」をお使いになるにあたっての確認事項が表示されます。

確認事項をもらさずお読みになり、本「使用許諾契約」に同意され、インストールを続行される場合は、[はい]ボタン をクリックしてください。

**【5】「ユーザ情報」の画面になります。**

ユーザ名：

会社名：

を確認してください。

空欄の場合は、ユーザ名(ご自身のお名前)と会社名を入力します。

---

会社名が入力されていない場合、インストールが進みません。  
会社に所属しておられない場合でも、適当な名前、あるいは会社名を入力して、作業を進めてください。

なお、「チャート力学」の起動時には、ユーザ名や会社名は表示されません。

なお、OSによって、「インストールするアプリケーションのユーザー」の選択が必要な場合があります。  
通常、「このコンピュータの全ユーザ」にチェックを入れて、進めます。

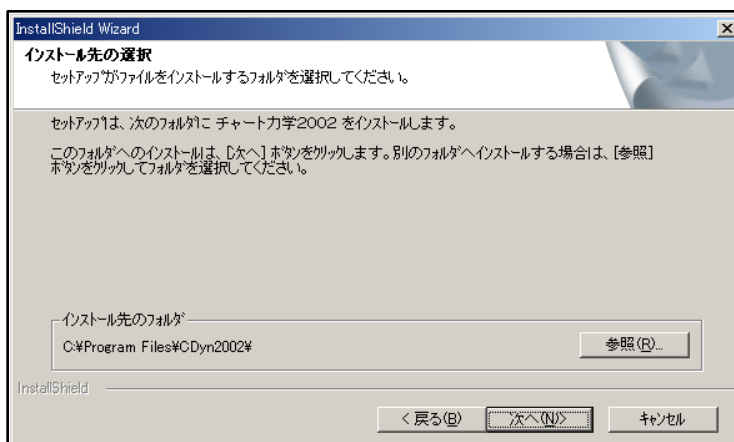
[次へ]をクリックします。

【6】「インストール先の選択」画面が表示されます。

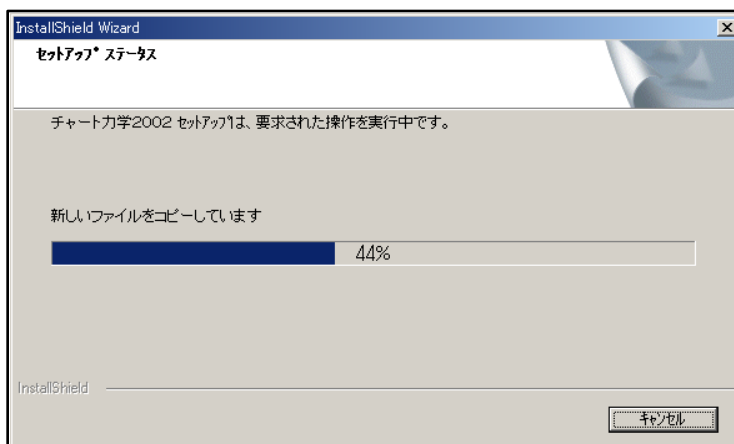
セットアップは、次のフォルダにチャート力学2002をインストールします。  
このフォルダへのインストールは…

という説明が表示されています。  
このまま [次へ] をクリックします。

※コンピュータに詳しい方で、インストールするフォルダを手動で指定したい方は、フォルダを指定してください。

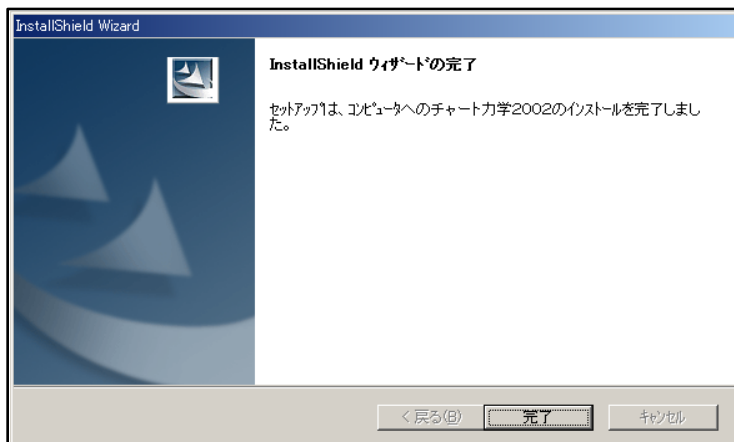


次のような画面が表示されて、プログラムのインストールが始まります。



【7】「InstallShield ウィザードの完了」画面が表示されます。

数秒でインストールが終了し、「InstallShield ウィザードの完了」が表示されます。



[完了]をクリックします。

以上で、「チャート力学2002」のインストールは終了です。  
次に、「チャート力学2002」を起動して、株価データの補充を行います。

---

### 3 株価データの読み込みと補充：

ここまでで、「チャート力学2002」のインストールが終わりました。  
これから、必須オプション品の「10年株価CD-ROM」を使い、10年間の株価データを「チャート力学2002」に読み込みます。

さらに、インターネットに接続して、「10年株価CD-ROM」に入っていない、最新のデータを読み込み、チャートを最新の状態にします。

---

#### ◇1◇ 株価データ読み込みの準備：

---

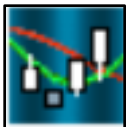
株価データを読み込み、「チャート力学2002」が使えるようにするには、  
1：「10年株価CD-ROM」（本製品、必須オプション）  
2：「データゲット株式会社」の「アクセス権」で使用する、メールアドレスとパスワード  
が必要です。  
これらを準備してください。  
なお、「データゲット株式会社」の「アクセス権」について、よくわかりにならない方は、弊社サポートにご連絡ください。

---

#### ◇2◇ 「チャート力学2002」を起動します：

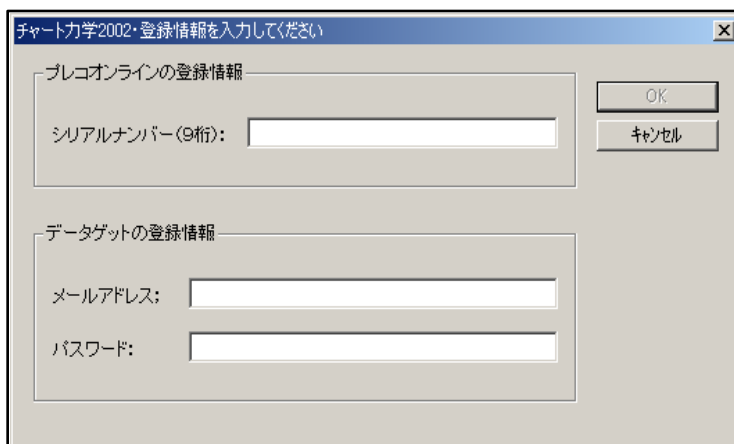
---

準備ができたところで、「チャート力学2002」を起動します。  
デスクトップ上に、チャート力学の「アイコン」ができています。  
これをクリックします。  
ろうそく足の絵がついた、青いアイコンです。



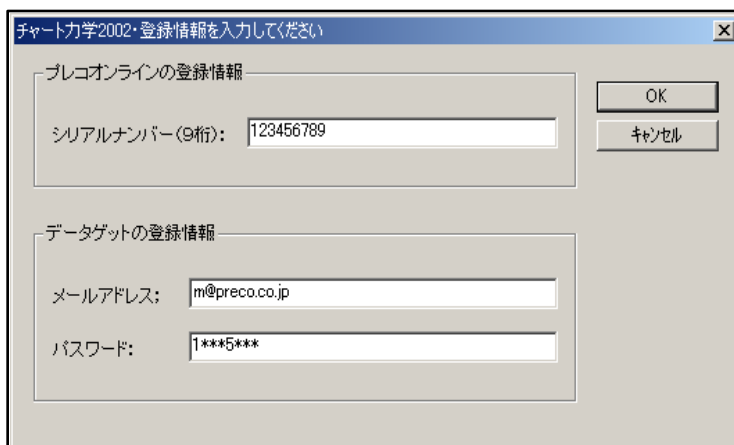
これをダブルクリックしますと、「チャート力学2002」が起動します。

起動後、最初に下の画面が表示されます。



**【1】シリアルナンバー、メールアドレス、データゲットのパスワードの入力**

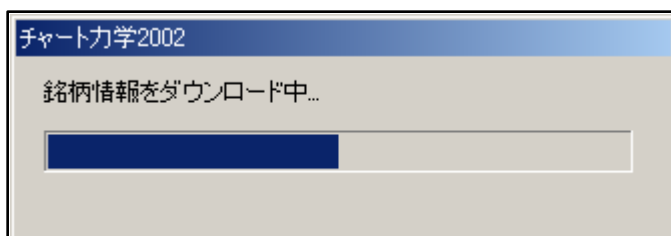
下のように、「半角英数字」でご自身のシリアルナンバー、メールアドレス、データゲットのパスワードを入力します。



半角英数字での入力が完了すると、OKボタンがクリックできるようになります。

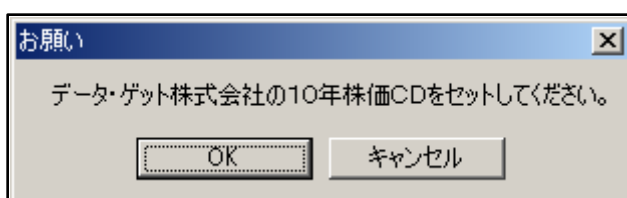
[OK]ボタンをクリックします。

右ページのようなダイアログボックスが表示され、「チャート力学2002」はプレコオンラインのホームページにアクセスして、銘柄情報を読み込みます。



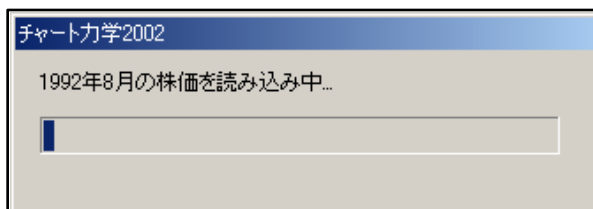
## 【2】過去10年間の株価データの読み込み

次に、下のようなダイアログボックスが表示されます。



ここでパソコンに「10年株価CD ROM」をセットして、過去の株価データを読み込みます。

「10年株価CD ROM」がセットできましたら、[OK]ボタン をクリックしてください。



株価データの読み込みが始まります。

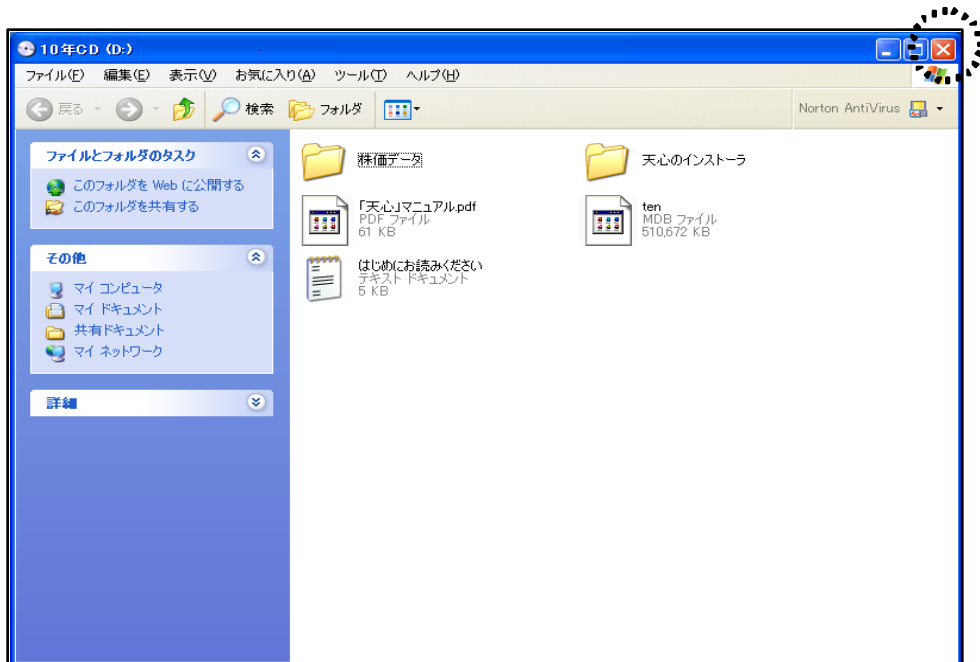
10年分の株価データですから、かなり大量のデータ処理になります。

お使いのパソコンの性能によりますが、10分程度かかります。

## ◆ご注意◆

ウィンドウズXPのマシンの場合、「10年株価CD-ROM」を挿入した後で、次のようなウィンドウが立ち上がる場合があります。

このウィンドウが表示されましたら、ウィンドウ右上の×をクリックして、ウィンドウを閉じてください。

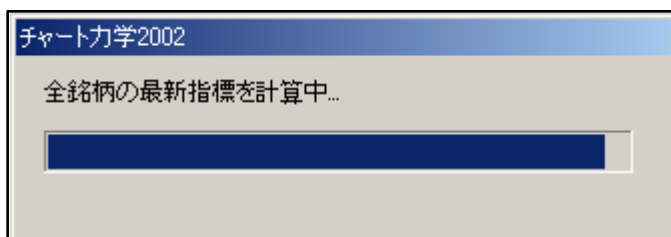


データゲット株式会社のCD-ROMの中には、いくつかのアプリケーションが「おまけ」で付いています。

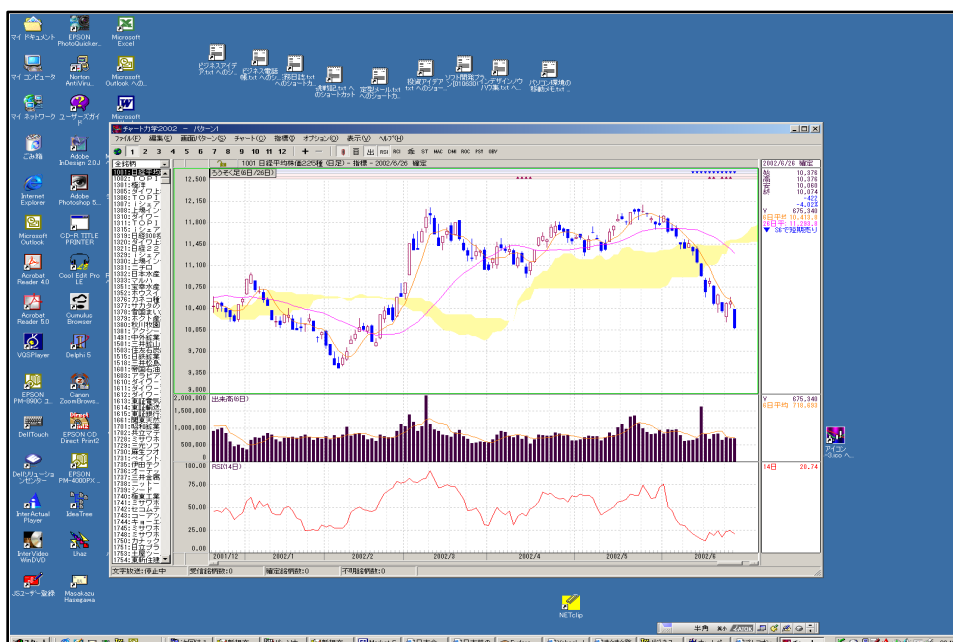
上のウィンドウは、その「おまけソフト」のメニューです。

これらのソフトは、「チャート力学2002」のインストールにも、その後の運用にも、必要ありません。

下のような表示になれば、間もなく読み込み完了です。



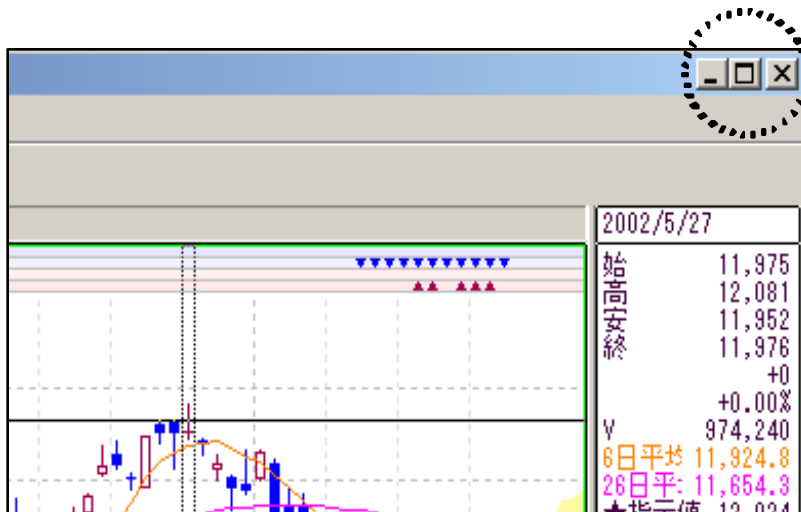
株価データの読み込みが終了し、指標の計算が終了しますと、チャート力学の基本画面が立ち上がります。



高解像度のディスプレイを使っている場合、上のように、画面の1部分にチャート力学が表示されます。

「チャート力学2002」右上の「最大化ボタン」をクリックして、最大表示にします。

画面の右上に3つ並んだボタンの真ん中(四角形の上に線があるもの)が「最大化ボタン」です。



3つ並んだボタンのうち、1番左は「最小化ボタン」です。  
これをクリックしますと、「チャート力学2002」が最小化され、画面下側のタスクバーに表示されます。



タスクバーに表示された「チャート力学2002」をクリックすれば、元の表示サイズに戻ります。

1番右側の × マークのボタンは「クローズボックス」と言い、プログラムを終了させる時にクリックします。

## 4 インストール終了時のテスト：

「チャートカ学2002」のインストールは無事終了したと思います。  
初期状態では、下の図のような画面構成になっているはずですが、



初期画面では「1992年4月」(データの先頭)の[100日経平均]が表示されます。  
2段目には「出来高」  
3段目には「RSI(14日)」が、赤色で表示されているはずですが、

## ◇確認◇

## 【1】最新の日足が表示されていますか？

「チャート力学2002」は、インストール時に、最新のデータを読み込んで表示します。

チャートの最も右端の「ろうそく」にカーソルを合わせて、そのろうそくが、最新のものであるかどうかを確認してください。

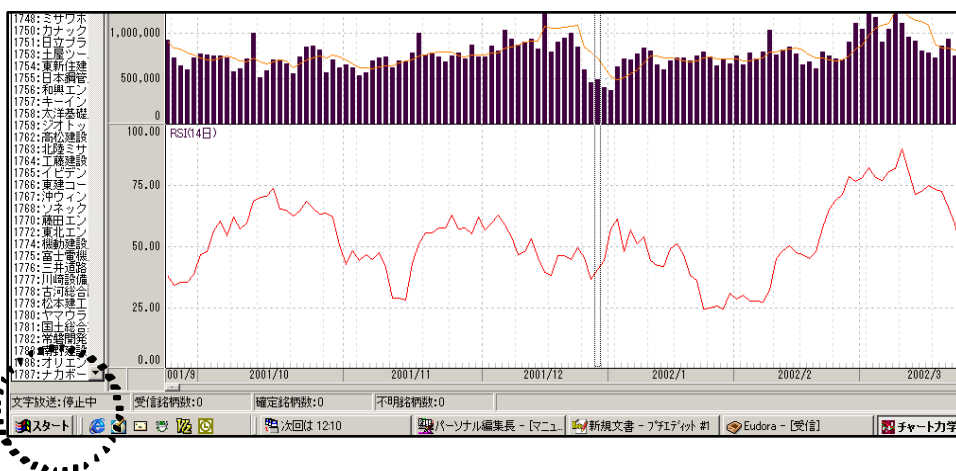
データゲット提供する株価データは、毎夜7時頃に更新されます。  
よって、夜7時前にインストール作業を終了した場合、まだ、その日の日足は表示されませんが、この場合、動作は正常です。

## 【2】文字放送受信の動作確認

次に、文字放送が正常に受信できているかどうかを確認します。

まず、現在の状況を確認します。

「チャート力学2002」の画面左下に、小さな表示スペースがあり、ここに、文字放送の受信状態を表示しますので、確認します。

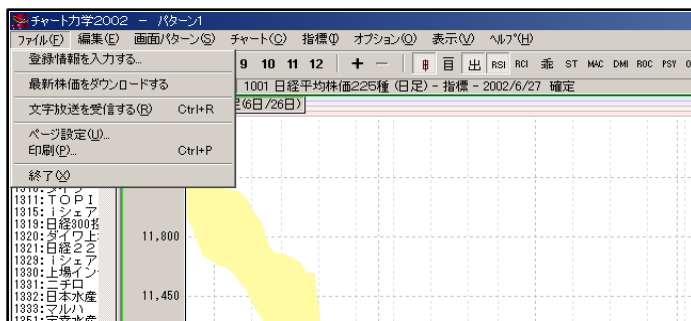


「文字放送：停止中」になっているはずですが。

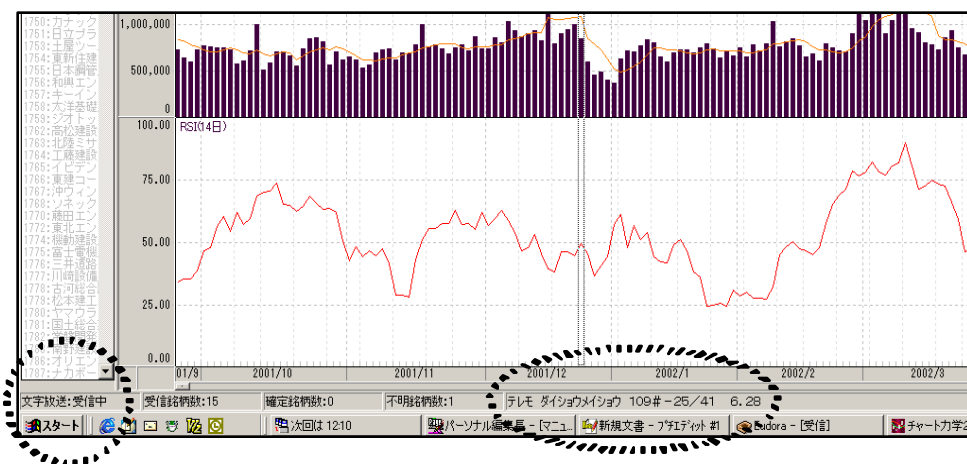
※文字放送を使わない方は、この確認を行う必要はありません。

では、文字放送の受信チェックを行います。

パソコン左上の [ファイル]メニュー をクリックします。



メニュー、上から3段目の、  
「文字放送を受信する」  
をクリックしてチェックを入れます。



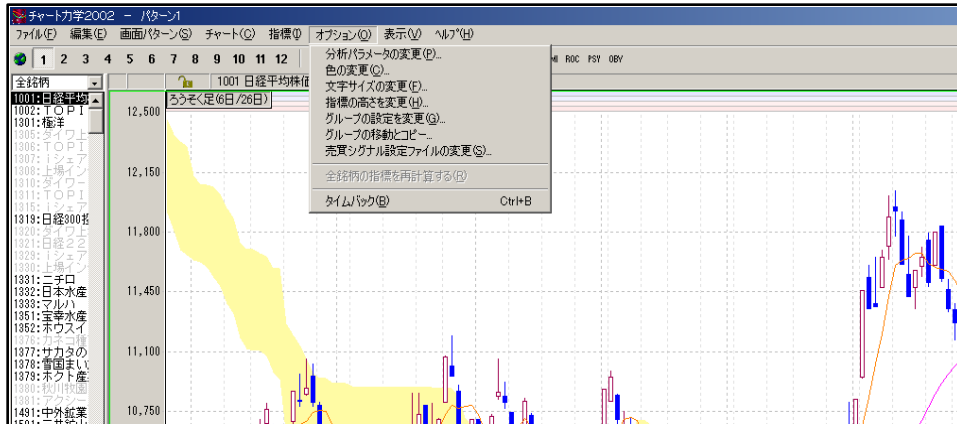
画面左下の表示が、「文字放送：受信中」に変わり、左から順に、受信銘柄数、確定銘柄数、不明銘柄数が表示され、右側の部分には、「テレモトウショウ1ブ…」

というような表示が出て、表示が変わっているはずですが、  
これが、文字放送を正常に受信している状態です。

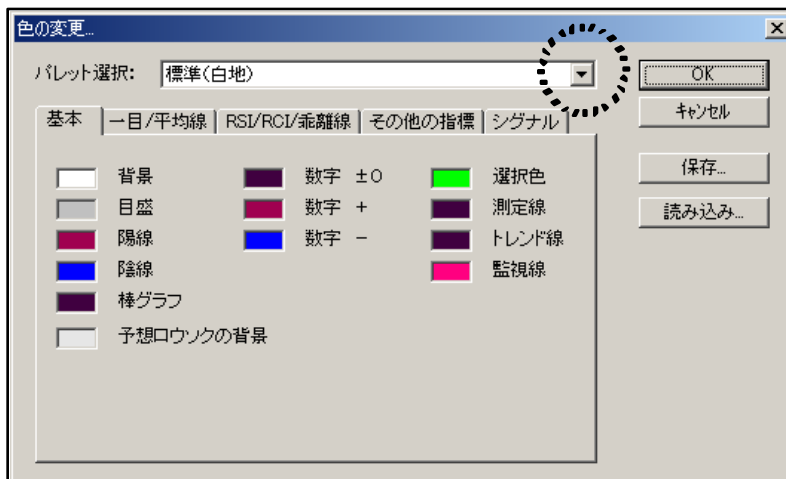
また、画面下の「タスクバー」のどこかに「MVマスター」という表示が出ています。 「MVマスター」は、文字放送のデータを「チャート力学」に受け渡すソフトで、これが起動していないと文字放送が受信できません。

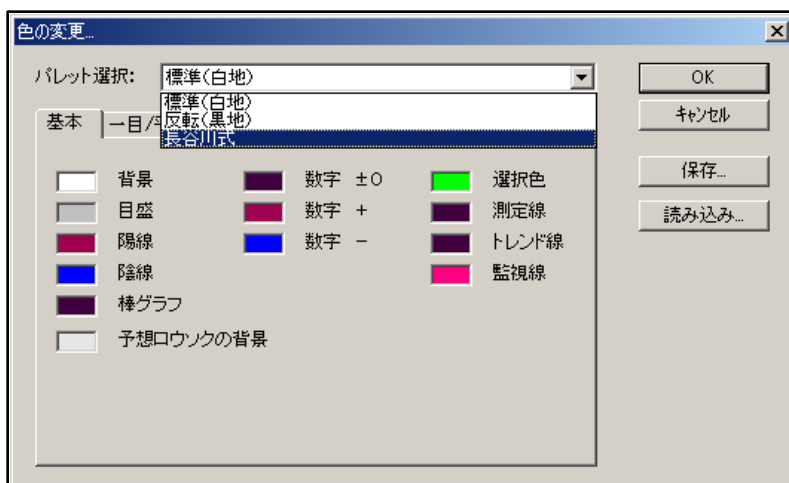
### 【3】表示色の変更

次に、表示色を変更します。



[オプション]メニュー 2段目の「色の変更」を選びます。  
パレット選択の ▼ボタン をクリックします。





メニューの中から、「長谷川式」を選んでクリックして、[OK] ボタン をクリックします。

「長谷川式」のカラー設定になります。

※この色の設定は、液晶ディスプレイ用のものです。

ブラウン管のディスプレイだと、見づらいかもかもしれません。

見づらい場合は、後で変更してください。

あるいは、「標準」に戻してお使いください。

※表示色は [オプション]メニュー の [色の変更] のところで変えることができます。

変更したい方は操作してみてください。

【4】では、銘柄を表示させるテストを行います。

① キーボードから、

6 7 5 8

と打ち込んでみてください。

ソニーがお嫌いの方は、ご自身のお好きな銘柄を打ち込みましょう。

8 5 6 4

8 3 0 7

など、なんでも結構です。

半角でも全角でもかまいませんので、数字のみ入力します。

② たとえば[6758]と打ち込んだ場合、画面の中央に[6758]と表示されます。

ここで[Enter]キーを押します。( [Enter]キーは、キーボードの右寄りにある、一番大きなキーです。)



③ すると、ソニーの最新の株価チャートが表示されます。

※ここまでで、「チャート力学2002」の初期動作確認終了です。

一連の動作がうまくいかない場合、よくマニュアルをお読みにになり、動作を再確認してみてください。

どうしてもうまくいかない場合は、弊社サポートにご連絡ください。

---

## ■4■「チャート力学2002」の基本操作：

### 1 起動／終了：

◇1◇「チャート力学2002」の起動：

◆方法1：

デスクトップ上にある「チャート力学2002」のアイコンをダブルクリックします。

ろうそく足の絵がついた、青いアイコンです。



このアイコンをダブルクリックすると「チャート力学2002」が起動します。

◆方法2：

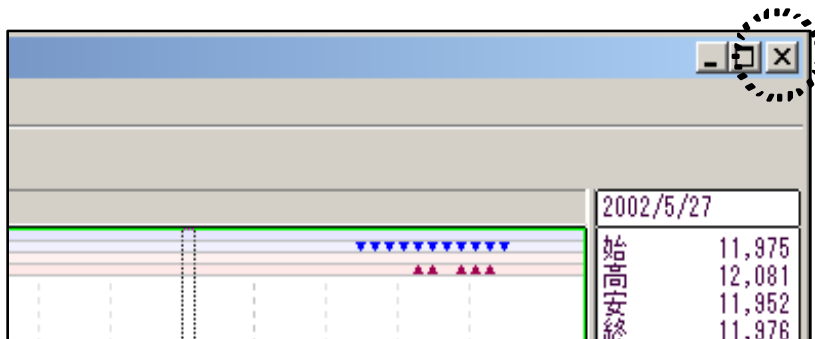
[スタート]→[すべてのプログラム](または「プログラム」)  
→[チャート力学2002]をクリックします。

※[スタート]ボタン は、パソコンの画面左下にあります。

◇2◇「チャートカ学2002」の終了：

◆方法1：

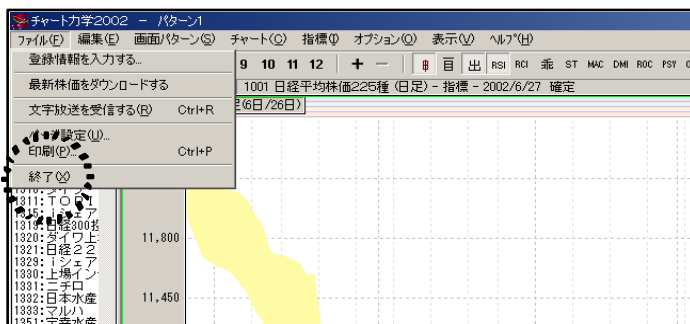
「チャートカ学2002」の画面右上の × をクリックします。



◆方法2：

[ファイル]メニュー → [終了] をクリックします。

[終了]は[ファイル]メニューの一番下にあります。

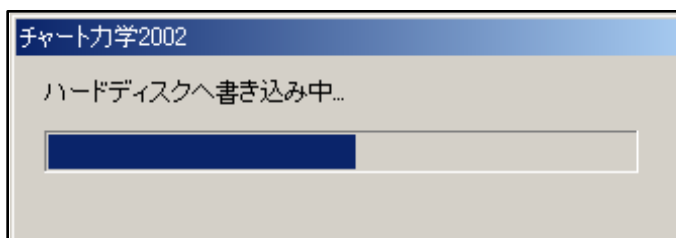


---

◆メモ◆-----

「チャート力学2002」終了時には、「チャート力学」がその時間までに読み込んだ最新の株価データをハードディスクに保存します。

その際、下のようなウインドウが表示されます。



※「チャート力学2002」では、データを確実に保存するため、終了作業を途中でキャンセルすることができない設計になっています。

## 2 「グループリスト」の操作：

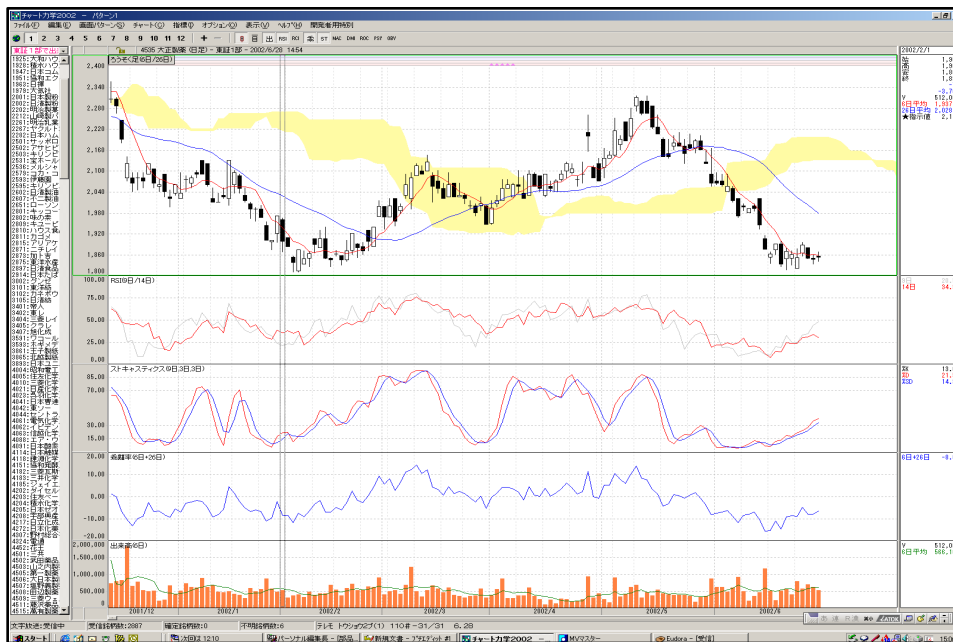
チャートカ学の基本画面と、操作法について説明します。

### ◇1◇ グループリスト：

画面の一番左には「グループ」が表示されています。

最初(デフォルト)の段階では「全銘柄」というグループ名が表示されていて、「チャートカ学2002」で扱うことのできる、全銘柄が表示されています。

銘柄名が並んだ、縦長のリストが、「チャートカ学2002」の「グループリスト」です。



右側には、チャート(ろうそく足)とテクニカル指標が表示されています。(上の例は、初期画面とは異なるアレンジになっています。)

◇◇ グループリストの表示/非表示:

グループの表示/非表示を切り替えることができます。

◆方法1: [表示]メニュー で切り替える

グループを表示/非表示を切り替えるには、[表示]メニュー をクリックして、



- ✓ 詳細リスト
- 詳細ウインドウ
- ✓ グループリスト
- ... ..

と並んだメニューの上から3番目の

- ✓ グループリスト

をクリックします。

これで、グループ表示が消えて、チャート画面だけになります。

もう1度[表示]メニューをクリックしますと、こんどは、

√ 詳細リスト  
詳細ウインドウ  
グループリスト  
... ..

のように、「グループリスト」のところの、チェック √ が外れていることがわかります。

この状態ですと、グループリストは表示されません。

ここでまた、

√ 詳細リスト  
詳細ウインドウ  
グループリスト  
... ..

と並んだメニューが出てきます。

上から3番目の

グループリスト

をクリックしますと、グループが表示されます。

#### ◆方法2：「ショートカットキー」で切り替える

方法2は、「ショートカットキー」を使う方法です。

パソコンのキーボードの左下に [Ctrl] と記されたキーがあります。

これが「コントロールキー」です。

コントロールキーは、右側(矢印キーの少し左)に、もう1つあります。

この「コントロールキー」を押しながら、アルファベットのキーのどれかを押すことによって、簡単に操作を行うことを「ショートカットキーを使う」と言います。

グループの表示／非表示は、

[CTRL] + [G]

で、つまり、コントロールキーを押しながら、アルファベットの[G]のキーを押すことで行うことができます。

1回押すごとに、表示／非表示が切り替わります。

#### 【ショートカットキー】

コントロールキー ([CTRL]) を押しながら、アルファベットのどれかのキーを押すことで、操作を簡単に行うための、キーの組み合わせです。

「チャート工学」では、ほとんどの操作に「ショーカットキー」が割り当てられています。これを覚えると、操作を簡単に行うことができます。

#### ◇3◇ グループの切り替え：

グループ表示は切り替えることができます。

グループ表示の横にある▼ボタンをクリックすると、グループの一覧(リスト)が表示されます。



「チャート力学2002」には、「東証1部」「東証2部」「値上がり率ランキング」…などのデフォルトグループと、ユーザーが自由に設定することができる32のユーザーグループがあります。



表示されたグループのリストの中で、選択されているものは「反転表示」となります。

目的のグループをマウスでクリックすれば、そのグループに登録されている銘柄(グループの内容)が表示されます。

また、グループリストの境界線にマウスを合わせてドラッグすると、グループリストのエリアを広げたり狭めたりすることができます。

◆メモ◆

ユーザーが設定可能な32のグループは、「自動抽出する」か「自動抽出する」か、設定を選択できます。

「今、買いを狙っている」というような銘柄を、忘れないように区別する時は、設定を「自動抽出しない」にして、銘柄を登録します。

「5日線と25日線がゴールデンクロスした銘柄を知りたい」というような場合には、設定を「自動抽出する」にします。

「チャート力学」は「自動抽出」の設定にしたグループについて、文字放送のデータに基き、場中にリアルタイムで銘柄絞り込みを行います。

### 3 銘柄の検索／銘柄の切り替え：

#### ◇1◇ 銘柄の検索：

「チャート力学2002」では、目的の銘柄のチャートを簡単に検索して、表示することができます。

#### ◆方法1：銘柄コードを入力して目的の銘柄を検索する

銘柄コードを入力して銘柄を検索し、選択する方法です。

「チャート力学2002」が起動している状態で、キーボードから、銘柄コード(数字)を入力します。

カーソルの位置、マウスの位置を気にせず、直接打ち込んでしまって結構です。また、数字は半角でも全角でもかまいません。

では[6758]という銘柄コードを入力してみましょう。

下の図のように、「チャート力学2002」の画面中央に、コードナンバーが表示されます。



入力が終わったら [Enter]キー を押します。  
入力したコードに対応する銘柄のチャートが表示されます。  
[Enter]キー は、キーボードの右の方にある、大きなキーです。

◆練習◆

主立った銘柄のコードを入力して、銘柄検索の練習をしましょう。

NTT…9432／武富士…8564／東芝…6502／  
山之内…4503／三菱レーヨン…3404／日水…1332

◆メモ◆

間違ったコードを入力すると、



というメッセージが表示されます。

このメッセージが表示された場合、「チャート力学2002」には、入力したコードに対応する銘柄の情報がありません。

原因は、

- その銘柄コードに対応する銘柄がない(単純な入力ミス)
- その銘柄コードに対応する銘柄が上場廃止になった  
などが考えられます。

この場合、正しいコードを調べて入力するか、「方法2」の銘柄名による表示の操作を行ってください。

◆方法2-①：銘柄名を入力して銘柄を検索する

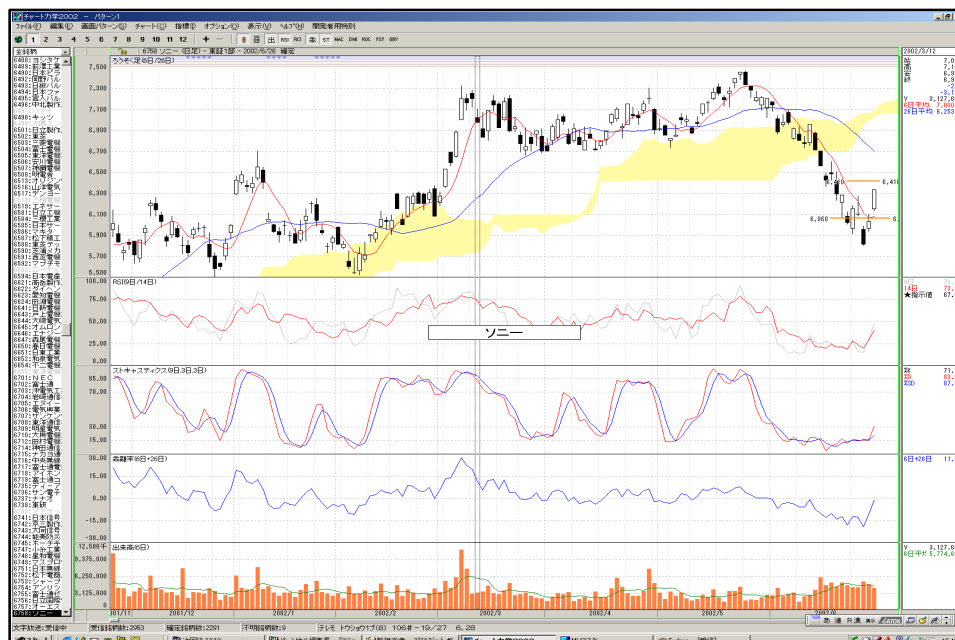
銘柄名を入力して銘柄を検索し、選択する方法です。

「チャート力学2002」が起動している状態で、キーボードから、漢字、ひらがな、カタカナ、英数字のいずれかで銘柄名を入力します。

カーソルの位置、マウスの位置を気にせず、直接入力することができますが、日本語入力のシステムが動いている必要があります。

日本語入力のシステムは [Alt] キー を押しながら [半角/全角漢字] キー を押すことでONになりますので、日本語入力ができない場合は、まず、その操作を行ってください。

銘柄名を入力すると、「チャート力学2002」の画面中央に、銘柄名が表示されます。



入力が終わったら [Enter] キー を押します。

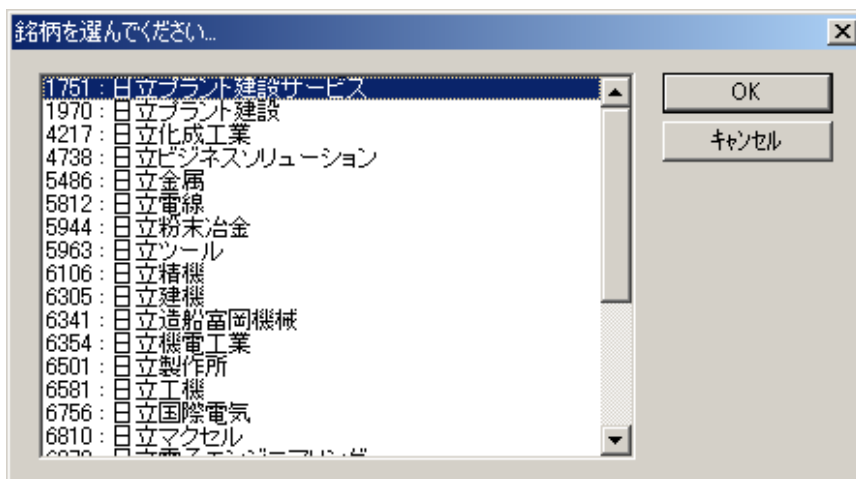
入力したコードに対応する銘柄のチャートが表示されます。

[Enter] キー は、キーボードの右の方にある、大きなキーです。

※日本語入力の詳細に関しては、お使いの日本語入力システムのマニュアルをご参照ください。

## ◆方法2-②：銘柄名の一部を入力して銘柄を検索する

銘柄名の検索は、銘柄名の一部を入力することでも可能です。  
たとえば、「日立」と入力して [Enter]キー を押してみてください。



「日立」という名前のつく銘柄はたくさんあるため、このような、銘柄選択のためのウインドウが表示されます。

この中から、目的の銘柄を選んでクリックし、選んだ銘柄が反転表示された状態で[OK]を押しますと、目的の銘柄のチャートが表示されます。

## ◆練習◆-----

いくつかの銘柄名を入力して銘柄検索を行い、チャートを表示させてみましょう。

旭化成／伊藤園／ミネベア／マブチ...

たとえば「マブチモーター」の場合、「マブチ」だけ入力すれば、チャートが表示されます。

---

◇2◇ 銘柄の選択と切り替え：

---

◆方法1：グループリストをクリックする

グループリストに表示されている銘柄をマウスで直接クリックします。  
選択された銘柄が反転表示され、その銘柄のチャートが表示されます。



◆方法2：矢印キーで銘柄の選択/切り替えを行う

[↓]キー または [↑]キー を押すと、グループリスト内で、順に銘柄が切り替わります。

この機能を使えば「銘柄めくり」が可能になります。

ある条件で抽出したグループ内で、トレードできる銘柄がないか探す時には、「銘柄めくり」が便利です。

◆練習◆

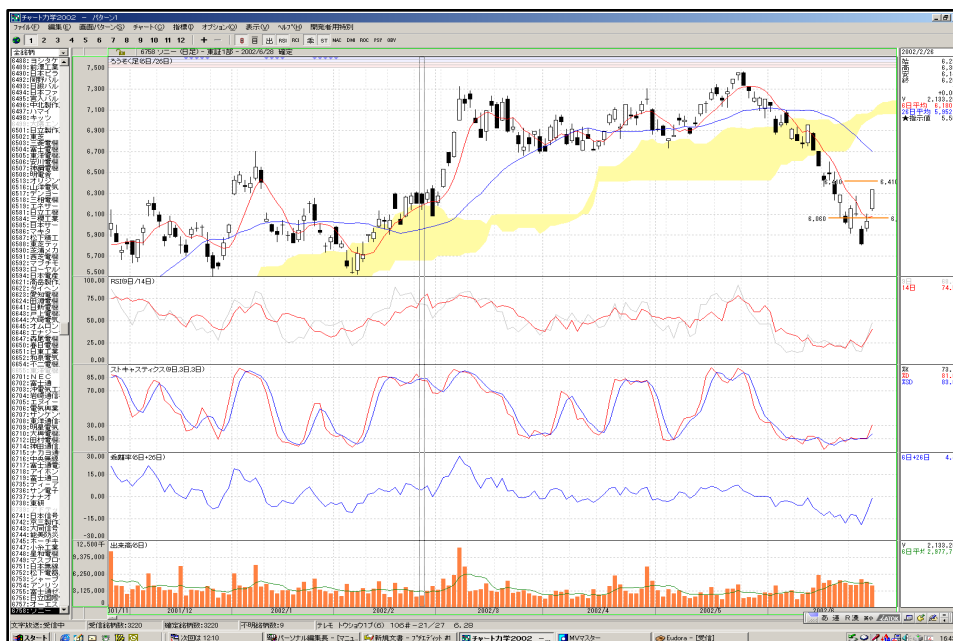
---

銘柄選択、銘柄めくりを、実際にやってみましょう。

## 4 詳細リスト／詳細ウィンドウ：

◇1◇ 詳細リスト：

画面右端には、縦に長くチャートの細かい指標の数値が表示されています。これが「詳細リスト」です。



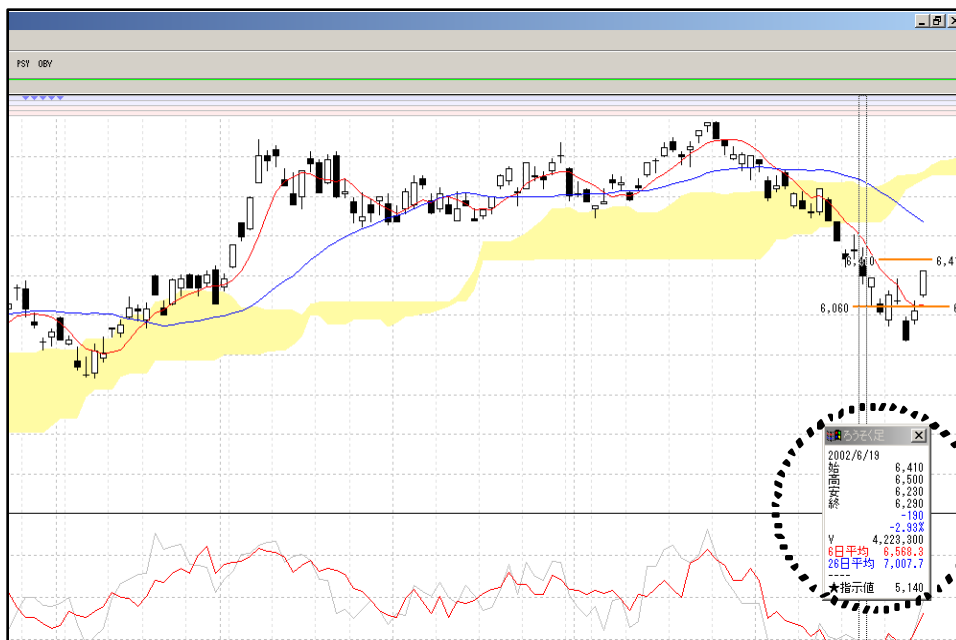
「詳細リスト」は「ろうそく足」「指標」ごとに区切られており、ろうそく足チャートの右側には、ろうそく足チャートの詳細が、テクニカル指標の右側には、テクニカル指標の詳細が表示されます。(下は表示例と、その意味です。)

始	11,682	…	その日の始値
高	11,685	…	その日の高値
安	11,465	…	その日の安値
終	11,541	…	その日の終値(場中は「現」という表示で現在値を表示)
	-108	…	前日比
	-0.92%	…	前日比(パーセント)
V	780,000	…	出来高



## ◇3◇ 詳細ウインドウ(小さなウインドウ) :

「チャート画面をもっと広く使いたい」という方は、「詳細ウインドウ」をお使いください。



「詳細ウインドウ」を表示するには、  
70ページと同じ要領で、[表示]メニューを開き、「詳細ウインドウ」をクリックします。

ショートカットキーは、  
[CTRL] + [SPACE]  
です。  
[CTRL] キー を押しながら [SPACE] キー を押すという操作で、詳細ウインドウの表示／非表示を切り替えることができます。

「詳細リスト」では、現在カーソルがある領域の詳細情報を表示します。  
カーソルを動かして、どこにカーソルがある時に、どんな表示が表示されるかを確かめてください。

---

また、「詳細ウインドウ」は、どこにでも移動することができます。

「詳細ウインドウ」そのものの右上に付いている×ボタンで、「詳細ウインドウ」を閉じることも可能です。

◆メモ◆-----

マウスを右いっぱい動かして、「チャート力学2002」のカーソルが表示されない状態にする(右側にスクロールアウトする)と、「詳細リスト」および「詳細ウインドウ」に、最新日のデータが表示されます。

◆練習◆-----

「詳細ウインドウ」の表示/非表示を切り替えてみましょう。  
「詳細ウインドウ」と「詳細リスト」を切り替える操作もやってみましょう。

## 5 カーソルの種類：

### ◇1◇ カーソルの種類：

#### 1：十字カーソル

チャートカ学の「基本画面」が表示されている状態で、マウスを動かすと、マウスと連動して、画面上に+マークのカーソルが動きます。

これを「十字カーソル」と呼びます。

#### 2：水平補助線

また、初期状態では、十字カーソルの一を左右に延長するような「水平補助線」が表示されています。

「詳細リスト」および「詳細ウインドウ」に「★指示値」という項目がありますが、ここに、カーソルの位置に対応する株価、あるいはテクニカル指標の値が表示されます。

#### 3：手のひらカーソル

ろうそく足チャート、あるいはテクニカル指標エリアにトレンドラインを引く、そのトレンドラインを移動、あるいはコピーする場合には、カーソルが「手のひら型」に変化します。

これを「手のひらカーソル」と呼びます。

「十字カーソル」と「手のひらカーソル」は、自動的に切り替わります。

#### 4：えんぴつカーソル

トレンドラインを引く時のカーソルです。

[CTRL] キー を押すと、トレンドラインが引ける状態になりますが、その時、カーソルが「えんぴつ型」の「えんぴつカーソル」になります。

#### 5：◀カーソル

予想足を描画する時のカーソルです。

---

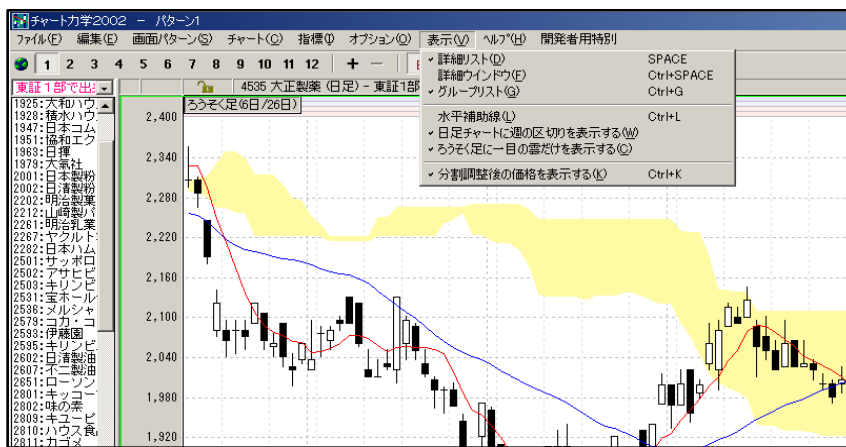
◇2◇「水平補助線」の消去：

---

「十字カーソル」といっしょに表示される「水平補助線」は、消すことができます。

水平補助線を消すには、[表示]メニュー をクリックして、「水平補助線」をクリックします。

クリックするたびに、水平補助線の表示／非表示が切り替わります。



水平補助線の表示／非表示を切り替えるショートカットキーは、  
[CTRL] + [L]  
です。

◆練習◆

---

「水平補助線」の表示／非表示をやってみましょう。

## 6 「ろうそく足」チャート：

### ◇1◇ 「ろうそく足」チャート：

「ろうそく足」チャートは、左右にスクロールすることができます。  
「チャート力学2002」のチャートは、過去10年間バックスクロールして、過去の株価データを見ることができます。

また、チャートの右側には十分な余白がとっており、未来の予測がしやすい画面設計になっています。

### ◇2◇ チャートのスクロール：

チャートをスクロールして、過去と現在を行き来することができます。

#### ◆チャートの左スクロール(過去へ)

チャートを「過去」に戻す、つまり、左側にスクロールするには、[←]キー を押し続けます。

#### ◆チャートの高速(左)スクロール

チャートを高速に「過去」に戻す、つまり左側にスクロールするには、[SHIFT]+[←]

つまり、[SHIFT]キー を押しながら [←]キー を押し続けます。

[SHIFT]キー は、キーボード左手前、[CTRL]キー の上にあります。

[SHIFT]キー は、右側にも、もう1つあります。

#### ◆チャートの右スクロール(未来)へ

チャートを「未来」に進める、つまり右側にスクロールするには、[→]キー を押し続けます。

### ◆チャートの高速(右)スクロール

チャートを高速に「未来」に進める、つまり右側にスクロールするには、  
[SHIFT]+[→]  
つまり、[SHIFT]キーを押しながら[→]キーを押し続けます。

### ◇3◇ チャートの表示幅を変更：

チャートの表示幅を変更することができます。

チャートの表示幅を変更するには、[CTRL]+[→]または、[CTRL]+[←]の操作を行います。

- チャートの表示幅を広くする … [CTRL]+[→]
- チャートの表示幅を狭くする … [CTRL]+[←]

この操作を行うことで、「チャート力学2002」では、日足でも1年以上(使用するディスプレイにより異なります)の表示が可能です。

同様の操作は、[チャート]メニューを開いて、幅1～幅10までの、いずれかを選択することでも行えます。



## 7 チャート画面のアレンジ：

いろいろなチャートを表示する方法を説明します。

### ◇1◇ 指標ボタンと、その意味：

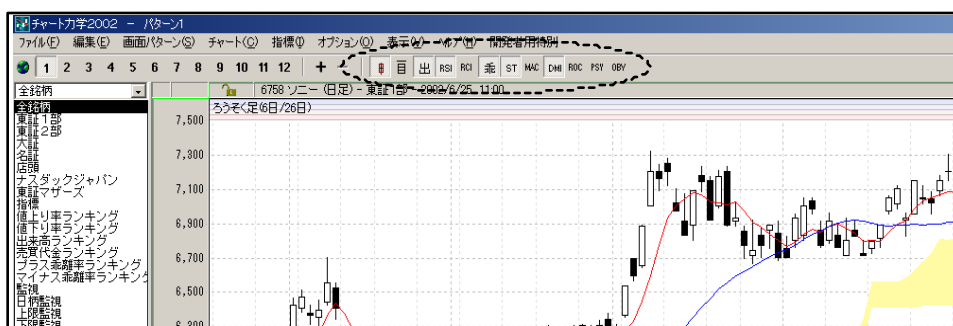
#### 【1】指標ボタンの意味と操作

画面の上の方に、

[ろうそく(絵文字)] [一目] [出] [RSI] [RCI] [乖] [ST] ...

などの小さなボタンが並んでいます。

これらのボタンは「指標ボタン」と呼び、チャートと対応しています。



#### 【2】各「指標ボタン」の説明

・[ろうそく(絵文字)] ... ろうそく足チャートを意味します。

ボタンがへこんだ状態の状態の時には「ろうそく足チャート」を表示し、通常の表示の時には「ろうそく足チャート」は表示されません。

---

マウスでクリックすることにより、「ろうそく足」の表示／非表示を切り替えることができます。

[CTRL] + [F1] キー ([CTRL] キーを押しながら [F1] キーを押す操作) でも、「ろうそく足」の表示／非表示を切り替えることができます。

[CTRL] + [F1] で表示され、もう 1 度同じ操作を行えば非表示となります。

-----  
• [一目] … 一目均衡表を意味します。  
-----

ボタンがへこんだ状態の状態の時には「一目均衡表」を表示し、通常の表示の時には「一目均衡表」は表示されません。

マウスでクリックすることにより、「一目均衡表」の表示／非表示を切り替えることができます。

[CTRL] + [F2] キー ([CTRL] キーを押しながら [F2] キーを押す操作) でも、「一目均衡表」の表示／非表示を切り替えることができます。

[CTRL] + [F2] で表示され、もう 1 度同じ操作を行えば非表示となります。

-----  
• [出] … 出来高の棒グラフを意味します。  
-----

ボタンがへこんだ状態の状態の時には「出来高」の棒グラフを表示し、通常の表示の時には「出来高」の棒グラフは表示されません。

マウスでクリックすることにより、「出来高」の棒グラフの表示／非表示を切り替えることができます。

[CTRL] + [F3] キー ([CTRL] キーを押しながら [F3] キーを押す操作) でも、「出来高」の棒グラフの表示／非表示を切り替えることができます。

[CTRL] + [F3] で表示され、もう 1 度同じ操作を行えば非表示となります。

- 
- [RSI] … RSIを意味します。
- 

ボタンがへこんだ状態の状態の時には「RSI」を表示し、通常の表示の時には「RSI」は表示されません。

マウスでクリックすることにより、「RSI」の表示／非表示を切り替えることができます。

[CTRL] + [F4]キー（[CTRL]キーを押しながら[F4]キーを押す操作）でも、「RSI」の表示／非表示を切り替えることができます。

[CTRL] + [F4]で表示され、もう1度同じ操作を行えば非表示となります。

- 
- [RCI] … RCIを意味します。
- 

ボタンがへこんだ状態の状態の時には「RCI」を表示し、通常の表示の時には「RCI」は表示されません。

マウスでクリックすることにより、「RCI」の表示／非表示を切り替えることができます。

[CTRL] + [F5]キー（[CTRL]キーを押しながら[F5]キーを押す操作）でも、「RCI」の表示／非表示を切り替えることができます。

[CTRL] + [F5]で表示され、もう1度同じ操作を行えば非表示となります。

- 
- [乖] … 乖離率を意味します。
- 

ボタンがへこんだ状態の状態の時には「乖離率」を表示し、通常の表示の時には「乖離率」は表示されません。

マウスでクリックすることにより、「乖離率」の表示／非表示を切り替えることができます。

---

[CTRL] + [F6]キー([CTRL]キーを押しながら[F6]キーを押す操作)でも、「乖離率」の表示/非表示を切り替えることができます。

[CTRL] + [F6]で表示され、もう1度同じ操作を行えば非表示となります。

-----  
• [ST] … ストキャストクスを意味します。  
-----

ボタンがへこんだ状態の状態の時には「ストキャストクス」を表示し、通常の表示の時には「ストキャストクス」は表示されません。

マウスでクリックすることにより、「ストキャストクス」の表示/非表示を切り替えることができます。

[CTRL] + [F7]キー([CTRL]キーを押しながら[F7]キーを押す操作)でも、「ストキャストクス」の表示/非表示を切り替えることができます。

[CTRL] + [F7]で表示され、もう1度同じ操作を行えば非表示となります。

-----  
• [MAC] … MACDを意味します。  
-----

ボタンがへこんだ状態の状態の時には「MACD」を表示し、通常の表示の時には「MACD」は表示されません。

マウスでクリックすることにより、「MACD」の表示/非表示を切り替えることができます。

[CTRL] + [F8]キー([CTRL]キーを押しながら[F8]キーを押す操作)でも、「MACD」の表示/非表示を切り替えることができます。

[CTRL] + [F8]で表示され、もう1度同じ操作を行えば非表示となります。

-----  
• [DMI] … DMIを意味します。  
-----

ボタンがへこんだ状態の状態の時には「DMI」を表示し、通常の表示の時には「DMI」は表示されません。

---

マウスでクリックすることにより、「DMI」の表示／非表示を切り替えることができます。

[CTRL]+[F9]キー([CTRL]キーを押しながら[F9]キーを押す操作)でも、「DMI」の表示／非表示を切り替えることができます。

[CTRL]+[F9]で表示され、もう1度同じ操作を行えば非表示となります。

-----  
• [ROC] … S-ROCを意味します。  
-----

ボタンがへこんだ状態の状態の時には「S-ROC」を表示し、通常の表示の時には「S-ROC」は表示されません。

マウスでクリックすることにより、「S-ROC」の表示／非表示を切り替えることができます。

[CTRL]+[F10]キー([CTRL]キーを押しながら[F10]キーを押す操作)でも、「S-ROC」の表示／非表示を切り替えることができます。

[CTRL]+[F10]で表示され、もう1度同じ操作を行えば非表示となります。

-----  
• [PSV] … サイコロジカルラインを意味します。  
-----

ボタンがへこんだ状態の状態の時には「サイコロジカルライン」を表示し、通常の表示の時には「サイコロジカルライン」は表示されません。

マウスでクリックすることにより、「サイコロジカルライン」の表示／非表示を切り替えることができます。

[CTRL]+[F11]キー([CTRL]キーを押しながら[F11]キーを押す操作)でも、「S-ROC」の表示／非表示を切り替えることができます。

[CTRL]+[F11]で表示され、もう1度同じ操作を行えば非表示となります。

---

-----

- [OVB] … オンバランスボリュームを意味します。

-----

ボタンがへこんだ状態の状態の時には「OBV」を表示し、通常の表示の時には「OBV」は表示されません。

マウスでクリックすることにより、「OBV」の表示／非表示を切り替えることができます。

[CTRL] + [F12]キー（[CTRL]キーを押しながら[F12]キーを押す操作）でも、「OBV」の表示／非表示を切り替えることができます。

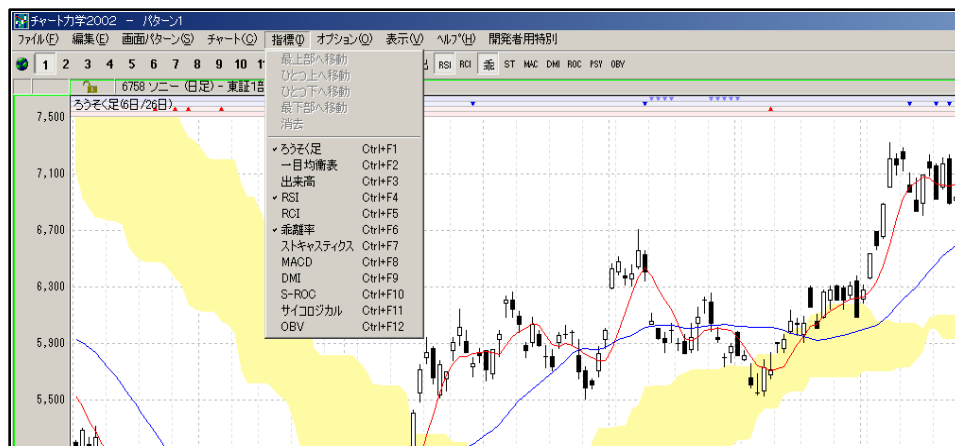
[CTRL] + [F12]で表示され、もう1度同じ操作を行えば非表示となります。

◆練習◆-----

指標ボタンをクリックして、いろいろな指標を表示してみましょう。

◇2◇ [指標]メニュー で指標を表示する：

各種指標は、[指標]メニュー を開いて、表示したい指標を選択して、追加することもできます。

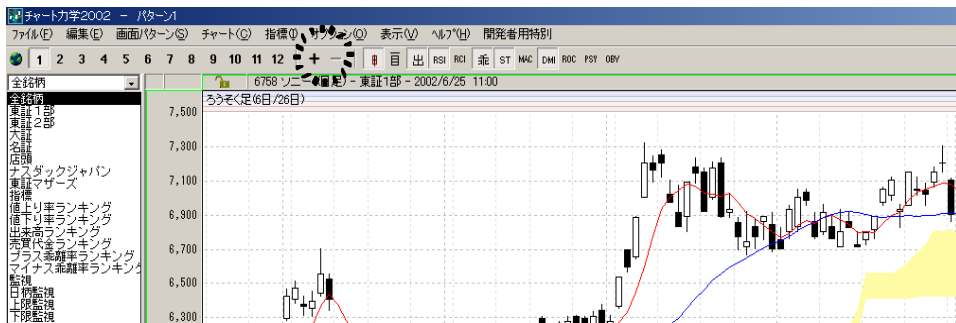


一般的に、「指標ボタン」をクリックするか、  
[CTRL] + [F1]～[F12]を使われる方が、操作は簡単です。

◇3◇ チャート追加／削除ボタン：

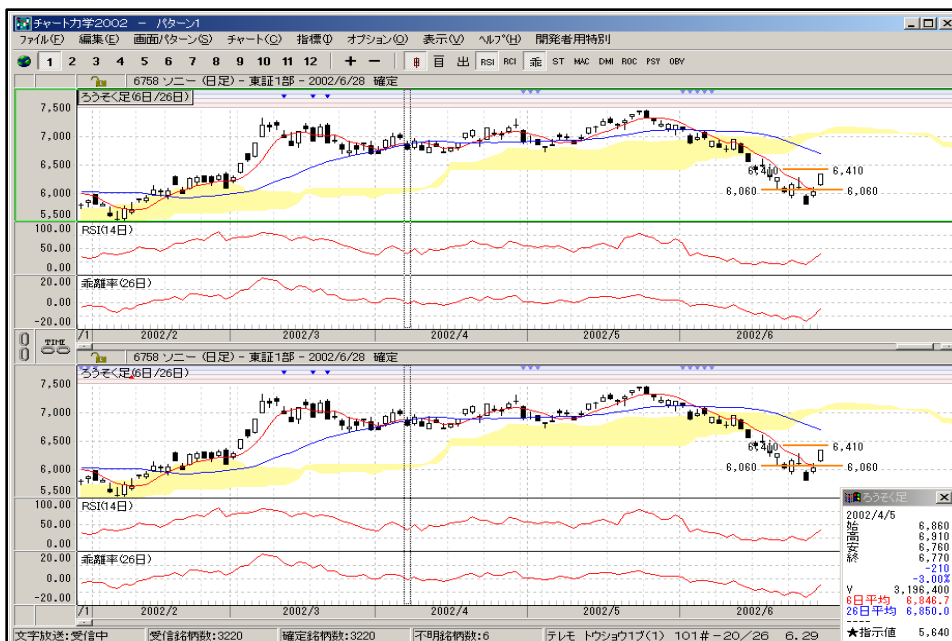
【1】チャート追加／削除ボタンの意味

「チャートカ学2002」の画面上にある[+]のボタンは「チャート追加ボタン」、[-]のボタンは「チャート削除ボタン」です。



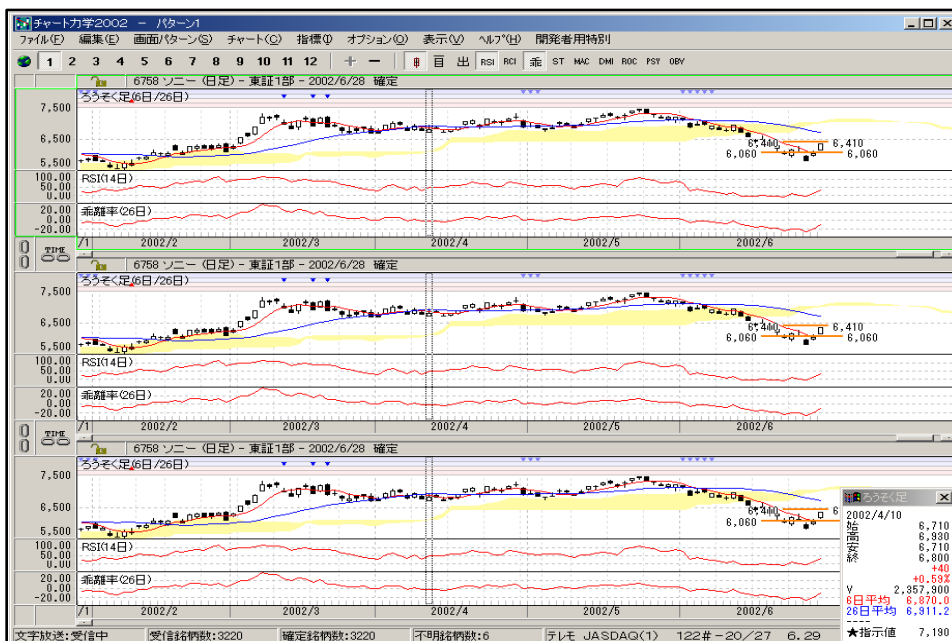
このボタンを押すことで、チャートの追加と削除が行えます。  
下のような表示パターンになっている時に、チャート追加ボタン([+])を押すと、右ページのような表示になります。





つまり、同じパターンのチャートが、もう1セット、下側に追加されるということです。ここで、チャート削除ボタン[-]を押せば、左ページのような表示パターンに戻ります。

チャート表示ボタン[+]を、続けて2回押すと、下の図のようになります。



◇4◇ フォーカス：

「フォーカス」とは「焦点」の意味です。  
「チャート力学2002」では、ろうそく足、または指標を、同時に12表示することができますが、表示されている、ろうそく足、または指標のどこかに、フォーカスがあります。

フォーカスが当たっている(ある)領域(エリア)→タイトルが灰色表示

になります。

また、フォーカスが当たっている領域は、そのエリア全体が、グリーンの枠で囲まれます。

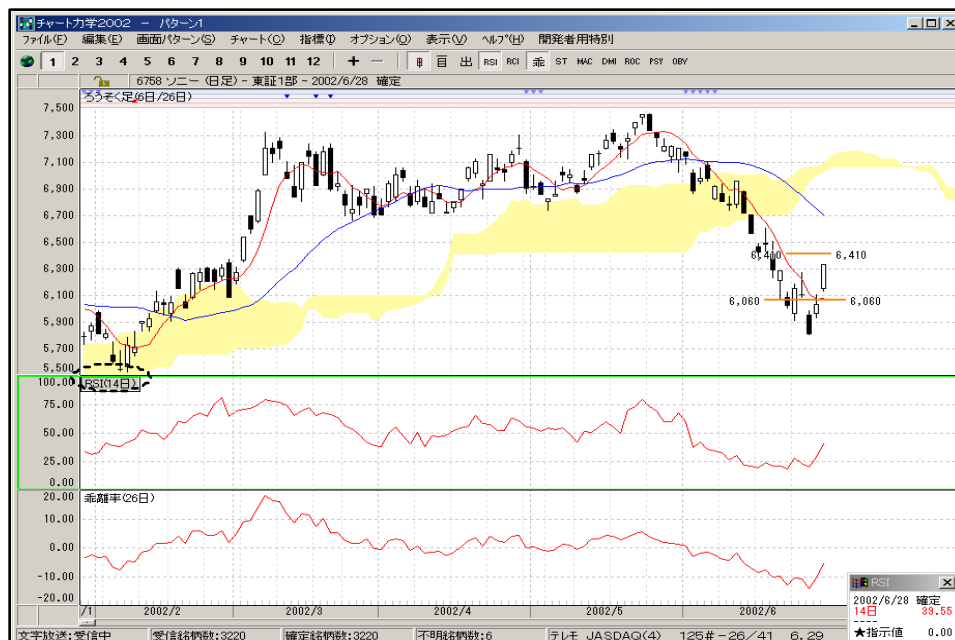
◆フォーカスの「ある／なし」の区別

たとえば「ろうそく足」に「フォーカス」がある場合、「ろうそく足」のタイトル部分の表示が四角で囲まれ、灰色になっています。

下の図では、最上段の「ろうそく足」にフォーカスがあります。



下の図では、真ん中の段の「RSI」にフォーカスがあります。「RSI」のタイトルが灰色になり、「RSI」のエリアが緑色の枠で囲まれています。



フォーカスがない場合、タイトルは「透明表示」になります。

- ろうそく足(6日/26日)** ... フォーカスあり
- ろうそく足(6日/26日) ... フォーカスなし

ということです。

#### ◆フォーカスの移動

フォーカスを移動させるには、フォーカスをあてたい領域(エリア)のどこかにマウスポインタを合わせて、クリックします。

#### ◆練習◆

フォーカスを移動させてみましょう。

◇5◇ フォーカスと「指標」または「チャート」の追加の関係：

「チャート力学2002」で、チャートやテクニカル指標を追加する場合、フォーカスが当たっている領域(エリア)の下に、新しいチャート、またはテクニカル指標のエリアが追加されます。

◇6◇ 「指標」または「チャート」の移動：

表示されているチャート、または指標のエリアでマウスを右クリックしますと、次のようなサブメニューが表示されます。

ここで、上から3段目の「指標」というところにマウスポインタを移動しますと、さらにサブメニューが表示され、指標の移動と追加/削除が行えます。



同様の操作は [指標]メニュー から可能ですが、右クリックによる操作を覚えると、便利です。

## ◇7◇ 練習1 :

問題：次のチャートを表示してみましょう。

1段目：ろうそく足

2段目：RSI

3段目：出来高

ヒント：「チャートの操作」で大切なのは、  
「今、どの指標にフォーカスがあるか？」です。

**フォーカスが当たっている領域→タイトルが灰色表示**

になります。

たとえば「ろうそく足」に「フォーカス」がある場合、「ろうそく足」のタイトル部分の表示が四角で囲まれ、灰色になっています。フォーカスがない場合、タイトルは「透明表示」になります。

**ろうそく足(6日/26日)** … フォーカスあり  
ろうそく足(6日/26日) … フォーカスなし

「ろうそく足」にフォーカスがある状態で、[RSI]のボタンを押しますと、ろうそく足の下に「RSI」が表示されます。

- 回答：① 指標ボタンをクリックして、よぶんなテクニカル指標をいったん消し、「ろうそく足」だけの表示にします。  
② 次に[RSI]のボタンをクリックします。  
③ 次に[出]のボタンをクリックします。

---

◇8◇ 練習2 :

---

問題：指標の並べ替えをしてみましょう。練習1で作ったチャートを、

- 1段目：出来高
- 2段目：RSI
- 3段目：ろうそく足

のように、並べ替えてみてください。

ヒント：動かしたい指標に「フォーカス」を当てます。

「フォーカス」を当てるには、その指標の領域(どこでもかまいません)でマウスをクリックします。

「フォーカス」を当てたあとで、

[ファイル][編集][画面パターン][チャート][指標]…

と並んでいるメニューの中の[指標]をクリックすると、指標を移動するためのメニューが出てきます。

回答：①「ろうそく足」に「フォーカス」があるか、確認します。

「ろうそく足」という部分が灰色の表示になっていれば、フォーカスがあることとなります。

② [指標]メニューをクリックして、「最下部へ移動」をクリックします。

「ろうそく足」がチャートの一番下に来ます。

③ 次に「出来高」に「フォーカス」を当てます。

「出来高」のグラフが表示されている領域のどこかで、マウスをクリックすればOKです。

④ 「出来高」にフォーカスを当てたら、[指標]メニューをクリックして、「ひとつ上に移動」または「最上部へ移動」をクリックします。

これで、

1段目：出来高、2段目：RSI、3段目：ろうそく足  
というチャートができました。

※いろいろなチャートを作って、操作に慣れてください。

## 8 指標のアレンジ(移動平均線を増やす／減らす／他) :

◇1◇ 移動平均線を増やす／減らす :

移動平均線を増やしたり減らしたりすることができます。  
 チャートの左上にある、チャートの「タイトル」、つまり、

**ちうそく足(6日/26日)**

の部分をクリックします。



すると、移動平均線のリストが出てきます。

- ✓ 移動平均(6日)
- ✓ 移動平均(26日)
- 移動平均(75日)
- 移動平均(150日)
- 移動平均(200日)
- 移動平均(250日)

今表示されている移動平均線には、チェック ✓ が入っています。

ここでチェックを付れたり、はずしたりすることで、表示する移動平均線の数と種類を変えることができます。

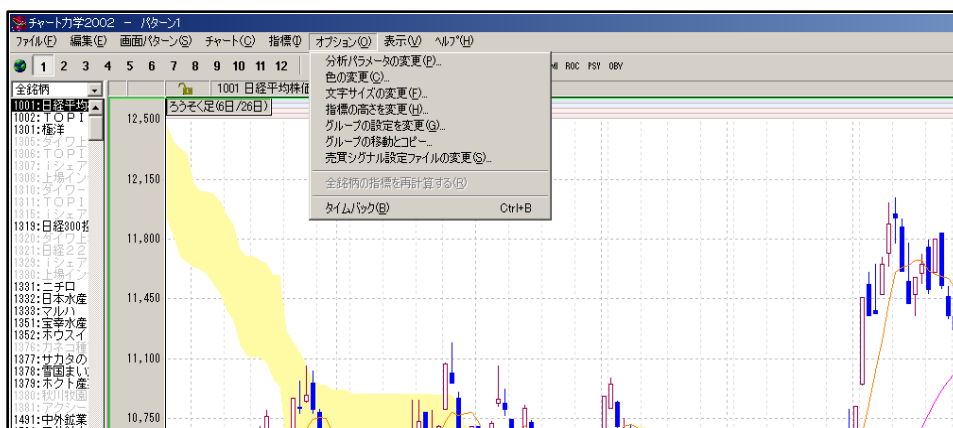
---

◇2◇ 移動平均線の日数を変える：

---

移動平均線の日数は自由に変更することができます。  
ただし最大で300日(週、月)です。

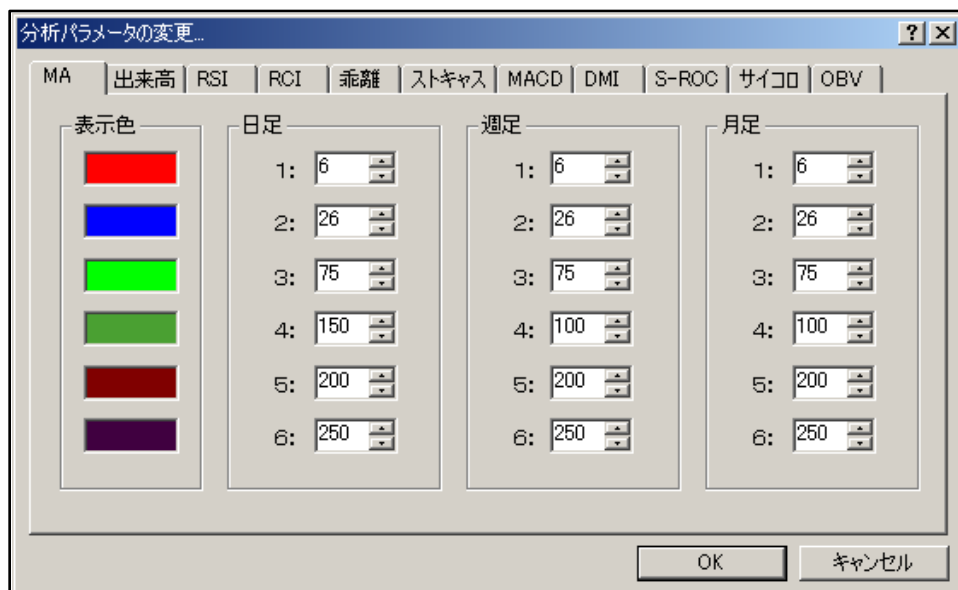
移動平均線の日数を変えるには、  
[オプション]メニューから[分析/パラメータの変更]を選びます。  
このページで、すべての指標の計算日数と表示色を自由に変えることができます。



変更したい指標のページタブ(見出)をクリックして、数値を▼または▲ボタンで変更します。

数値を直接入力して変更することもできます。

変更が終わったら [OK]ボタン をクリックします。



「分析パラメータの変更」ダイアログでは、表示色の変更も自由に行うことができます。

ご自身の見やすい色に、表示色を変更して、より快適に「チャート力学2002」をお使いください。

## 9 日足/週足/月足の切り替え：

◇1◇ 日足/週足/月足を切り替える：

「チャート力学2002」では、簡単に日足/週足/月足を、簡単に切り替えることができます。

◇2◇ 週足を表示する：

デフォルト(最初の状態)では「日足」が表示されています。  
[チャート]メニューをクリックして、



- ✓ 日足
- 週足
- 月足

の、「週足」をクリックすると、表示されている「ろうそく足」が「週足」に変わります。

この操作をもっと簡単に行うには、ショートカットキーを使います。  
[CTRL] + [W]

つまり、[CTRL]キーをおしながら、アルファベットの[W]キーを押す操作を行うことで、「週足」を表示する(週足に切り替える)ことができます。

週足は週、つまり week のチャートだから、[CTRL]+[W]キーと覚えておくと便利です。

ここで [チャート]メニュー をクリックしてみると、

日足  
v 週足  
月足

のように「週足」にチェックが入った状態になっています。  
「今、週足を表示していますよ」ということです。

※チャートを「日足」から「週足」に切り替えると、同時に表示されているテクニカル指標も、すべて「週足」のものに変わります。  
なお、テクニカル指標の数値は「日足」、「週足」、「月足」で、それぞれ個別に設定することができます。

-----  
◇2◇ 月足を表示する：  
-----

デフォルト(最初の状態)では「日足」が表示されていますが、今の操作で、チャートは「週足」に切り替わっているはずですが。

ここで前頁と同様に [チャート]メニュー をクリックして、

v 日足  
週足  
月足

の、「月足」をクリックすると、表示されている「ろうそく足」が「月足」に変わります。

この操作をショートカットキーで行うには、

[CTRL]+[M]

つまり、[CTRL]キーをおしながら、アルファベットの [M]キー を押す操作

---

を行うことで、「月足」を表示することができます。

月足は月、つまり month のチャートだから、[CTRL]+[M]キー と覚えておくと便利です。

ここで [チャート]メニュー をクリックしてみると、

日足  
週足  
v 月足

のように「月足」にチェックが入った状態になっています。  
「今、月足を表示していますよ」ということです。

※チャートを「日足」から、あるいは「週足」から「月足」に切り替えると、同時に表示されているテクニカル指標も、すべて「月足」のものに変わります。  
なお、テクニカル指標の数値は「日足」、「週足」、「月足」で、それぞれ個別に設定することができます。

---

◇3◇ 日足を表示する(表示を戻す) :

---

今の操作で、チャートは「月足」に切り替わっているはずですが。  
ここで[チャート]メニューをクリックして、

日足  
週足  
v 月足

の、「日足」をクリックすると、表示されている「ろうそく足」が「日足」に変わります。(もどります)

この操作をショートカットキーを使って行うには、  
[CTRL]+[D]  
([CTRL]キーをおしながら、アルファベットの[D]キーを押す操作)を行います。  
これで表示が「日足」に戻ります。

日足は日、つまりdayのチャートだから、[CTRL]+[D]キーと覚えておくと便利です。

※チャートを「月足」から「日足」に切り替えると、同時に表示されているテクニカル指標も、すべて「日足」のものに変わります。

---

◇4◇ チャートを切り替える：

---

以上のように、「チャート力学2002」では、簡単に、「日足」「週足」「月足」を切り替えることができます。

もっとも簡単なのは、  
[CTRL]+[D]または[W]または[M]の「ショートカットキー」を使って、チャートを切り替える操作方法です。

[CTRL]+[D] … 日足を表示

[CTRL]+[W] … 週足を表示

[CTRL]+[M] … 月足を表示

と覚えて、チャートの切り替えに慣れましょう。

---

## 10 やや複雑なチャート表示①：

◇1◇ 月足／週足／日足の同時表示：

「チャート力学2002」では、

- 1 段目：月足
- 2 段目：週足
- 3 段目：日足

というようなチャートも、簡単に作成することができます。

こうしたチャートを、実際に作ってみましょう。

やはり[6758ソニー]で作ってみることにしましょう。

操作：① キーボードから[6758](数字のみ)を打ち込み、[Enter]を押し、ソニーのチャートを表示します。

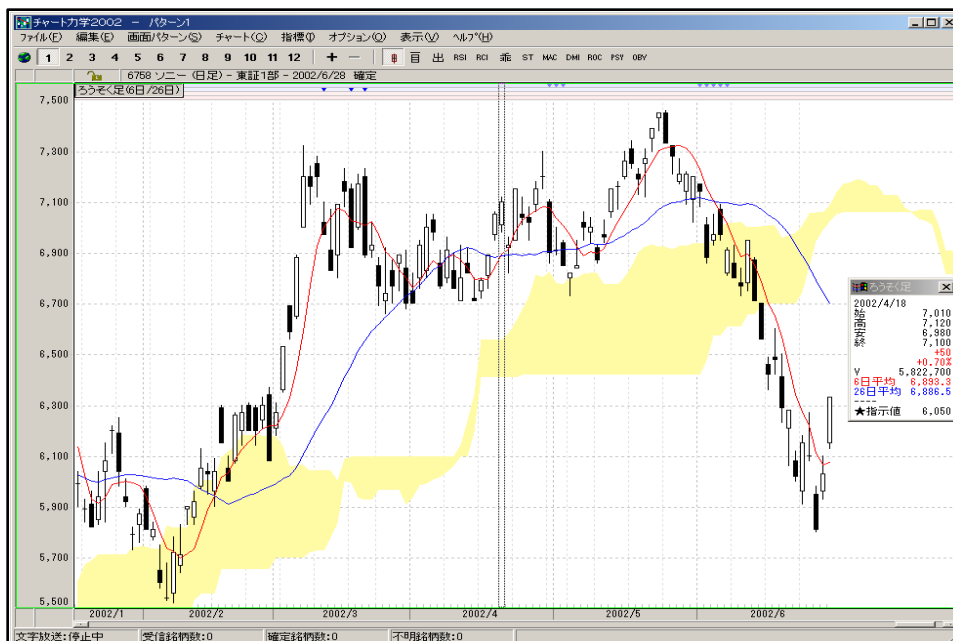
② ここでは、「日足チャート」のみを表示して、「RSI」や「出来高」のグラフは消しておきます。「RSI」や「出来高」のグラフを消すには、「チャート力学2002」の上に並んでいる「指標ボタン」をクリックします。

たとえば「RSI」を消すには、[RSI]のボタンをクリックします。

[CTRL]+[F4]キーでも、同様の操作ができます。

③ チャートは「日足」だけになりましたか？  
もしも「週足」や「月足」が表示されている場合は、  
[CTRL]+[D]キー を押して、日足に戻します。

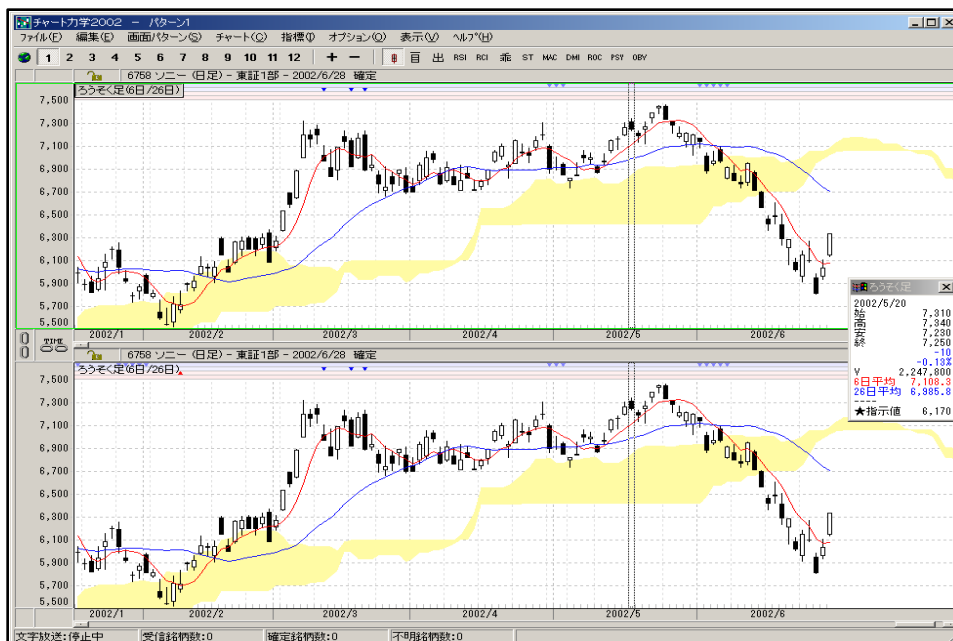
この段階で、チャート画面は、右のような状態になっているはずで  
す。



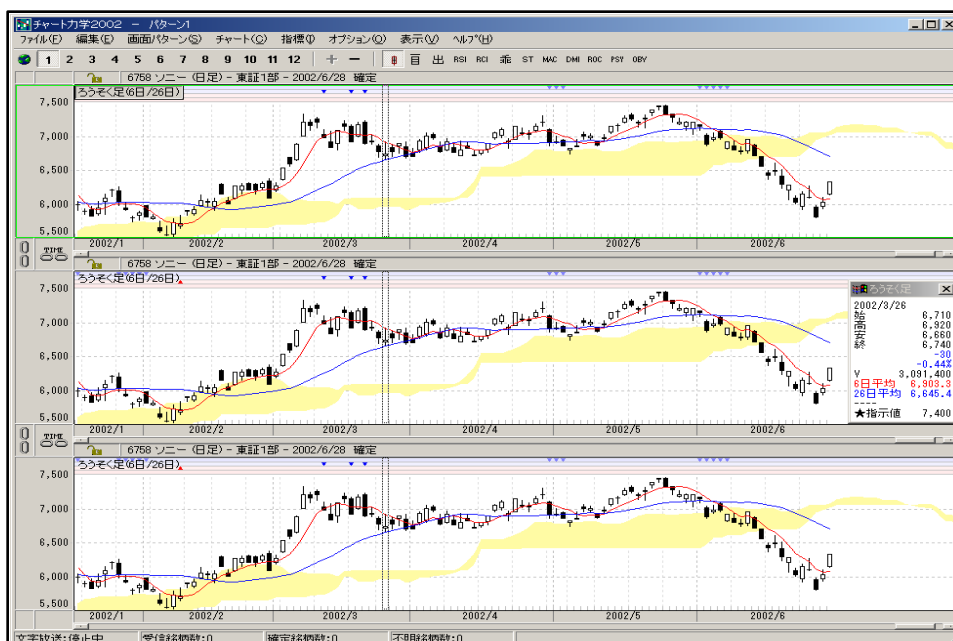
では、ここで、もう1つ「日足チャート」を増やします。  
 「チャート力学2002」の上の方に、  
 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 という数字ボタンが並んで  
 います。(ここでは、まだ「数字ボタン」はクリックしないで  
 ください)

この「数字ボタン」の右側に[+][−]のチャート追加／削除ボタ  
 ンがあります。  
 この[+]ボタンをクリックしてください

[6758ソニー]の「日足チャート」の下に、もう1つ[6758ソニー]の  
 日足チャートが表示されたはずです。



- ④ ここで、もう一度[+]ボタンを押します。  
 そうすると、[6758ソニー]の「日足チャート」が、もう1つ表示されます。



つまり、この段階で[6758ソニー]の3つの日足チャートが表示されているはずですが。

- ⑤ 一番上のチャートを「月足」にします。  
一番上のチャートの領域のどこかをクリックして、一番上のチャートにフォーカスを移動します。  
ここで、  
[CTRL]+[M]  
の操作をします。  
[チャート]メニューの中から「月足」をクリックしても同様の操作となります。  
これで、一番上のチャートが月足になりました。

- ⑤ 二番目のチャートを「週足」にします。  
二番目のチャートの領域のどこかをクリックして、二番目のチャートにフォーカスを移動します。  
ここで、  
[CTRL]+[W]  
の操作をします。  
[チャート]メニューの中から「週足」をクリックしても同様の操作となります。  
これで、一番上のチャートが週足になりました。

以上で、

- 1 段目：月足
- 2 段目：週足
- 3 段目：日足

というチャートができました。

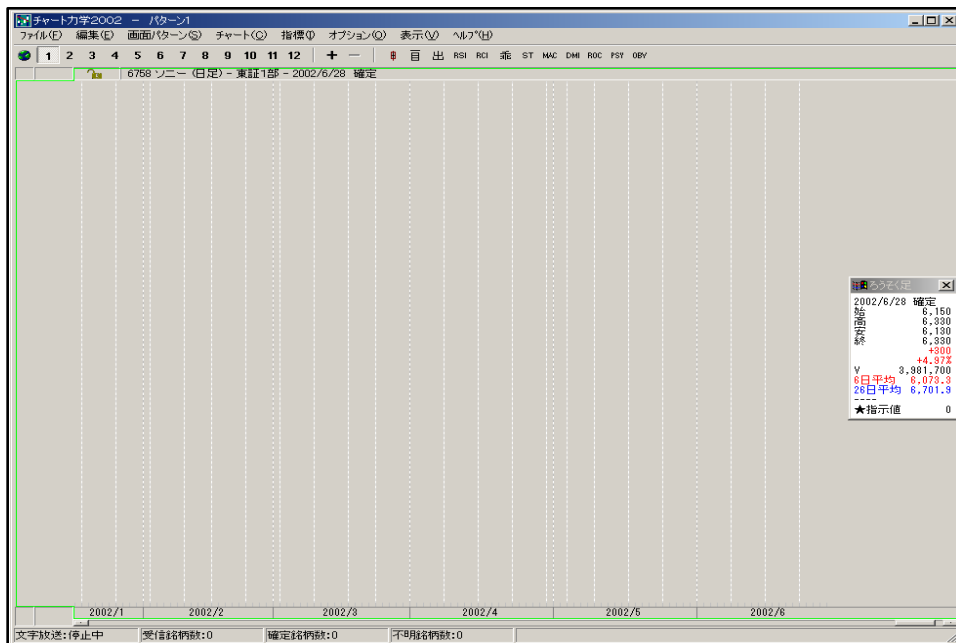
## 11 やや複雑なチャート表示②：

では次に、

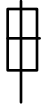
- 1 段目：週足
- 2 段目：週足のRSI
- 3 段目：日足
- 4 段目：日足のRSI

という、ちょっと複雑なチャートを表示してみましょう。

操作：①「指標ボタン」をいくつか押して、画面から、チャートと指標をすべて消去してグレーのグリッド(縦線)だけが表示されるようにします。

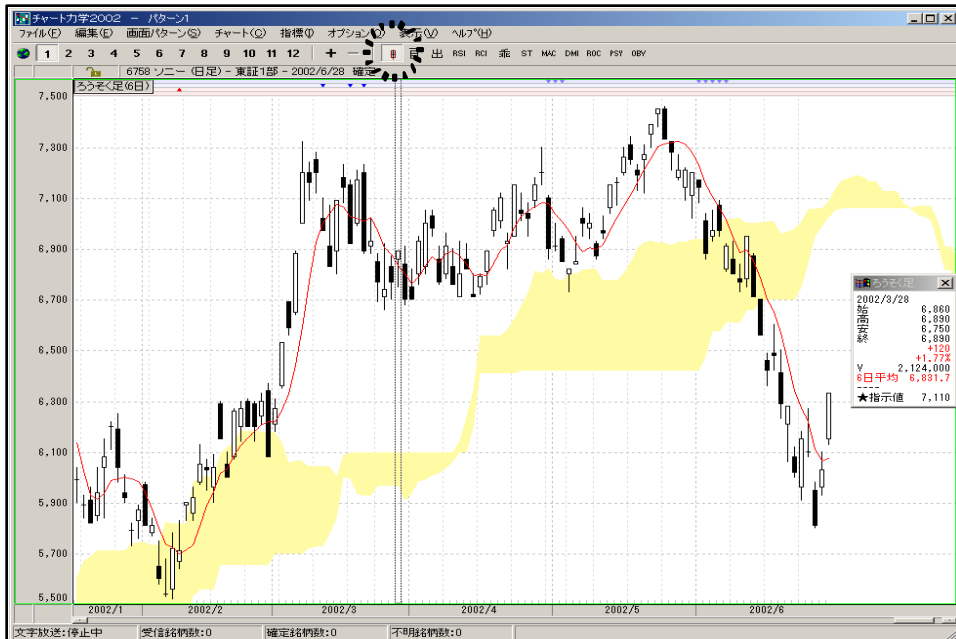


② [ろうそく足(絵文字)]ボタンを押して、ロウソク足を表示します。



銘柄は何でもかまいません。

自分の好きな銘柄を表示したい場合は、コードを入れます。



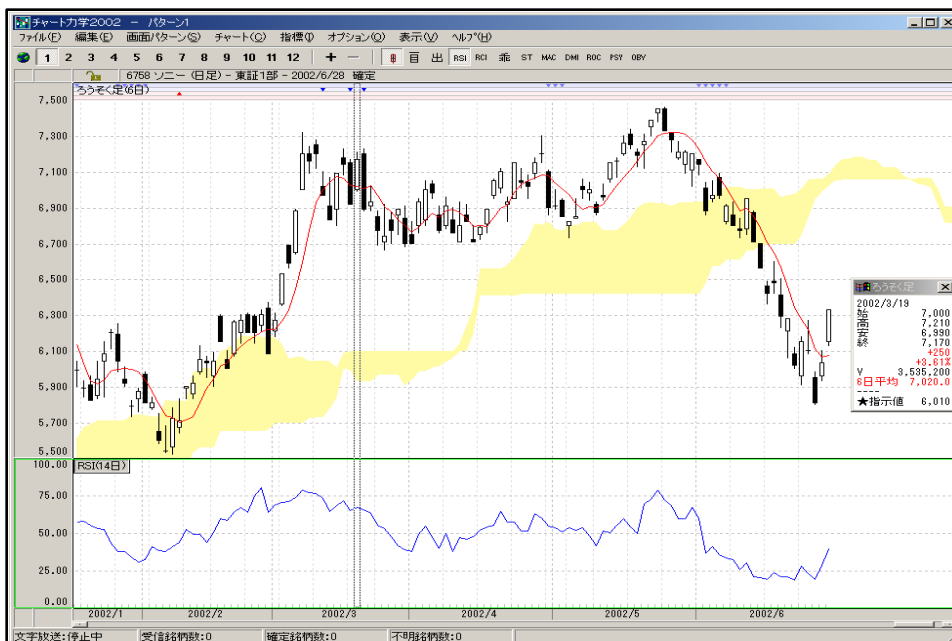
③ ここで「指標ボタン」の中の[RSI]を押します。

「RSI」のチャートが追加され、チャートは、

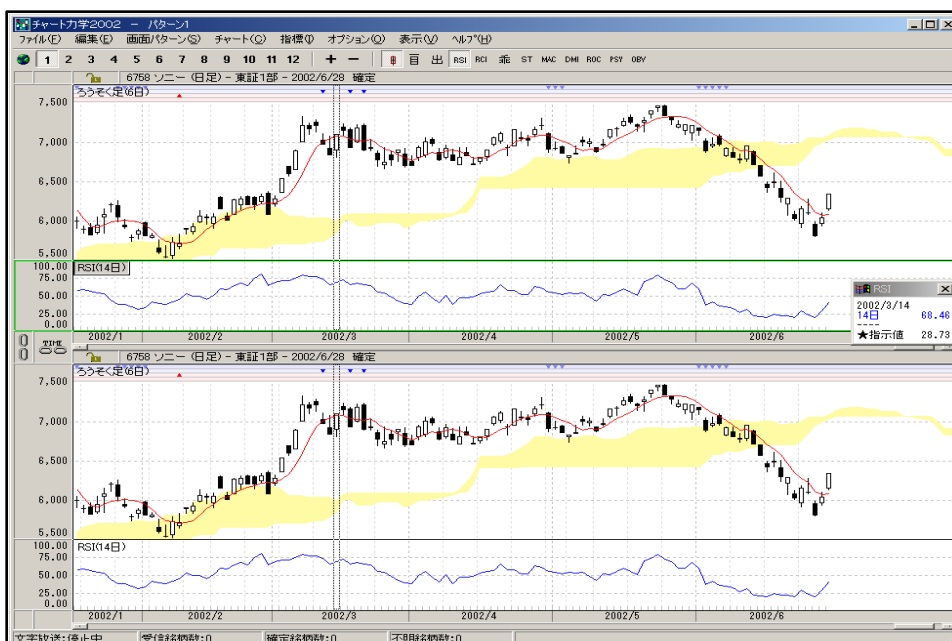
1 段目：日足チャート

2 段目：日足のRSI

という表示になりました。



- ④ 次に、ツールバーの[+]ボタンを押します。  
 [チャート]メニューの中の[チャートを追加]をクリックしても同様  
 です。



この段階で、

- 1 段目：日足チャート
- 2 段目：日足のRSI
- 3 段目：日足チャート
- 4 段目：日足のRSI

となりました。(左ページ下図)

- ⑤ ここで、1 段目の日足チャートにフォーカスを当てます。  
1 段目の日足チャートの領域のどこかでマウスをクリックすれば、  
1 段目の日足チャートにフォーカスが当たります。

1 段目の日足チャートにフォーカスが当たったら、  
[CTRL]+[W]  
で、1 段目の日足チャートを「週足チャート」に切り替えます。

この時、自動的に、2 段目の「日足のRSI」が、「週足のRSI」に変わります。

これで、目的のチャートパターン、つまり、

- 1 段目：週足
- 2 段目：週足のRSI
- 3 段目：日足
- 4 段目：日足のRSI

ができました。

---

◆ポイント◆-----

チャート力学では、[+]ボタンを押したり、[チャート]メニューから[チャートを追加]を選んだ場合、チャートを追加する前のチャートパターンと同じチャートパターンが追加されます。

つまり、

- 1 段目：日足チャート
- 2 段目：日足のRSI

という状態でチャートを追加すると、

- 1 段目：日足チャート
- 2 段目：日足のRSI
- 3 段目：日足チャート
- 4 段目：日足のRSI

となり、

- 1 段目：日足チャート
- 2 段目：日足のRSI
- 3 段目：日足の出来高

という状態でチャートを追加すると、

- 1 段目：日足チャート
- 2 段目：日足のRSI
- 3 段目：日足の出来高
- 4 段目：日足チャート
- 5 段目：日足のRSI
- 6 段目：日足の出来高

となります。

## 12 銘柄リンク機能／タイムリンク機能：

### ◇1◇ 銘柄リンク機能：

106ページまでで作った

- 1 段目：週足
- 2 段目：週足のRSI
- 3 段目：日足
- 4 段目：日足のRSI

のチャートパターンのみで、チャートをめくると、フォーカスが当たっているチャートの表示だけが変わり、フォーカスの当たっていないチャートはそのままです。

ここで、

- 1 段目：週足
- 2 段目：週足のRSI
- 3 段目：日足
- 4 段目：日足のRSI

のチャートパターンのみで、チャートをめくる(銘柄を変える)には、「銘柄リンク機能」を使います。

「銘柄リンクボタン」は、チャートとチャートの継ぎ目の左側にある 8 形のボタンです。

「銘柄リンクボタン」を押しますと、「銘柄リンクボタン」形状が変わり(つながったような絵になります)、「銘柄リンク」がONになります。

この状態で[↓]または[↑]キーを使ってチャートをめくりますと、表示されているチャートのすべての銘柄が同時に変わります。

もう一度「銘柄リンクボタン」を押すと「銘柄リンク」がOFFになり、ボタンの形状が「くさり切れた」ようになります。

この状態でチャートめくりの操作を行った時、フォーカスの当たっているチャートだけがめくられます。下は、「銘柄リンク機能」がOFFの状態です。



「銘柄リンクボタン」をクリックして、銘柄リンク機能をONにしました。



## ◇◇ タイムリンク機能：

この状態で、[→]キーまたは[←]キーで、チャートを横スクロールしますと、フォーカスが当たっているチャートだけがスクロールされ、フォーカスの当たっていないチャートはそのままです。

「チャート工学2002」では、両方のチャートを時間軸をそろえてスクロールすることができます。

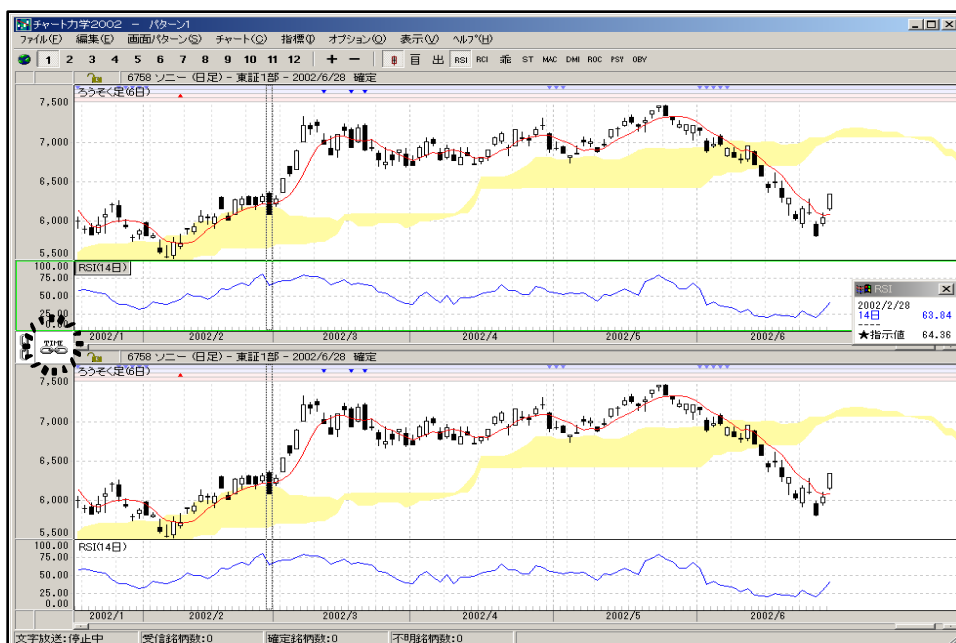
時間軸をそろえてスクロールするためには「タイムリンクボタン」をクリックします。

「タイムリンクボタン」は、チャートとチャートの継ぎ目の左側にある ∞ 形のボタンです。「TIME」の文字もついています。

「タイムリンクボタン」を押しますと、「タイムリンクボタン」形状が変わりくさりがつながったような絵になります。

これで「タイムリンク」がONになりました。

この状態で[←]キーまたは[→]キーを使ってチャートをめくりますと、表示されているチャートのすべての銘柄が同時にスクロールします。



もう一度「タイムリンクボタン」を押すと「タイムリンク」がOFFになり、ボタンの形状が「くさりが切れた」ようになります。

この状態でチャートめくりの操作を行った時、フォーカスの当たっているチャートだけがめくられます。

◇3◇ タイムリンク表示について：

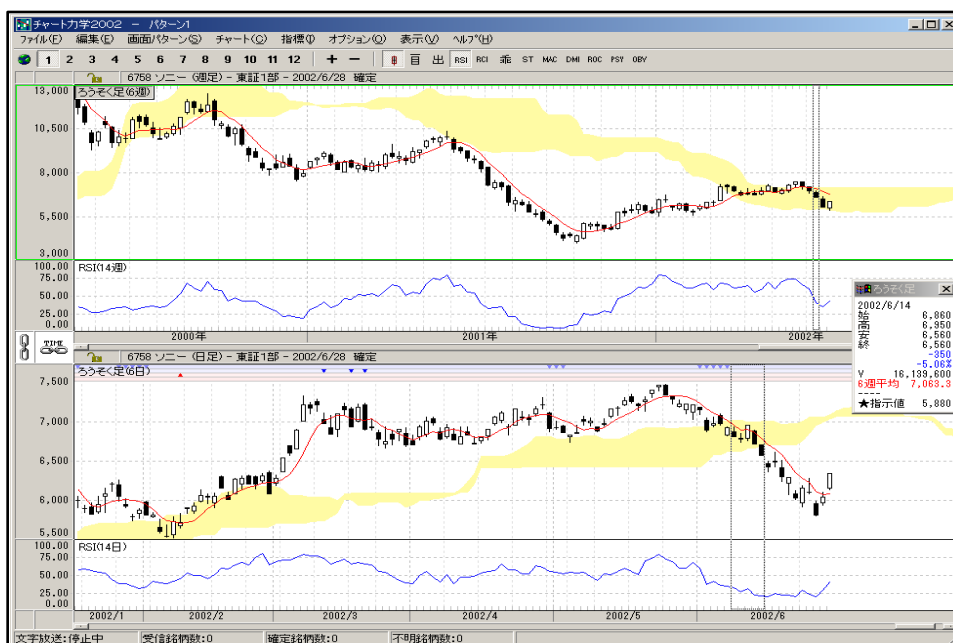
「チャート力学2002」では、たとえば週足と日足の関連がつかみやすいように、「タイムリンク表示」機能が付いています。

たとえば、

- ・ 1 段目：週足チャート(ろうそく足)
- ・ 2 段目：日足チャート(ろうそく足)

という表示にしておき、週足チャートの1本の「ろうそく」にカーソルを合わせると、カーソルを合わせた週足の1本の「ろうそく」に対応する、日足の5本(祭日などが含まれた時は4本以下)の「ろうそく」が囲まれて表示されます。

この表示は、「月足と週足」、「月足と週足と日足」などの時にも有効です。この機能により、日足と週足、週足と月足の連関が鮮明にわかります。



**13 画面パターン機能：**

## ◇1◇ 画面パターン：

「チャート力学2002」では、

- 1段目：ろうそく足(日足)
- 2段目：RSI(14日)
- 3段目：出来高

のようなチャートの1つのチャートの「セット」を、「パターン」と呼びます。

実は、ここまで、操作してきたのは、すべて「パターン1」のチャートでした。「チャート力学2002」では、全部で12のチャートパターンを作り、瞬時に切り替えて利用することができます。

この機能を使うことにより、たとえば

**【パターン1】**

- 1段目：ろうそく足(日足、移動平均線6,26)
- 2段目：RSI(14日)
- 3段目：出来高

**【パターン2】**

- 1段目：ろうそく足(日足、移動平均線6日、26日、250日)
- 2段目：ストキャスティクス
- 3段目：MACD

**【パターン3】**

- 1段目：ろうそく足(週足、移動平均線6週、26週)
- 2段目：RSI(14日)
- 3段目：出来高

---

のような、異なるパターンのチャートを作っておいて、瞬時に切り替えて多角的な分析を行うことができます。

-----  
◇2◇ 異なるパターンのチャートを作って切り替える：  
-----

では、今説明したことを、実際にやってみましょう。

まずは【パターン1】のチャートを作ります。

① 最初に、

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

と並んでいる「チャートパターン・ボタン」の1が押されている状態になっていることを確認します。

[画面パターン]メニューで、「パターン1」にチェック v が入っていることを確かめることでも、同様の確認ができます。

※ここまでで、「チャートパターン・ボタン」を一度も操作さしていなければ、1が押された状態になっているはずです。

「チャートパターン・ボタン」の1が押されている状態で操作するということは、これから「チャートパターン1」を作る、ということです。

② では、最初に、【パターン1】の画面で、

1 段目：ろうそく足(日足、移動平均線6, 26)

2 段目：RSI (14日)

3 段目：出来高

という表示パターンを作ります。

現在、週足と日足の同時表示パターンになっているかもしれません。

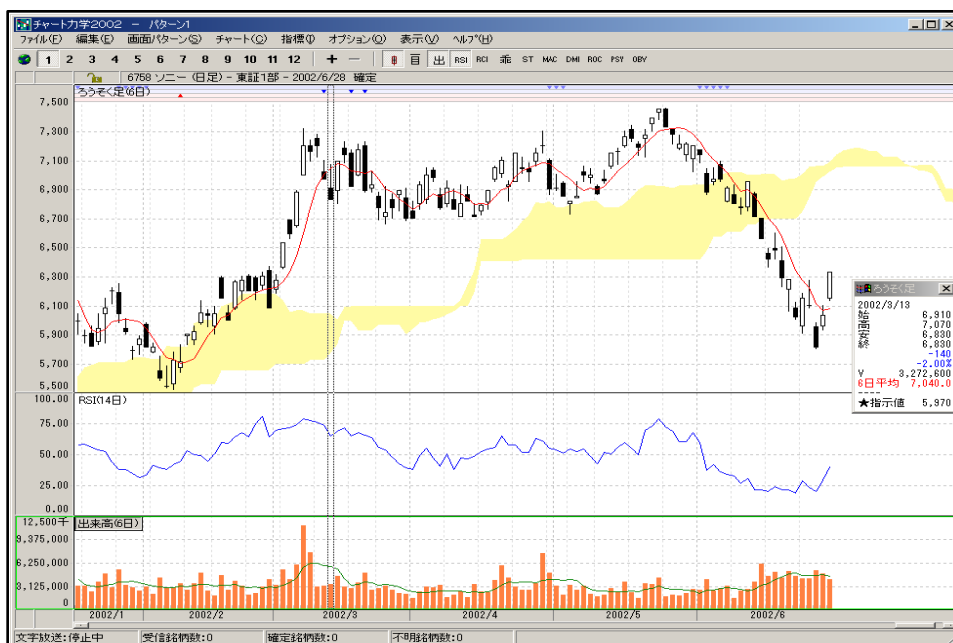
週足、または日足を削除して、「ろうそく足」を1つにするには、[-]ボタンをクリックします。

そのほかの指標は、「指標ボタン」をクリックするか、

[CTRL]+[F1]~[F12]キーを押して、表示/非表示します。

- ③ 1 段目：ろうそく足(日足、移動平均線6, 26)
- 2 段目：RSI (14日)
- 3 段目：出来高

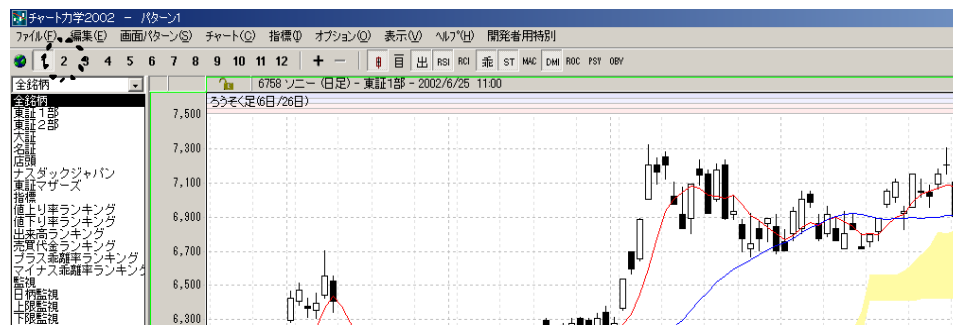
という表示パターンができました。



1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

と並んでいる「チャートパターン・ボタン」の 2 を押します。

「チャートパターン・ボタン」の 2 を押した状態で、「パターン2」のチャートを作ります。



---

[画面パターン]メニューで、「パターン2」にチェック v が入っていることを確かめることでも、同様の確認ができます。

次に作る【パターン2】は、

- 1 段目：ろうそく足(日足、移動平均線6日、26日、250日)
- 2 段目：ストキャスティクス
- 3 段目：MACD

というものです。

同様に「指標ボタン」や[+][-]ボタンを操作して、目的のチャートパターンを作ります。

移動平均線を増やすには、  
チャートの左上にある、チャートの「タイトル」、つまり、

**ろうそく足(6日/26)**

の部分をクリックします。

すると、移動平均線のリストが出てきます。

- v 移動平均(6日)
- v 移動平均(26日)
- 移動平均(75日)
- 移動平均(150日)
- 移動平均(250日)

今表示されている移動平均線には、チェック v が入っています。  
ここでチェックを付けたり、はずしたりすることで、表示する移動平均線の数と種類を変えることができます。  
ここでは、「移動平均線(250日)」にチェックを入れます。

④ 切り替えの確認をします。

【パターン2】ができれば、[F1]キー を押してみてください。  
一瞬にして、チャートが【パターン1】に戻ったはずですが。

そこで[F2]キー を押します。  
こんどは一瞬にして、チャートが【パターン2】に戻ります。

「チャート力学2002」では、このようにして、チャートパターンを簡単に切り替えることができます。

チャートパターンの切り替えは、  
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12  
と並んでいる「画面パターン・ボタン」を押すか、[F1]～[F12]のキーを使うか、[画面パターン]メニューから、画面パターンを選びます。

- ⑤ では、次に、  
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12  
と並んでいる「チャートパターン・ボタン」の 3 を押します。  
「チャートパターン・ボタン」の 3 を押した状態で、「パターン3」のチャートを作ります。

[画面パターン]メニューで、「パターン3」にチェック  が入っていることを確かめることでも、同様の確認ができます。

最後につくる【パターン3】は、

- 1 段目：ろうそく足(週足、移動平均線6週、26週)
- 2 段目：RSI (14日)
- 3 段目：出来高

というものです。

- ⑥ 【パターン3】ができれば切り替えの確認をします。

[F1]キーを押す … 【パターン1】が表示される  
[F2]キーを押す … 【パターン2】が表示される  
[F3]キーを押す … 【パターン3】が表示される

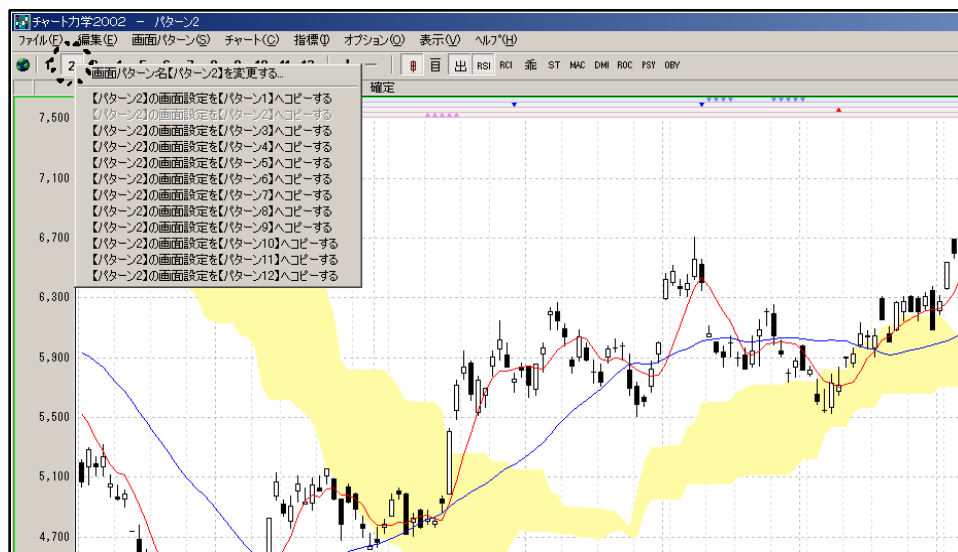
という操作をやってみて、切り替えの確認をしてみてください。

---

◇3◇ 画面パターンのコピー機能：

---

作った画面パターンは、ほかの画面にコピーすることができます。  
画面パターンをコピーするには、「画面パターンボタン」の上にマウスマウスカーソルを合わせて右クリックします。  
そうすると、下の図のような、コピーメニューが現れます。



メニューの中から希望の操作を選んでクリックすれば、画面パターンがコピーされます。

## 14 チャートの固定表示：

### ◇1◇ チャートパターンと銘柄の関係：

チャートパターンと銘柄との関係を説明します。  
たとえば、

#### 【パターン1】

- 1 段目：ろうそく足(日足、移動平均線6, 26)
- 2 段目：RSI (14日)
- 3 段目：出来高

#### 【パターン2】

- 1 段目：ろうそく足(日足、移動平均線6日、26日、250日)
- 2 段目：ストキャスティクス
- 3 段目：MACD

#### 【パターン3】

- 1 段目：ろうそく足(週足、移動平均線6週、26週)
- 2 段目：RSI (14日)
- 3 段目：出来高

という状態で、たとえば【パターン1】の画面に切り替えて銘柄を「めくる」(変える)と、【パターン2】に切り替えた時も、今【パターン1】で表示していた銘柄になります。

つまり、【パターン1】でチャートをめくる(銘柄を変える)と、

- 【パターン2】の銘柄も変わる
- 【パターン3】の銘柄も変わる
- 【パターン4】の銘柄も変わる

... ..

ということになります。

ここで、たとえば、「この銘柄だけは、固定しておきたい」という使い方がし  
たくなる場合があります。

その場合は「銘柄固定機能」を使います。

◇2◇ 銘柄固定機能：

チャートめくりを行っても、その銘柄だけはいつも「固定」しておきたいとい  
う場合、「銘柄固定機能」を使います。

チャートのタイトル、つまり、

**ろうそく足(6日/26)**

の上の部分に、「カギ」のような絵があります。

これが「銘柄固定ボタン」です。

これをクリックしますと、絵の形状が変化して、カギがかかったような表示に  
なります。



これが「銘柄固定状態」です。

この状態では、他の「パターン画面」でチャートをめくっても、また、その画面で、別に表示したチャートをめくっても、「固定表示」になっている銘柄は変わりません。

たとえば、

- 1 段目：[1001日経225](固定表示)
- 2 段目：個別銘柄(固定表示しない)

というようなパターンを作って、個別銘柄をめくると、日経225との連動性を見ることができます。

また、自分が監視したい銘柄を

- パターン1：ソニー(固定表示)
- パターン2：NTT(固定表示)
- パターン3：武富士(固定表示)

のようにしておけば、パターン切り替えで、銘柄の切り替えが行えます。目的や好みに合わせて、パターン切り替えの機能をご活用ください。

---

## ■5■「チャートカ学2002」のやや高度な操作：

### 1 インテリジェント・トレンドライン：

---

#### ◇1◇ トrendラインの基本：

---

「チャートカ学2002」は高度なトレンドライン描画機能である「インテリジェンス・トレンドライン」をサポートしています。

「チャートカ学2002」のトレンドラインには、

- ・ろうそくチャートエリアにも、テクニカル指標エリアにも引ける
- ・トレンドラインを記憶させておくことができる
- ・トレンドラインに高度な「メジャー機能」が付いている
- ・トレンドラインを「監視線」として利用できる

などの特長があります。

---

#### ◇2◇ トrendラインを引く：

---

「チャートカ学2002」でトレンドラインを引くには、次のようにします。

##### 【1】 [CTRL]+マウスドラッグ

トレンドラインを引く、最も簡単な方法は、[CTRL]キー を押しながら、マウスをドラッグする方法です。

[CTRL]キー を押すと、マウスが「えんぴつ型」になります。  
マウスが「えんぴつ型」になったら、トレンドラインが引ける準備OKということです。

**【2】** チャート画面で右クリック→[新規トレンドラインの作成]を選ぶ

チャート画面のどこかで右クリックして、現れるサブメニューから、「新規トレンドラインの作成」を選ぶと、トレンドラインを引くことができます。

**【3】** [編集]メニュー の「新規トレンドラインの作成」をクリックする

[編集]メニュー の「新規トレンドラインの作成」をクリックすると、トレンドラインが引ける状態になります。

※引いたトレンドラインは記憶され、残ります。

※テクニカル指標の領域にも、自由にトレンドラインを引いて残すことができます。

-----  
◇3◇ 斜めトレンドライン：  
-----**【1】** 斜めトレンドラインを引く

斜めトレンドラインを引くには、  
[CTRL]+マウスドラッグ  
します。

つまり [CTRL]キー を押しながら、斜め方向にマウスドラッグします。

チャート画面のどこかで右クリックすると現れるポップアップメニューの中から、[新規トレンドラインの作成]を選び、チェックを入れてからマウスをドラッグしても、斜めトレンドラインを引くことができます。

[CTRL]+[T]を押すことでも「トレンドライン描画モード」に切り替わります。  
[CTRL]+[T]を押してから、マウスをドラッグすればトレンドラインを引くことができます。

**【2】** メジャーライン機能

[CTRL]を押さずに、ただチャート上でマウスを斜め方向にドラッグすると、トレンドラインは描画されませんが、そのラインを見ることができます。

「メジャーライン」には、値段、パーセンテージ、日柄が表示されます。  
値段やパーセンテージ、日柄をはかるための「メジャー(計測)ライン」として  
ご活用ください。  
メジャーラインはマウスから手を離せば消えます。

チャート上にトレンドラインを残したい場合は、[CTRL]を押しながらトレ  
ンドラインを引きます。

### 【3】斜めトレンドラインの日柄、値段、パーセント表示機能

斜めトレンドラインには、描画中と選択時に、日柄(日数)、値段、パーセント  
が表示されます。  
マウスのボタンを押している時のみ表示されます。

### 【4】斜めトレンドラインの確定

引いただけでは、トレンドラインは確定しません。  
確定していない状態のトレンドラインには、両端に「ハンドル」(四角い部分)  
がついています。



チャートのどこか(トレンドライン以外の場所)でマウスをクリックすると、トレンドラインが確定します。



トレンドラインが確定すると、両端の「ハンドル」(四角い部分)が消えます。

トレンドラインを確定するには、チャートのどこか、トレンドライン以外の場所で、マウスをクリックします。

## 【5】斜めトレンドラインの移動

斜めトレンドラインは、自由に移動することができます。

斜めトレンドラインを移動するには、

- ① マウスでクリックして、トレンドラインを「選択状態」にします。

### ◆ご注意◆

このとき、チャートで右クリックした時に表示されるメニューの「新規トレンドラインの作成」にチェックが入っていると、トレンドラインの選択ができません。

---

チェックをはずすか[CTRL]+[T]を押しますと、トレンドラインの選択ができる状態になります。

- ② マウスが「手」のマークになります。
- ③ そのままマウスをクリックしながら移動(ドラッグ)すれば、好きな場所にトレンドラインを移動することができます。

※斜めトレンドラインを移動すると、両端に表示されている数字(値段)も自動的に連動します。

#### 【6】斜めトレンドラインのコピー

斜めトレンドラインはコピーすることができます。  
斜めトレンドラインをコピーするには、

- ① マウスでクリックして、トレンドラインを「選択状態」にします。
- ② マウスが「手」のマークになります。
- ③ [CTRL]を押しながら、そのままマウスをクリックしながら移動(ドラッグ)すれば、好きな場所に斜めトレンドラインのコピーを描画することができます。

#### 【7】斜めトレンドラインの修正

斜めトレンドラインの長さや角度を修正することができます。  
斜めトレンドラインの長さや角度を修正するには、

- ① 斜めトレンドラインを選択します。
- ② ハンドルの右端か左端にマウスポインタを合わせます。
- ③ トレンドラインを伸ばしたい場合は伸ばす方向へ、縮めたい場合は縮める方向へ、角度を変えたい場合は、変えたい方向へマウスをドラッグします。



◆練習◆

引いた「斜めトレンドライン」の角度や長さを変えてみましょう。

【8】トレンドラインの太さを変える

トレンドラインを選択して、マウスで「右クリック」しますと、トレンドラインの太さを選ぶメニューが出てきます。

ここで、トレンドラインの太さを1～3ピクセルの間で選ぶことができます。

太さ：1ピクセル v 太さ：2ピクセル 太さ：3ピクセル
v 監視：しない 監視：日柄 監視：上限 監視：下限
v 到達時、メッセージを表示する
数値入力

---

## 【9】斜めトレンドラインの「情報表示機能」

引いたトレンドラインをマウスでクリックしますと、メジャーラインと同様、株価(上端から下端までの差額)、パーセンテージ、日柄が表示されます。

情報は、右ボタンを押している間だけ表示されます。

---

### ◇4◇ 水平トレンドライン：

---

#### 【1】水平トレンドラインを引く

[CTRL] + [SHIFT]キー を同時に押しながらマウスを横方向にドラッグすることで、水平トレンドラインを引くことができます。

チャート画面のどこかで右クリックすると現れるポップアップメニューの中から、[新規トレンドラインの作成]を選び、チェックを入れてから、[SHIFT]キーを押しながらマウスを横方向にドラッグしても、水平トレンドラインを引くことができます。

水平トレンドラインを引くには、[CTRL]と[SHIFT]を同時に押しながら、マウスをドラッグします。

#### 【2】メジャーライン機能

[CTRL]を押さずに、[SHIFT]だけを押しながら、チャート上でマウスを横方向にドラッグすると、トレンドラインは描画されませんが、そのラインを一瞬見ることができます。

距離や値段、日柄をはかるための「メジャー(計測)ライン」としてご活用ください。

メジャーラインはマウスから手を離せば消えます。

チャート上に水平トレンドラインを残したい場合は、[CTRL] + [SHIFT]を押しながら横方向にマウスを動かして水平トレンドラインを引きます。

### 【3】水平トレンドラインの「値段表示」機能

水平トレンドラインの両端には、チャート上の位置に対応して、数字(値段)が表示されます。

水平トレンドラインの位置を変えれば、表示されている値段も変わります。

### 【4】水平トレンドラインの「日柄表示」機能

水平トレンドラインの描画中、また、水平トレンドラインを選択した時(ただし、マウスを押している時)、その水平トレンドラインの長さが「何日分か?」ということを表す「日数」が表示されます。

日柄の予想などに活用することができます。

### 【5】トレンドラインの確定

引いただけでは、トレンドラインは確定しません。

確定していない状態のトレンドラインには、両端に「ハンドル」(四角い部分)がついています。

チャートのどこか(トレンドライン以外の場所)でマウスをクリックすると、トレンドラインが確定します。

トレンドラインが確定すると、両端の「ハンドル」(四角い部分)が消えます。

### 【6】水平トレンドラインの移動

水平トレンドラインは、自由に移動することができます。

水平トレンドラインを移動するには、

- ① マウスでクリックして、トレンドラインを「選択状態」にします。

#### ◆ご注意◆-----

このとき、チャートで右クリックした時に表示されるメニューの「新規トレンドラインの作成」にチェックが入っていると、トレンドラインの選択ができません。

チェックをはずすか[CTRL]+[T]を押しますと、トレンドラインの選択ができる状態になります。

- 
- ② マウスが「手」のマークになります。
  - ③ そのままマウスをクリックしながら移動(ドラッグ)すれば、好きな場所にトレンドラインを移動することができます。  
※水平トレンドラインを移動すると、両端に表示されている数字(値段)も自動的に連動します。

#### 【7】水平トレンドラインのコピー

水平トレンドラインは、自由にコピーすることができます。  
水平トレンドラインをコピーするには、

- ① マウスでクリックして、トレンドラインを「選択状態」にします。
- ② マウスが「手」のマークになります。
- ③ [CTRL]を押しながら、そのままマウスをクリックしながら移動(ドラッグ)すれば、好きな場所に水平トレンドラインのコピーを描画することができます。

#### 【8】水平トレンドラインの修正

水平トレンドラインの長さを修正することができます。  
水平トレンドラインの長さを修正するには、

- ① 水平トレンドラインを選択します。
- ② ハンドルの右端か左端にマウスポインタを合わせます。
- ③ トレンドラインを伸ばしたい場合は伸ばす方向へ、縮めたい場合は縮める方向へ、マウスをドラッグします。

※ここで、[SHIFT]キーを押しながら作業しないと、トレンドラインの角度がずれて、「斜めのトレンドライン」になってしまう場合があります。

#### 【9】トレンドラインの太さを変える

トレンドラインを選択して、マウスで「右クリック」しますと、トレンドライ

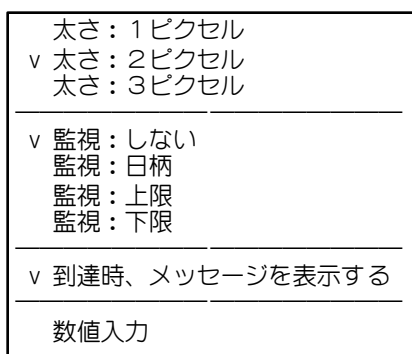
線の太さを選ぶサブメニューが出てきます。

ここで、トレンドラインの太さを1～3ピクセルの間で選ぶことができます。

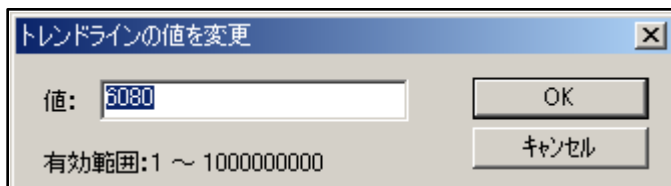
#### 【10】水平トレンドラインの「数値入力」

たとえば、10,000円ジャスト、999円というように、自分の引きたい値段に正確にトレンドラインを引こうとする場合は「数値入力」を使います。

トレンドラインをマウスでクリックして「選択状態」(ハンドルが表示されている状態)にして、右クリックしますと、下のようなサブメニューが表示されます。



一番下の「数値入力」をクリックすると、数値入力用のダイアログボックスが表示されますので、希望の数値を入力して [OKボタン] をクリックします。



#### 【11】水平トレンドラインの「情報表示機能」

引いたトレンドラインをマウスでクリックしますと、メジャーラインと同様、日柄が表示されます。

情報は、右ボタンを押している間だけ表示されます。

---

◇5◇ 垂直トレンドライン：

---

**【1】垂直トレンドラインを引く**

[CTRL]+[SHIFT]を押しながらマウスを縦方向にドラッグすることで、垂直トレンドラインを引くことができます。

チャート画面のどこかで右クリックすると現れるポップアップメニューの中から、[新規トレンドラインの作成]を選び、チェックを入れてから、[SHIFT]を押しながらマウスを縦方向にドラッグしても、垂直トレンドラインを引くことができます。

**【2】メジャーライン機能**

[CTRL]キー を押さずに、ただチャート上でマウスを斜め方向にドラッグすると、トレンドラインは描画されませんが、そのラインを一瞬見ることができます。距離や値段、日柄をはかるための「メジャー(計測)ライン」としてご活用ください。

メジャーラインはマウスから手を離せば消えます。

チャート上にトレンドラインを残したい場合は、[CTRL]キー を押しながらトレンドラインを引きます。

**【3】垂直トレンドラインの「日付表示」機能**

垂直トレンドラインの始点には、チャート上の位置に対応して「日付」が表示されます。

日付は、下から上方向にドラッグして垂直トレンドラインを引いた場合、トレンドラインの下側に、上から下方向にドラッグして垂直トレンドラインを引いた場合、トレンドラインの上側に表示されます。

**【4】垂直トレンドラインの「値段/パーセント表示」機能**

垂直トレンドラインの描画中、また、垂直トレンドラインを選択した時(ただし、マウスを押している時)、その垂直トレンドラインの長さが「いくら分か?」ということを表す「値段」とトレンドラインの始点と終点を比べた「パーセンテージ」が表示されます。

値段の予想などに活用することができます。

上から下に引くと数値はマイナス、下から上に引くと数値はプラスになります。

#### 【5】トレンドラインの確定

引いただけでは、トレンドラインは確定しません。

確定していない状態のトレンドラインには、両端に「ハンドル」(四角い部分)がついています。

チャートのどこか(トレンドライン以外の場所)でマウスをクリックすると、トレンドラインが確定します。

トレンドラインが確定すると、両端の「ハンドル」(四角い部分)が消えます。

#### 【6】垂直トレンドラインの移動

垂直トレンドラインは、自由に移動することができます。

垂直トレンドラインを移動するには、

- ① マウスでクリックして、トレンドラインを「選択状態」にします。

#### ◆ご注意◆

このとき、チャートで右クリックした時に表示されるメニューの「新規トレンドラインの作成」にチェックが入っていると、トレンドラインの選択ができません。

チェックをはずすか[CTRL]+[T]を押しますと、トレンドラインの選択ができる状態になります。

- ② マウスが「手」のマークになります。
- ③ そのままマウスをクリックしながら移動(ドラッグ)すれば、好きな場所にトレンドラインを移動することができます。

---

## 【7】垂直トレンドラインのコピー

垂直トレンドラインは、自由にコピーすることができます。

垂直トレンドラインをコピーするには、

- ① マウスでクリックして、トレンドラインを「選択状態」にします。
- ② マウスが「手」のマークになります。
- ③ [CTRL]を押しながら、そのままマウスをクリックしながら移動(ドラッグ)すれば、好きな場所に垂直トレンドラインのコピーを描画することができます。

## 【8】垂直トレンドラインの修正

垂直トレンドラインの長さを修正することができます。

垂直トレンドラインの長さを修正するには、

- ① 垂直トレンドラインを選択します。
- ② ハンドルの右端か左端にマウスポインタを合わせます。
- ③ トレンドラインを伸ばしたい場合は伸ばす方向へ、縮めたい場合は縮める方向へ、マウスをドラッグします。

※ここで、[SHIFT]キーを押しながら作業しないと、トレンドラインの角度がずれて、「斜めのトレンドライン」になってしまう場合があります。

## 【9】トレンドラインの太さを変える

トレンドラインを選択して、マウスで「右クリック」しますと、トレンドラインの太さを選ぶメニューが出てきます。

ここで、トレンドラインの太さを1～3ピクセルの間で選ぶことができます。

## 【10】垂直トレンドラインの「情報表示機能」

引いたトレンドラインをマウスでクリックしますと、メジャーラインと同様、値段が表示されます。情報は、右ボタンを押している間だけ表示されます。

## 2 監視線機能：

### ◇1◇ 監視線とは？

「チャートカ学2002」のトレンドライン(「インテリジェンス・トレンドライン」)には、値段や日柄の監視機能があります。

この監視機能を使うことにより、狙った値段、狙った日、あるいは、狙ったテクニカル指標の数値に到達した銘柄を、場中、リアルタイムにピックアップすることができます。

### ◇2◇ 監視線の設定：

監視機能は、斜めトレンドラインにも、水平トレンドラインにも、垂直トレンドラインにも設定することができます。

監視機能を設定したトレンドラインのことを「監視線」と呼びます。

「監視線」は、そのラインに到達しますと、場中に「お知らせウインドウ」を出して、報せてくれます。

#### 【1】監視の設定方法

たとえば、ある銘柄が7,000円をブレイクアップ(上に抜く)したら報せてもらうことにします。

この場合の設定方法を説明します。

- ① 監視したい銘柄のチャート上の7,000円の位置に、水平トレンドラインを引きます。
- ② 引いたトレンドラインをマウスでクリックして選択して、「選択状態」にします。(トレンドラインを引いた直後には、「選択状態」になっていまずので、引いた直後に③の操作に進むことができます。)

③ 次のようなポップアップメニューが立ち上がります。

太さ：1ピクセル v 太さ：2ピクセル 太さ：3ピクセル
v 監視：しない 監視：日柄 監視：上限 監視：下限
v 到達時、メッセージを表示する
数値入力

ここで、「監視：上限」のところにチェックを入れます。

トレンドラインが「監視線」が変わると、表示が変わり、下の図のようになります。

画面上方にあるのが「上限監視線」、下にあるのが「下限監視線」です。



- ④「到達時にメッセージを表示する」のところにチェックが入れておけば、株価が監視線をブレイクアップする瞬間(正確には、監視線とイコールになった瞬間)に、「お知らせウインドウ」が立ち上がり、ブレイクアップを報せてくれます。

## 【2】ブレイクダウンの監視

ブレイクダウン(値段を下に抜く)を監視したい場合は、「監視：下限」にチェックを入れます。

## 【3】日柄の監視

日柄、つまり、日数の到達を監視したい場合は、チャートの「未来」の位(右側の余白)に垂直トレンドラインを引いて、垂直トレンドラインに監視設定をします。

下の図が「日柄監視線」の例です。

この場合、7月10日になると「チャート力学2002」が、日柄の到達を教えてください。

値段の変化の周期を見ながら、売買タイミングを狙うのに有効です。



### 3 グループの設定変更と銘柄絞り込み：

#### ◇1◇ グループ機能：

「チャートカ学2002」には、グルーピング機能があります。

グループの設定を変更することで、非常に高度な銘柄の絞り込みを行うことができます。

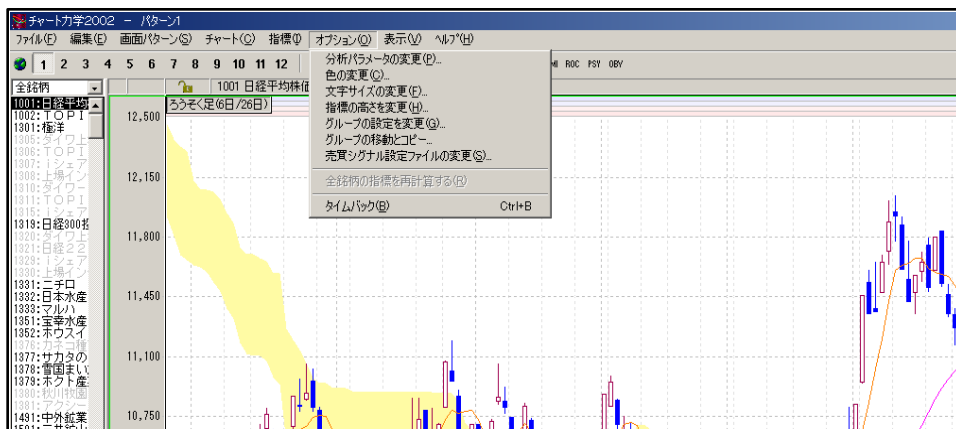
#### ◇2◇ グループの設定変更：

グループの設定変更は、[オプション]メニューを開いて、「グループ設定」のダイアログを表示して行います。

「グループ設定」のダイアログでは、グループ名、表示色、グループの抽出条件など、様々な設定可能です。

#### ◇3◇ グループ名の変更：

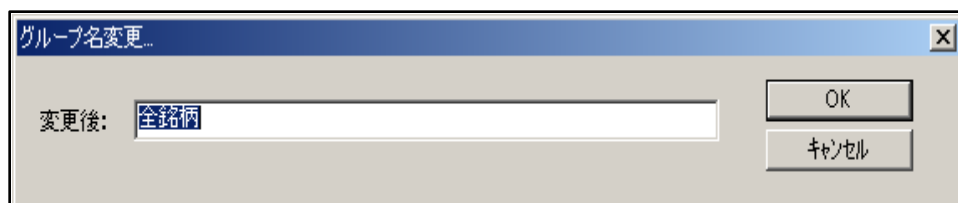
グループ名の変更を行うには、[オプション]メニューから「グループ設定」のダイアログを開いて、右側の「グループ名の変更」ボタンをクリックします。





このボタンをクリックしますと、「グループ名変更」のためのテキストボックスが表示されます。

グループ名を入力して [OK]ボタン をクリックします。



---

◇4◇ グループ名の表示色の変更：

---

グループ名の表示色を変更することができます。

たとえば「買い候補」は赤、「空売り候補」は青、というように、色分けをしておくと、グループを見分けるのに便利です。

グループ名の表示色を変更するには、「グループ設定」のダイアログの左上の「カラーボタン」をクリックします。

カラーパレットが表示されますので、色を変更します。



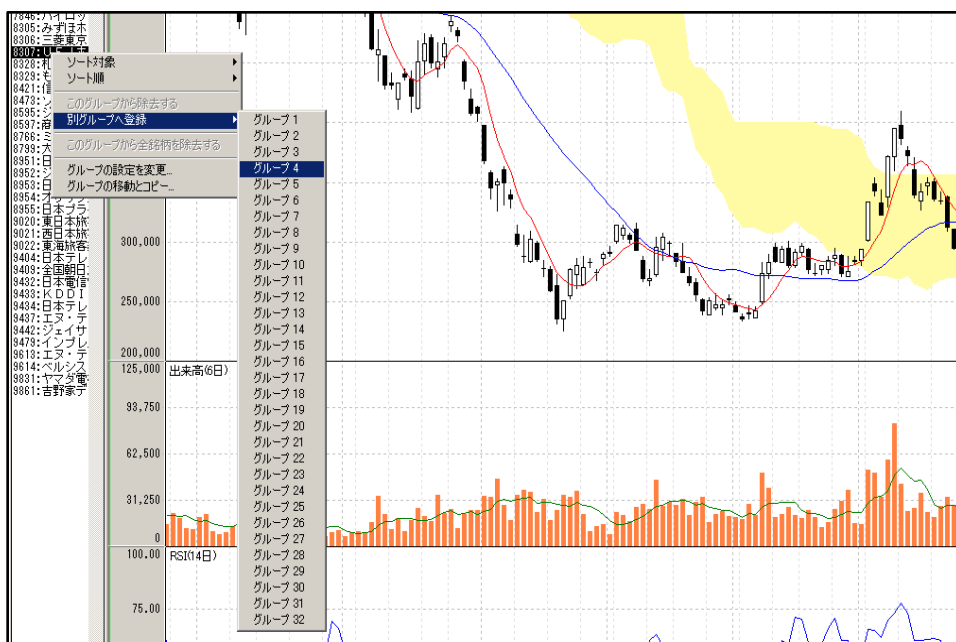
## ◇5◇ 自動抽出する／自動抽出しない：

単に「銘柄メモ」として、グループを利用したい場合は、自動抽出条件で「自動抽出しない」としておきます。

「自動抽出しない」グループに、銘柄を登録するには、グループリストで、登録したい銘柄を選んで選択し、右クリックします。

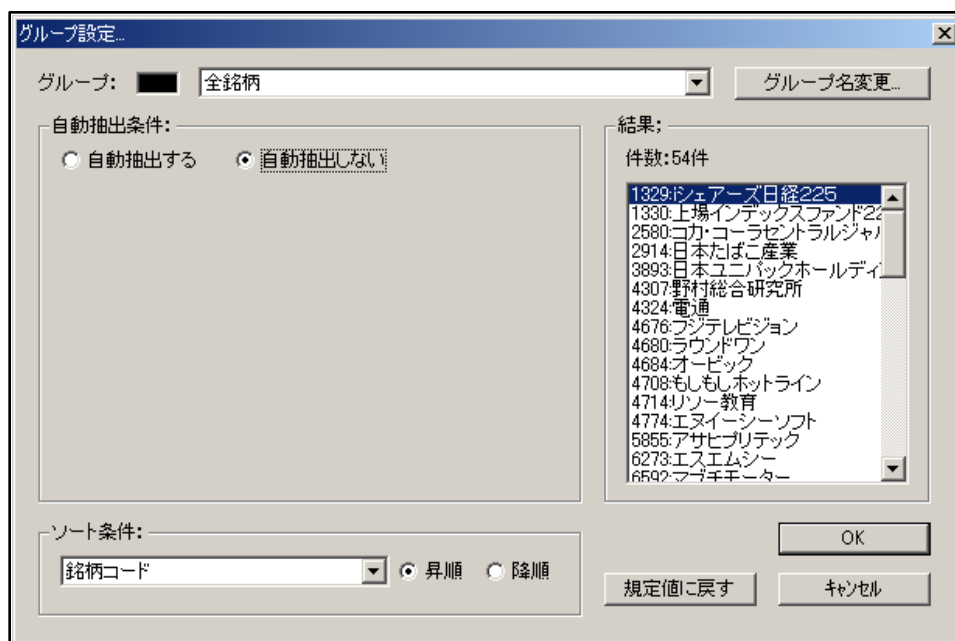
下のようなサブメニューが表示されますので、「別グループへ登録」のところにマウスポインタを移動します。

登録できるグループが表示されますので、登録先のグループを選んでクリックします。



上記のような方法で、銘柄を登録する先としては、「自動抽出しない」グループしか選択できません。

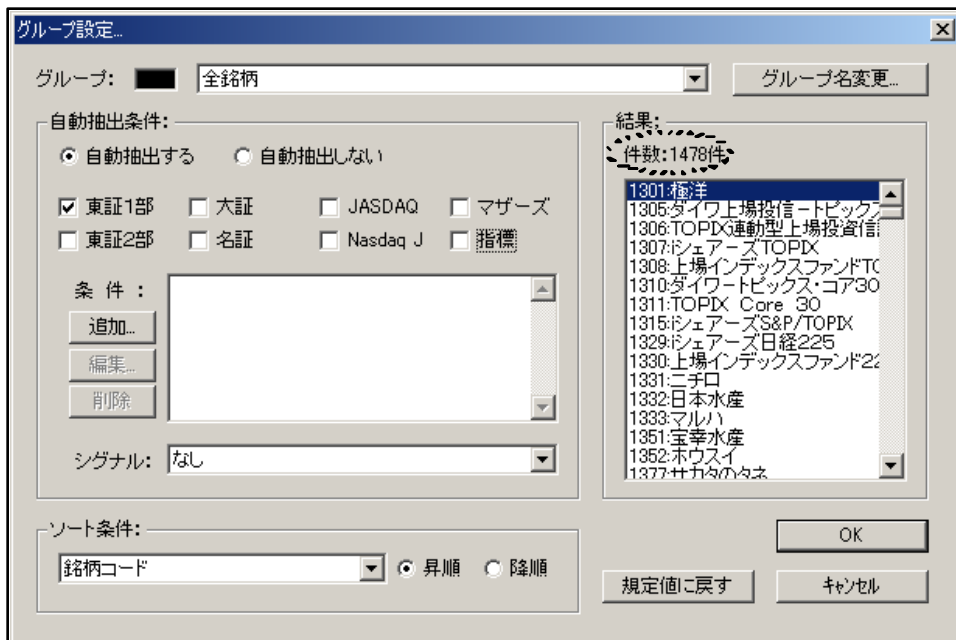
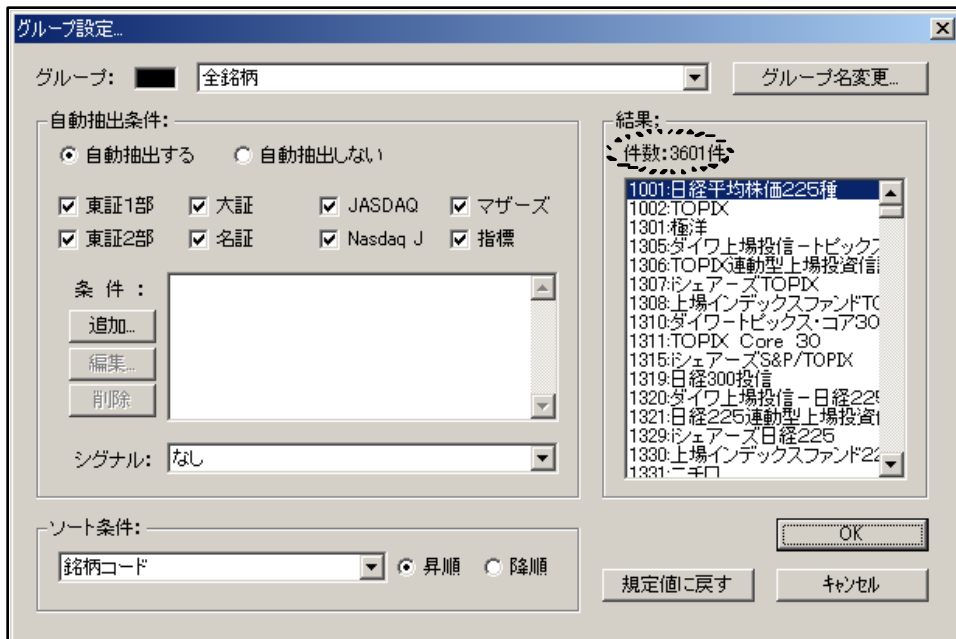
「自動抽出しない」グループでは、「グループ設定」のダイアログボックスの抽出条件の部分が消えます。



◇◇◇ 市場の選択 :

「自動抽出を行う」場合、銘柄絞り込みの対象となる市場を選択します。  
右ページの上の図では、全市場にチェックが入っています。  
右側の「結果 :」を見ますと、3601 銘柄が抽出されています。

右ページの下図では、東証 1 部以外のチェックを外しました。  
その結果、抽出された銘柄数は1478 銘柄に減っています。  
これも「銘柄の絞り込み」の一例です。



◇7◇ 条件の追加：

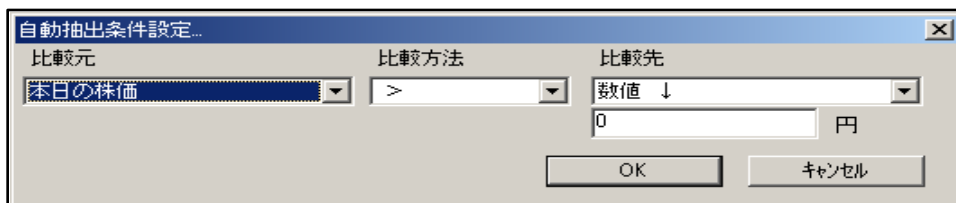
「グループ設定」ダイアログでは、絞り込み条件を追加することで、さらに銘柄を絞り込むことができます。

自動抽出条件の [追加] ボタン をクリックします。



「自動抽出条件設定」ダイアログが表示されます。

左側の「比較元」の▼ボタンを押しますと、約300種類の抽出条件が表示されます。



真ん中の「比較方法」の▼ボタンをクリックすると、 $\geq$ 、 $\leq$ などの比較方法が選べます。

右側の「比較先」の▼ボタンをクリックしますと、比較する条件を選ぶことができます。

また、数値入力のテキストボックスに数値を入力することもできます。

ここでは、例として、  
「株価が1万円以上の銘柄」  
を絞り込んでみましょう。

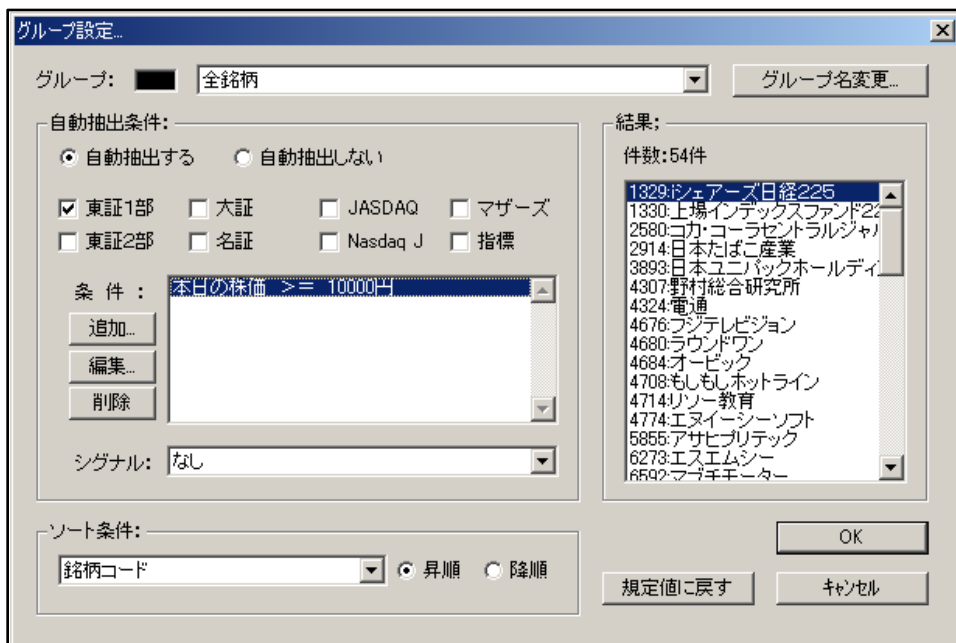
「自動抽出条件」ダイアログボックスに、次のように入力して [OK] ボタン をクリックします。

一瞬にして、株価が1万円以上の54銘柄が抽出されました。

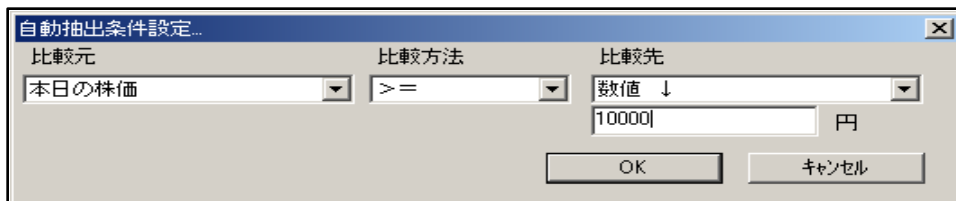
◇8◇ 条件の編集/削除 :

抽出条件を編集するには、条件を選択して、反転表示にしてから、[編集]ボタンをクリックします。

編集しようとする条件を選択しないと、[編集]ボタンはクリックできません。



「自動抽出条件設定」ダイアログが表示されますので、条件を変更して[OK]ボタンをクリックします。



条件を削除したい場合は、削除したい条件を選択して反転表示にしてから、[削除]ボタンをクリックします。

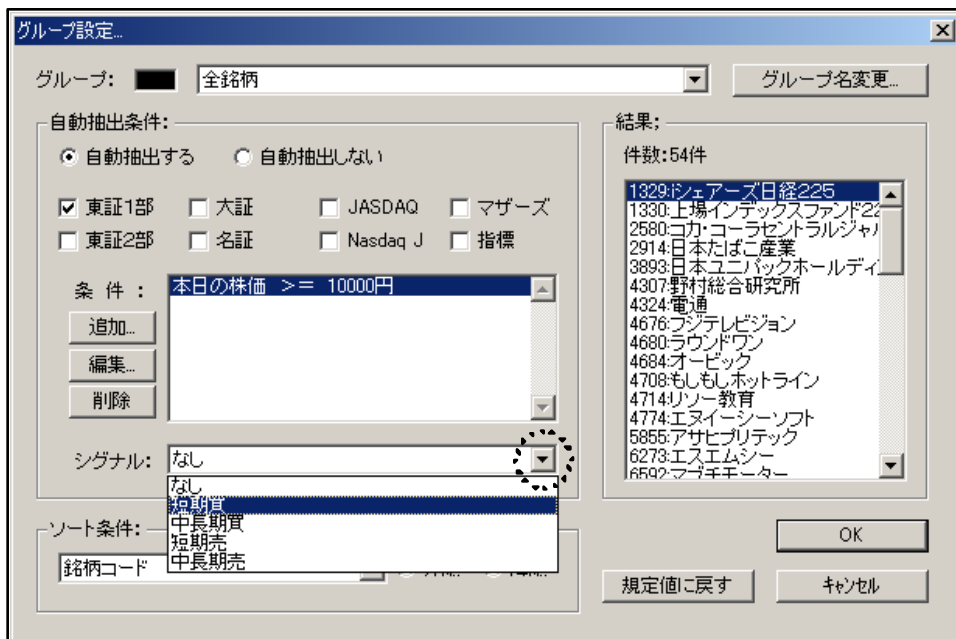
条件が削除されます。

「チャート力学2002」の抽出条件は約300種類あり、これを1つのグループに最大20設定することができます。

これにより、ゴールデンクロスやデッドクロスはもちろん、従来のチャートソフトでは不可能だった複雑な銘柄絞り込みが可能になっています。

◇9◇ シグナルの設定：

自分が作った「絞り込み条件」で「売買シグナル」を出すことができます。たとえば、「株価が1万円以上の銘柄」を対象に「短期の買いシグナル」を出すには、シグナルの▼ボタンをクリックして、「短期買い」を選びます。



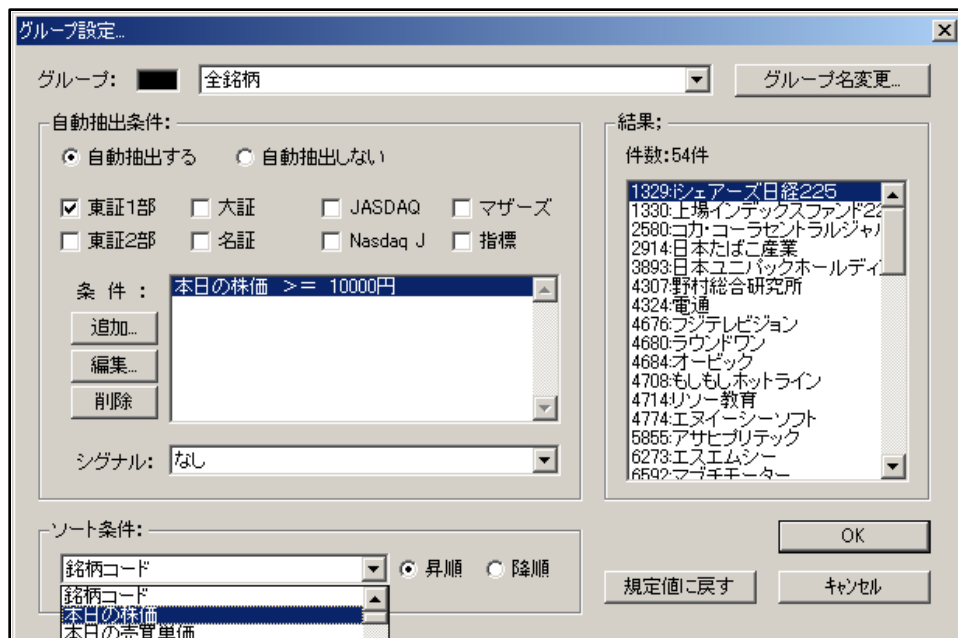
この設定にすると、株価が1万円以上の銘柄には、短期の買いシグナルが点灯します。

---

◇10◇ ソート条件：

---

自動抽出した銘柄を、どの基準で並べ替えるかを指定することができます。  
たとえば、「株価が1万円以上の銘柄」を、株価の高い順に並べ替えるには、

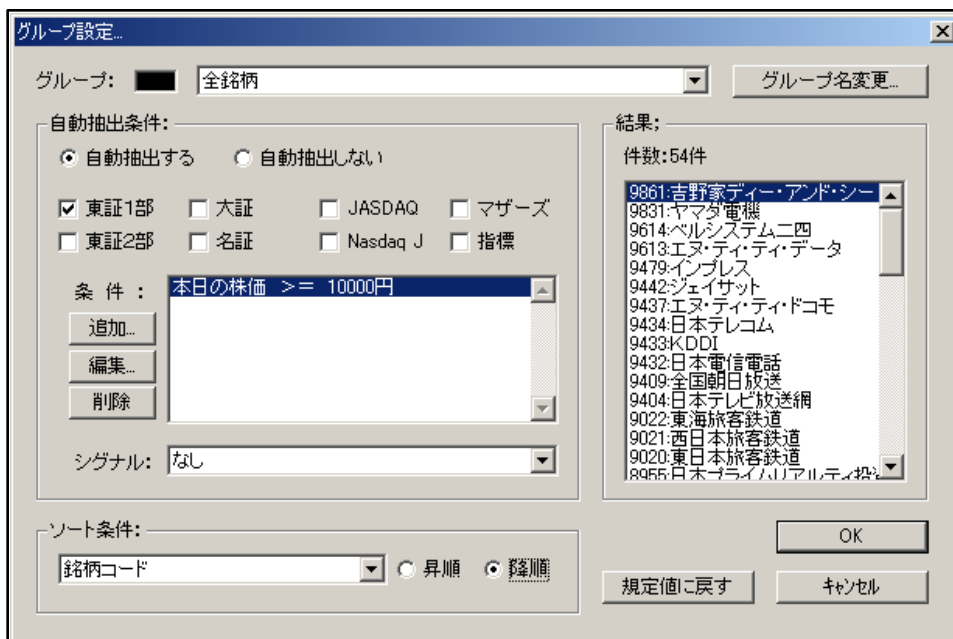


ソート条件から「本日の株価」を選び、「降順」にチェックを入れます。

昇順は、文字通り「昇るように」つまり低いほうから順に並べるという意味、  
降順は、文字通り「降るように」つまり、高いほうから順に並べるという意味  
です。

ちなみに「ソート」とは、「並べ替え」という意味です。

この設定にしますと、「株価1万円以上の銘柄」が、「株価の高い順に並べ替えられ」て表示されます。



◇11◇ 規定値に戻す:

銘柄絞り込みの条件を規定値(初期設定)に戻します。

---

◇12◇ グループの移動とコピー：

---

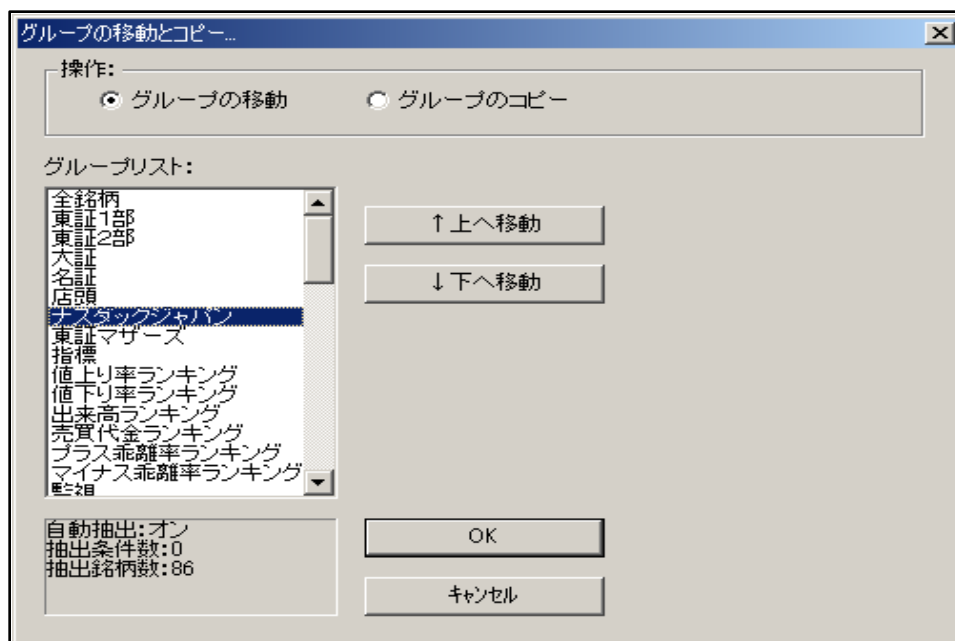
グループは並べ替えたり、内容をコピーしたりすることができます。  
たとえば、「値上がり率ランキング」のグループは、場中、どんどん内容が変わってしまいます。

これをある時点で記録したい場合は、銘柄を別グループ(自動抽出しないグループ)にコピーします。

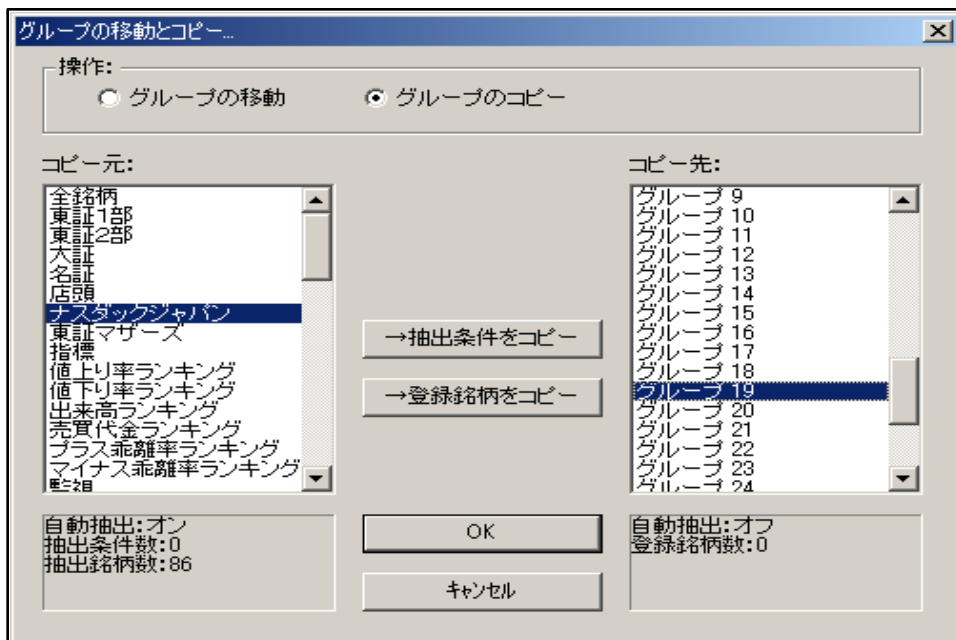
グループの抽出条件をコピーすることもできます。  
抽出条件を少し変えて、別の条件を作りたい場合などに便利です。

グループの移動とコピーを行うには、[オプション]メニューの「グループの移動とコピー」を使うか、画面左側のグループリストの上で右クリックします。  
すると、次のようなダイアログが表示されます。

グループの移動を行うには、この状態で、グループを選択し、  
[↑上へ移動]ボタン あるいは、  
[↓下へ移動]ボタン をクリックして移動します。



グループのコピーを行うには、「グループのコピー」にチェックを入れます。すると、次のようなダイアログが表示されます。



抽出条件をコピーしたい場合は、  
[抽出条件をコピー]ボタン をクリックします。

登録銘柄をコピーしたい場合は、  
[登録銘柄をコピー]ボタン をクリックします。

## 4 売買シグナル：

◇1◇ 「チャート力学2002」の売買シグナル：

「チャート力学2002」には、長谷川式の確率の高い売買シグナルが4種類内蔵されています。

シグナルの出し方のパターンは5種類あり、選択することができます。

「チャート力学2002」の売買シグナルには、短期と中長期のものがありますが、「チャート力学2002」は、短期売買をテーマに開発されたチャートソフトですから、トレードの想定スパンは短くなっています。

◇2◇ シグナルエリア：

「シグナルエリア」は、チャート画面の上方にある、4本のラインです。この4本のラインの中に、売買シグナルが表示されます。

シグナルエリアは、上から順に

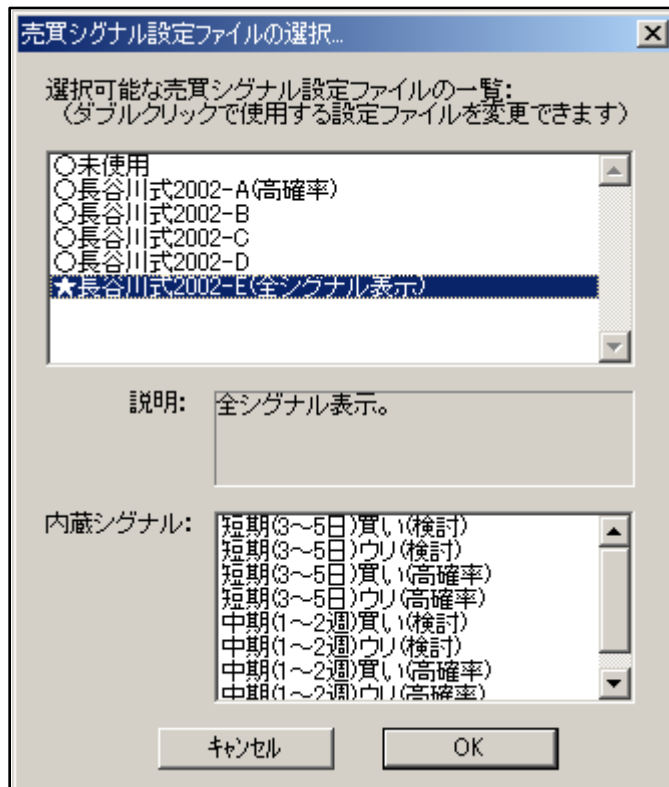
- 中長期ウリ … うすいブルーの ▼▼マーク(複数)で表示
- 短期ウリ … 濃いブルーの ▼マークで表示
- 短期買い … 濃い赤の ▲マークで表示
- 中長期買い … 薄い赤の ▲▲マーク(複数)で表示



## ◇3◇ 売買シグナルの確認：

現在表示されている売買シグナルを確認するには、[オプション]メニューから、「売買シグナルファイルの設定と変更」を選びます。

下のようなダイアログが表示されます。



この場合、現在表示されているシグナルは、★印のついた、「長谷川式2002-E(全シグナル表示)」です。

内蔵シグナルのテキストボックスの中には、

- 短期(3~5日)買い(検討)
- などのシグナルの名前が見えます。

この「検討」というシグナルは、比較的ゆるい条件でシグナルを出すものです。

---

シグナルは頻繁に出るが、的中率は低い傾向にあります。

「高確率」というシグナルも見えます。このシグナルは、シグナルが出現する頻度は低いが、的中率は高い傾向にあります。

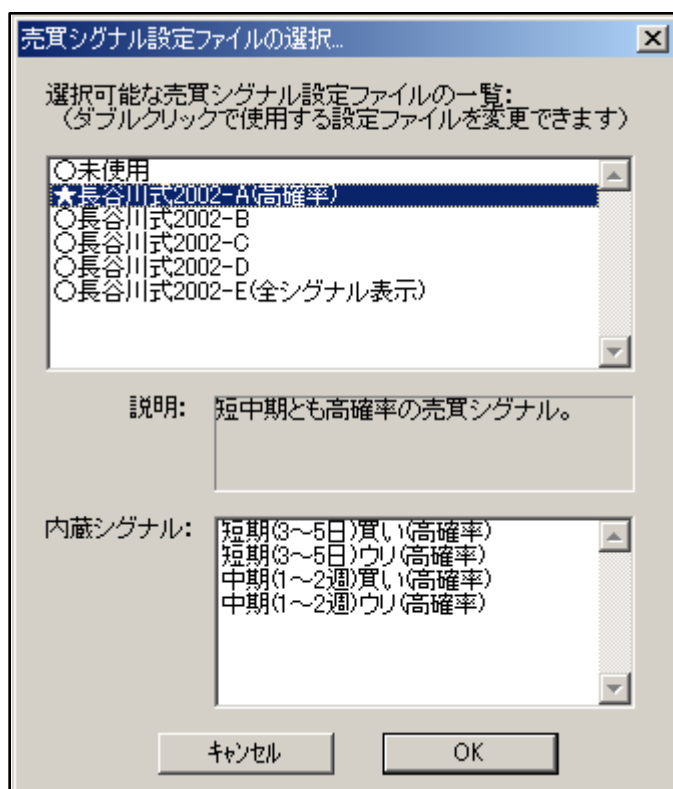
---

◇4◇ 売買シグナルの変更：

---

では、「長谷川式2002-A(高確率)」のシグナルに、表示シグナルを変更してみましょう。

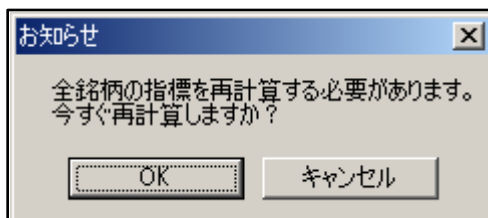
変更したいシグナルを選び、「ダブルクリック」します。



シグナルを選択したら [OK]ボタン をクリックします。

シグナルの選択は「ダブルクリック」で行います。  
通常の選択は「クリック」で可能ですが、シグナルの選択は「クリック」  
しただけでは行えません。  
ご注意ください。

[OK]ボタン をクリックすると、次のようなダイアログが表示されます。  
シグナルを変更するのであれば、[OK]ボタン をクリックします。



[OK]ボタン をクリックすると、「チャート力学2002」は、新しく選択されたシグナルの条件にあてはまる銘柄を、全銘柄、過去10年間にわたって検索し、表示します。

◆ご注意◆-----

シグナルを表示するためには膨大な量の計算が必要になりますので、この作業には数分間かかります。

また、その間は「チャート力学」をお使いいただくことはできません。

また、この作業は中断することもできません。

【おことわり】

「チャート力学2002」の売買シグナルは、売買の参考にしていただくためのものであり「売買指示」を行うものではありません。売買は、あくまでもご自身の責任のもとに、ご自身で判断してくださいませようお願いします。

「チャート力学2002」の売買シグナルに基づいて行った売買において、損失が出た場合、弊社および、シグナルの設定者である長谷川雅一は、その責を一切負いません。

「投資は自己責任で」という原則を認識された上で、本ソフトをご活用くださいませよう、お願い申し上げます。

---

## 5 タイムバック機能と予想足：

-----

### ◇1◇ タイムバック機能：

-----

「チャート力学2002」は、強力な「チャート読解学習補助機能」をサポートしています。

その機能の中心になるのが、「タイムバック機能」と「予想足」です。

「タイムバック機能」は、文字通り、チャートの時間軸を過去に戻す機能です。

チャートを過去に戻して、その時点で翌日の「ろうそく足」を予測して描画し、実際の「ろうそく足」と比較するトレーニングを行うことで、チャート読解の力を伸ばすことができます。

-----

### ◇2◇ タイムバックの方法：

-----

タイムバック機能をONにするためには、[オプション]メニューの一番下にある「タイムバック」をクリックします。

チャート上に下のような「タイムバック・コントローラ」が現れ、「チャート力学2002」は、「タイムバックモード」に入ります。



### ◆メモ◆

-----

タイムバックをONにした時、場中で、文字放送受信中だった場合、「チャート力学2002」は、文字放送の受信を中段して、それまでに受信したデータをハードディスクに記憶してから、タイムバックモードに入ります。

この作業に数分間がかかる場合があります。

---

◇3◇ タイムスクロール：

---

時間を戻したり、進めたりすることを「タイムスクロール」と呼びます。  
その方法は次の通りです。

◆時間を戻す

「タイムコントローラ」の ◀ ボタンを押す。  
または、キーボードの [Page UP] キー を押す。

◆時間を進める

「タイムコントローラ」の ▶ ボタンを押す。  
または、キーボードの [Page Down] キー を押す。

◆一気に時間を戻したり、進めたりする

時間を大きく戻したり、進めたりするには、「タイムコントローラ」のスクロ  
ールバーのボタンを、マウスで左方向、あるいは右方向にドラッグします。

---

◇4◇ 指標の再計算：

---

時間を戻したところで、「タイムコントローラ」の [指標の再計算] ボタン を  
クリックしますと、戻ったその日を「今日」と考えて、もどったその日に「売買  
シグナル」が出た銘柄を検索します。

その銘柄を「買った」あるいは「空売り」したことにして、時間軸を進めるこ  
とにより、売買シグナル、あるいは、ご自身の設定した抽出条件の的中率がわ  
かります。

また、売買のトレーニング(シミュレーション)が可能になります。

---

-----

◇5◇ タイムバック機能をOFFにする：

-----

タイムバック機能をOFFにするには、「タイムコントローラ」の右上の×ボタンをクリックします。

[オプション]メニューの「タイムバック」についている v を外すことでも、同様の操作が行えます。

タイムバック機能がOFFになると、「チャート力学2002」は時間軸を現在にもどし、今日、あるいは直近のチャートを表示します。

◆ご注意◆-----

タイムバック機能がONになっても、「チャート力学2002」は、文字放送の受信は行いません。

文字放送の受信を行うためには、[ファイル]メニューを開いて「文字放送を受信する」をクリックしてください。

-----

◇6◇ 予想足：

-----

「チャート力学2002」では、予想足を描画することができます。

予想足の描画には、次のような条件があります。

- ・場中は、その日の「ろうそく足」を「予想足」化できる。
- ・場中でも、タイムバックモードであれば、翌日の予想足を描画できる。
- ・タイムバック時には、タイムバックした日の翌日の予想足を描画できる。  
また、この場合、日付を1日進めても、予想足は描画されたままになる。

予想足のバックには、他の「ろうそく」と区別するために、うすいグレーの帯が表示されます。

この帯の色は [オプション]メニュー から変更することができます。

---

◇7◇ 予想足の描画方法：

---

チャート上で、予想足が描画できるエリアにマウスカースルを合わせますと、カーソルが ◀ 型になります。  
このカーソルのある場所に、予想足を描画します。

**【始値の決定】**

◀カーソルの位置で「クリック」します。  
すると、「始値」が決定します。  
場中は、本当の「始値」が「始値」になり、変更することはできません。

**【安値の決定】**

◀カーソルをクリックして「始値」を決定したら、そのままクリックしたボタンを離さず、下方向にドラッグ(マウスをずらす)します。  
マウスをずらして止めたところが「安値」になります。

**【高値の決定】**

◀カーソルを止めて「安値」を決めたら、そのままクリックしたボタンを離さず、こんどは上方向にドラッグ(マウスをずらす)します。  
上方向にずらして止めた場所が、「高値」になります。

**【終値の決定】**

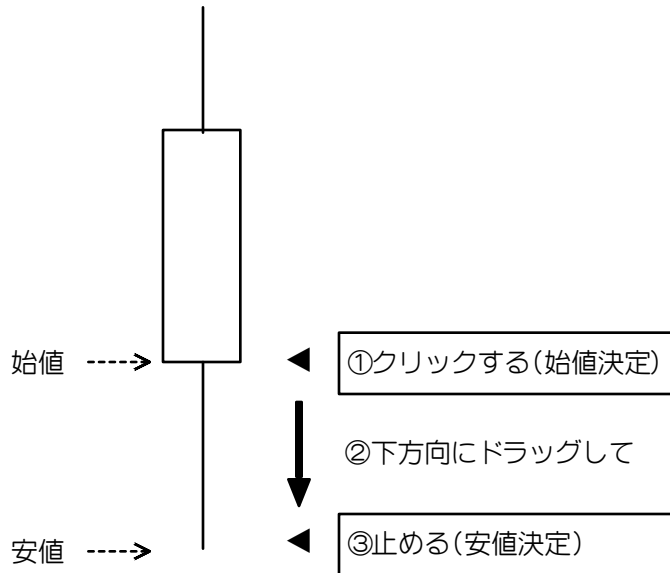
◀カーソルを止めて「高値」を決定した後、やはり、そのままボタンを離さずに下方向にドラッグ(マウスをずらす)します。  
終値にしたい位置で、マウスのボタンを離します。  
ボタンを離した位置が「終値」となり、予想足の描画が完了します。

---

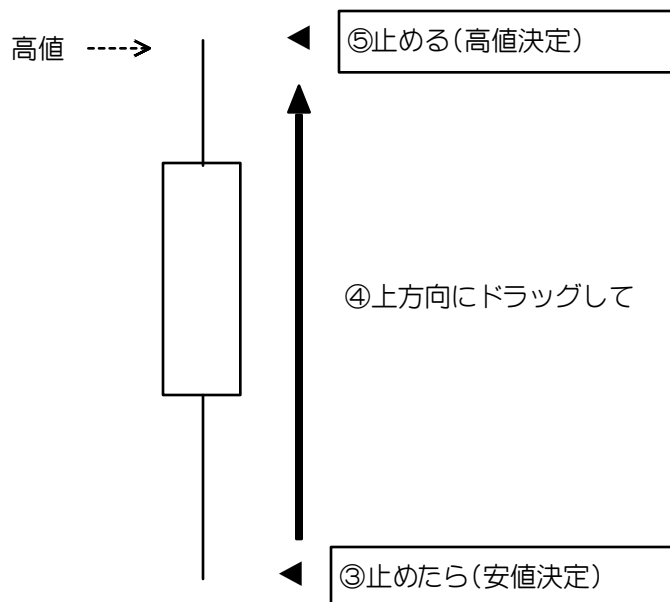
◇8◇ 予想足の書き方(まとめ):

---

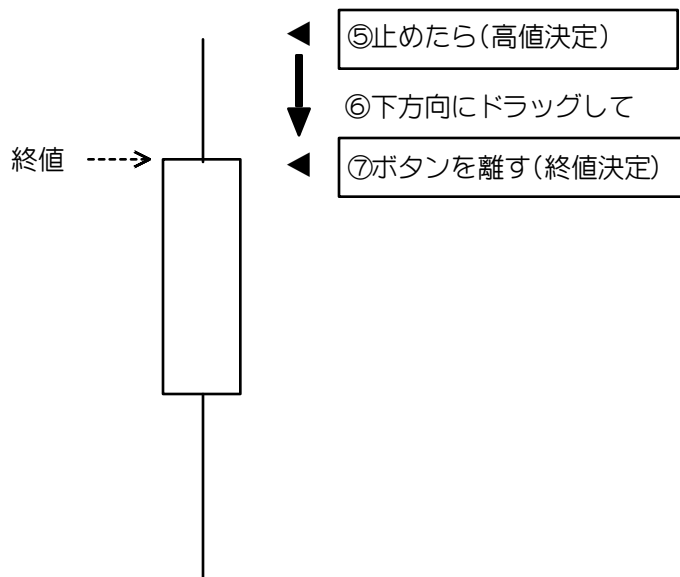
【ステップ1】 始値と安値を決める



【ステップ2】 高値を決める



【ステップ3】終値を決める



## ■6■ そのほか：

### 1 文字放送の受信：

文字放送を受信するためには、[ファイル]メニューの中の[文字放送を受信する]にチェックを入れます。

ここにチェックが入っていると、場中、リアルタイムに株価を更新します。

「チャート力学」のリアルタイム更新は、文字放送で情報が入ってから表示までの時間が、従来の同種のソフトに比べて、超短時間に行われます。

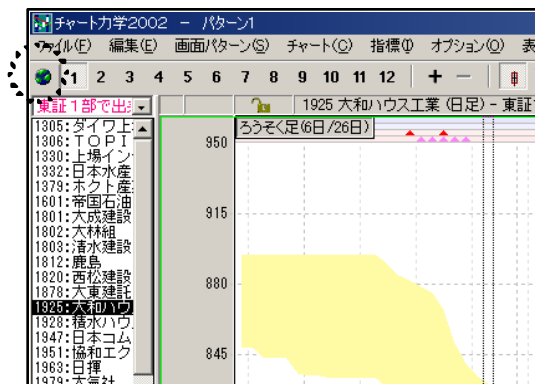
### 2 日々のデータ更新：

正しいデータを表示するため、日々、インターネットから、その日の株価データをダウンロードして更新してください。

文字放送だけのデータでは、正確なチャートが表示されません。また、弊社のホームページから修正データをダウンロードすることも必須条件です。

これらの作業は、「チャート力学2002」の画面左上の「地球型アイコン」をクリックするだけで、文字通り「ワンタッチ」で行えます。

毎日夜7時過ぎに、必ずこのボタンを1度クリックしてください。



### 3 サポート：

「チャート力学2002」についてのご相談は、なるべくメールでお願いします。

E-Mail: [m@preco.co.jp](mailto:m@preco.co.jp)

まで、どうぞ。

電話でのサポートは、サポート専用電話へどうぞ。

サポート専用電話は  
0573-25-6033  
です。

受付は土日祭日含む、朝10時～夜10時までです。

---

## 4 データゲットから「アクセス権」を購入する方法：

◆データゲットの「アクセス権」のご購入方法：

「チャート力学2002」では、常に正しい株価チャートを表示するために、文字放送に頼るのではなく、「データゲット株式会社」の株価データを利用し、さらに弊社が「修正データ」を提供することにより、より完全なものに近い株価チャートが表示できるようにしています。

そのため、「データ・ゲット株式会社」から、

- 株価データを読み込むことができる「アクセス権」を購入するという手続きが必要になります。

以下のやり方にしたがって、3つの手続きをおすすめください。

- 【1】新規ユーザー登録 … データを買うための準備です。
- 【2】「アクセス権」の購入 … 毎日株価データをダウンロードする権利を購入します。

=====

【1】新規ユーザー登録：

=====

- 1：インターネットエクスプローラなどを使って、「データ・ゲット株式会社」のホームページにアクセスします。

http://www.data-get.com

上のURLを、インターネットエクスプローラの「アドレス」のところに  
入力して、アクセスしてください。http://の部分は省略可能です

- 2：「データ・ゲット株式会社」のトップページが表示されます。

左側に、

「トップページ」  
「株価データ」  
「テクニカルツール」

などのタブ(見出し)が並んでいます。2番目のタブ「株価データ」をクリック  
します。

- 3：「株価データ」のページが表示されます。

右側の説明文を見てください。

- 株価データ ダウンロード  
株価データをダウンロードするには…  
ユーザー登録およびアクセス権の購入をしてください。  
お申し込みは[こちらへ](#)。

という説明文が出てきます。ここで、下線のついた「こちらへ」と部分を  
クリックします。

---

4 : 「ログイン」のページが表示されます。

メールアドレスとパスワードの入力画面がありますが、ここでは、その下にある、

[新規ユーザー登録はこちら](#)

をクリックします。

5 : 「新規ユーザー登録」画面が表示されます。

この画面で、必要事項を入力します。  
入力が終わりましたら「登録」のボタンを押してください。  
そうすると、電子メールで、パスワードが送られてきます。

6 : 電子メールを確認して、パスワードを、ノートにメモするなどして、いつでも確認できるようにします。

パスワードは「12345678」というような、8桁の数字です。  
最初にログインすれば、あとは記憶保存されますが、念のため、いつでも確認できるようにしておいて下さい。

※以上の手続きが大変、難しくてできない、という方は、こちらで代行しますので、サポート専用電話に電話してご依頼ください。

=====

【2】「アクセス権」の購入：

=====

「アクセス権」を購入しますと、「10年株価データCD」に収録されていない、新しいデータをすべてダウンロードして利用することができます。

- 1：インターネットエクスプローラなどを使って、「データ・ゲット株式会社」のホームページにアクセスします。

http://www.data-get.com

上のURLを、インターネットエクスプローラの「アドレス」のところに  
入力して、アクセスしてください。http://の部分は省略可能です)

- 2：「データ・ゲット株式会社」のトップページが表示されます。

左側に、

「トップページ」  
「株価データ」  
「テクニカルツール」

などのタブ(見出し)が並んでいます。2番目のタブ「株価データ」をクリック  
します。

- 3：「株価データ」のページが表示されます。

- 株価データ ダウンロード  
株価データをダウンロードするには…  
ユーザー登録およびアクセス権の購入をしてください。  
お申し込みは[こちらへ](#)。

という説明文が出てきます。ここで、下線のついた「こちらへ」と部分を  
クリックします。

---

4：登録情報の確認画面が表示されます。

ご自身のメールアドレス、名前、住所、電話番号などが表示されているはずです。

この画面の右下の「申し込み」ボタンを押します。

※この画面の前に、メールアドレスとパスワードの入力画面が表示された場合は、メールアドレスとパスワードを入力してください。

5：「商品の購入」ページが表示されます。

●期間の選択：

のところで、期間を選択してください。

3ヶ月以上の期間にされることをおすすめします。

後で延長することも可能です。

希望の期間の左側のボタンをクリックして、チェックを入れます。

●お支払い方法の選択：

のところで、支払い方法を選びます。

ここでは、「クレジットカード」を選ぶとします。

「クレジットカード」の左側のボタンをクリックしてチェックを入れ、右下の「購入」のボタンをクリックします。

6：「お支払いの情報です」という画面が表示されます

価格と、取引IDが表示されます。

念のため、このページを印刷するなどして、取引IDを記録しておきます。

クレジットカード情報のところに、カード番号と名前、有効期限を入力します。

入力が終わりましたら「支払」ボタンを押します。

7：「支払」完了の画面になります。

これで、手続きが完了しました。

※以上の手続きが大変、難しくてできない、という方は、こちらで代行しますので、サポート専用電話に電話してご依頼ください。

---

「チャート力学2002」マニュアル① 導入／基本操作編

---

- ・発行：2002年7月1日 第1刷(Ver. 020630)
- ・著者：長谷川雅一
- ・編集：長谷川 雅一
- ・発行所：株式会社プレコオンライン

開発・発売元：株式会社プレコオンライン

〒509-7202 岐阜県恵那市東野1327-3

Tel:0573-25-9600

Fax:0573-25-9602

E-Mail: m@preco.co.jp

<http://www.preco.co.jp>

Copyright (C) 2002 Quake co., Ltd.